

取付設置説明書 バスルーム 【抜粋編】

- ・ ココチーノ美泡湯セレクション
- ・ ココチーノS-class



- この取付設置説明書【抜粋編】は、【本体編】から取付設置時の重要箇所を抜粋したものです。取付設置を行う際は、必ず【本体編】も併せてお読みのうえ安全で正しく取付設置を行ってください。
- 取付設置業者の安全と使用者の安全確保のために、取付設置説明書【本体編】と【抜粋編】を併せてよくお読みください。特に「安全上のご注意」(【本体編】9～14ページ、【抜粋編】2～6ページ)は取付設置前に必ずお読みいただき、安全で正しく取付設置を行ってください。
- この商品には「保証書」「取扱説明書」を添付しています。「保証書」には販売店名、または工事店名、お引き渡し日を記入し、取付設置説明書【抜粋編】の最後のチェックリストは必要事項を記入のうえ、「取扱説明書」と共に必ずお施主様または建築工事責任者にお渡しください。
- 混合水栓やその他の機器に添付の「取扱説明書」も紛失しないよう大切に保管し、取付設置完了後、お施主様または建築工事責任者にお渡しください。
- カウンター・機能商品などの取付設置説明書は、分冊になっていますので、それぞれの分冊をお読みのうえ安全で正しく取付設置を行ってください。
- 取付設置説明書【本体編】および【抜粋編】に記載されていない方法で取付設置され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 取付設置説明書【本体編】がお手元にならない場合は、以下のHPからダウンロードできます。
<http://denko.panasonic.biz/sumai/manual/bathroom/systembath/index.html>

安全上のご注意

必ずお守りください

■誤った取付設置をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



アース線接続

- アース工事は、電気設備技術基準に関連する法令・規制などに従って、必ず「電気工事士」によるD種（第三種）接地工事を行う
（誤った工事を行うと、故障や漏電のときに感電する原因となります。）



禁止

- 電気機器の配線に付属部品の固定ねじで傷を付けない
（傷が付くと、火災や漏電の原因となります。）
- 洗い場床パン裏側の排水口付近にあるスチロール（発泡材）は外さない
（床パン据え付け時に、電源ケーブルが床パンと土間に挟まれ破損し、火災や漏電の原因となります。）
- 「床暖房」の電源ケーブルを排水トラップ取り付け時に挟まない
（電源ケーブルが破損したり、トラップの締め付け不良で、火災・漏電・水漏れの原因となります。）



分解禁止

- 商品の改造や仕様変更は絶対にしない
（商品の改造や仕様変更は事故の原因となります。）



必ず守る

- 本説明書は、バスルームの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、配管（給排水）工事、建具工事などを区別して説明しています。
建設工事は、関連する法令、規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。
流通業者（販売店）を通して「本体の取付・設置」を行う場合は、「建設工事部分」と「バスルームの本体取付・設置」を区別して行ってください。
- 電気工事・水道工事は、関連する法令・規制に従って、必ず「有資格者」が行う
（火災、感電、水漏れの原因となります。）
- 換気扇・照明器・ミラー・握りバー・混合水栓などの付属部品は、取付設置説明書に従い、指定位置に確実に取り付ける
（思わぬ事故や故障の原因となります。）

警告



必ず守る

- くもり止めヒーター付きミラーの場合
漏電ブレーカーが取り付けられていることを確認する
もし取り付けられていなければ最寄りの電気工事店に依頼し、必ず取り付ける
(故障や漏電のときに感電の原因となります。)
- 電気接続の際は、使用電線のサイズ、本数と圧着部のサイズとが適切な組み合わせになっていることを確認する
また、そのサイズに合った専用工具で締める
(適切な組み合わせになっていなかったり、専用工具以外で締め付けると、火災の原因となります。)
- 結線は緩みのないように確実に接続する
(過熱・火災の原因となります。)
- 壁パネルの開口やジョイナーを切断する際は、必ず保護メガネなど保護具を着用して作業を行う
(飛び散った切りくずが目に入ってけがをするおそれがあります。)
- グロメットは確実に取り付ける
(確実に取り付けないと、火災や感電の原因となります。)
- 電球を覆っている保護カバーは、器具取り付け時に必ず外す
(保護カバーを付けたまま点灯させると、火災の原因となります。)

注意



禁止

- 重量物は一人で運ばない
(一人で運ぶと、けがをするおそれがあります。)
- 点検口ふたを踏まない
(点検口ふたが破損して、水漏れの原因となります。)
- 床や浴槽の端には乗らない
(バランスを崩して転倒し、けがをするおそれがあります。)
- 浴槽やカウンターなどに乗って作業をしない
(足を滑らせ、けがをするおそれがあります。)
- ねじの締め付け後は、空回りさせない
(パッキンがねじ切れたり、ねじ山が破損し、締め付け不良や水漏れの原因となります。)
- 目地の再利用は絶対にしない
(破損や潤滑剤の付着などにより、水漏れの原因となります。)
- パッキンは重ねばりしない
(重ねばりすると、パッキンの間にすき間が生じ、水漏れの原因となります。)
- 天井パネルへのパッキンははり付け後は、パッキンを下にして置かない
(パッキンが破損して、水漏れの原因となります。)
- 鏡の落下防止金具の解体は絶対にしない
(落下して、けがをするおそれがあります。)
- 清掃時に、溶剤（シンナーなど）は使用しない
(変色・変形やひび割れによる水漏れの原因となります。)
- 配管は急角度に曲げない
(配管に亀裂が入って、水漏れの原因となります。)

注意

- **運搬や取付設置は必ず手袋をはめ、長袖などの作業に適した服装で行う**
(守らないと、けがをするおそれがあります。)
- **FIX窓の取扱いには必ず2人で行う**
(1人で行うと、けがの原因となります。)
- **壁・床などのシリコン充てんは、シリコンで確実に行う**
(水漏れにより家財を汚したり腐らせる原因となります。)
- **シリコン充てんは指定個所に確実にを行う**
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れの原因となります。)
(確実にシリコン充てんしないと、音鳴りの原因となります。)
(確実にシリコン充てんしないと、補強合板が十分に固定されません。)
- **シリコン充てんは天井パネル連結部に合わせて確実にを行う**
(確実に施されていないと、水漏れの原因となります。)
- **シリコンバックアップ材の取り付けを確実にを行う**
(水漏れの原因となります。)
- **工事に使う溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は、容器などに記載の注意表示に従って正しく使う**
(誤った使いかたをすると、人体に影響が出たり、部品の損傷や劣化の原因になります。)
- **水栓固定金具や裏配管の取り付けは、必ず専用工具を使用する**
(専用工具を使用しないと、部材などが破損して水漏れの原因となります。)
- **ねじはまっすぐ垂直に締め付ける**
(斜めに締め付けると最後まで締め付けられず、水漏れの原因となります。)
- **排水トラップを締め付ける際にトラップ締付工具の下端でトラップ底を傷付けない**
(トラップが割れると、水漏れの原因となります。)
- **締め付けリングはドリリング皿タッピンねじで確実に固定する**
(ねじ固定をしないと、緩みにより水漏れしたり、落下してけがをするおそれがあります。)
- **電気機器は、その機器の定格電圧で使用する**
(定格電圧以外で使用すると事故の原因となります。)
- **給水・給湯管、排水管、混合水栓は確実に接続する**
(確実に接続しないと、水漏れの原因となります。)
- **雑排水管の差し込み部は、根元までしっかり差し込む**
(しっかり差し込まずに接着すると、水漏れの原因となります。)
- **排水管の接続は、排水トラップと浴槽排水管の両側全周に接着剤を塗布し、根元までしっかり差し込む**
(守らないと、水漏れの原因となります。)
- **排水管の接続は、浴槽側と排水管の両側全周に接着剤を塗布し、根元までしっかり差し込む**
(守らないと、水漏れの原因となります。)
- **混合水栓は、ソケットユニットにシールテープを7~8回巻いてねじ接続する**
(シールテープを巻かないと、水漏れの原因となります。)
- **パッキンは洗い場床パンの指定位置に合わせて、確実にはり付ける**
(確実にはり付けしないと、水漏れの原因となります。)
- **ドア下枠のパッキンは確実にはり付ける**
(確実にはり付けしないと、ドア下枠が専用架台に干渉して音鳴りの原因となります。)
- **壁下パッキンは、水返しに合わせて、正しい位置にはり付ける**
(守らないと、水漏れの原因となります。)
- **壁下パッキンは、トップカウンターの水返しに合わせて、正しい位置にはり付ける**
(守らないと、水漏れの原因となります。)



必ず守る

注意

- 下枠パッキンが、正しく取り付けられていることを確認する
(パッキンが外れていると、水漏れの原因となります。)
- 排水トラップのUパッキンは、正しい向きで取り付ける
(守らないと、水漏れするおそれがあります。)
- 浴槽を据え付ける際に、ポップアップ排水栓のリリースや排水管を破損しないように注意する
(破損すると、水漏れの原因となります。)
- 握りバーの裏補強は確実に行う
(確実に行わないと、落下事故の原因となります。)
- 開口部のバリ取りは確実に行う
(バリ取りをしないとけがや水漏れの原因となります。)
- パネルに開口がある場合は必ず裏補強する
- 開口が2枚のパネルに渡るときは、2枚のパネルとも裏補強する
(裏補強を行わないと、窓枠が十分に固定されず、水漏れのおそれがあります。)
- 平目地の上下の形状を確認し、目地と壁パネルの下端を合わせ、必ず下から上へ打ち込む
(すき間が大きくなり、水漏れの原因となります。)
- 床ブロックは必ず所定の位置に取り付ける
(必要な個所にブロックを取り付けなかったり、誤って取り付けると、壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。)
- コーナージョイナーを取り付けるまで、壁パネルは自立しないので、壁パネルを手で支えておく
(壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。)
- コーナー上ブロックは確実にはめる
(コーナーブロックが外れると、壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。)
- 壁パネルとジョイナーは、しっかり支えてブロックを取り付ける
(しっかり支えないと、壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。)
- 鋼板用樹脂アンカー（白）を使用して取り付ける
(確実に行わないと、落下事故の原因となります。)
- 外したドアは、逆さ（ガラリを上）にして縦置きする
(ドアの下部・縦部のエアタイト材（パッキン）が損傷すると、水漏れの原因となります。)
- FIX窓の表面の梱包用段ボールは、建て込み後に外す
(建て込み前に外すと、中のガラスが抜けて、けがの原因となります。)
- FIX窓の仮置きの際は、正しい向きで立て掛ける
(誤った向きに立て掛けると、パッキンが破損して水漏れの原因となります。)
- ドア下枠と床パンとの間にすき間ができないよう、押し込んで確実に取り付ける
(すき間があると、水漏れや壁パネルとの段差が生じる原因となります。)
- ドア横小壁は、床パンとの間にすき間ができないよう、押し込んで確実に取り付ける
(すき間があると、水漏れや壁パネルとの段差が生じる原因となります。)
- 引き戸の枠組み時、シーラーの厚みが半分程度になるまで締め付け固定する
(締め付けが弱いと枠と枠とに生じたすき間から、水漏れの原因となります。)
- 引き戸の下枠防水パッキンに傷を付けたり、切らないようにする
また、パッキンの両端が縦枠に確実に接するようにする
(切れ目や縦枠に生じたすき間から、水漏れの原因となります。)
- 引き戸の縦枠防水パッキンは、下枠防水パッキンとの間にすき間ができないようにはり付ける
(すき間があると、ドア枠のシリコンが切れたときに、水漏れの原因となります。)



必ず守る

注意

- **ドアの下枠は必ず水平になるよう取り付ける**
(傾きがあると、水漏れや走行不良の原因となります。)
- **片引き戸のドアの下枠(戸袋側)は必ず0~1mm方立て部より高くなるよう取り付ける**
(高くしないと、水がたまったり水漏れの原因となります。)
- **3枚引き戸はガラリが外れる側が、必ず浴室側になるよう取り付ける**
(通気口よりの、水漏れの原因となります。)
- **天井パネルの外周部を、壁パネルの立ち上がり部の外側にかぶせるように載せ、ねじにて仮固定する**
(落下し、けがや破損のおそれがあります。)
- **穴隠しキャップはドア枠ねじ穴に確実にはめる**
(取り付け忘れや不備があると、水漏れの原因となります。)
- **ラッチの確認・調整は必ず行う**
(ラッチがずれたまま使用すると、水漏れの原因となります。)
- **ターンナットは重量物を固定しない**
(落下によるけがの原因になります。)
- **内エプロンの点検口ふたのねじは、必ず手回しドライバーで固定する**
(電動ドライバーでねじを固定するとねじが空回りして確実に取り付けができなくなり、水漏れの原因となります。)
- **握りバーの取付座は正しい向きに取り付ける**
(握りバーが外れて、けがの原因となります。)
- **握りバーの受け具は正しい向きに取り付ける**
(握りバーが外れて、けがの原因となります。)
- **鏡裏面の両面テープのはく離紙は、必ずはがす**
(はがさないと、鏡が落下してけがをするおそれがあります。)
- **ミラー受け具は確実に固定する**
(ずれていたり曲がっていると、鏡が落下してけがをするおそれがあります。)
- **照明カバーは確実に取り付ける**
(守らないと落下し、けがをするおそれがあります。)
- **目地を取り外した後、新しい目地を挿入する場合は、壁パネルに付着した潤滑剤を、十分にふき取る**
(目地に潤滑剤が付着すると、目地が破損し、水漏れのおそれがあります。)



必ず守る

追い焚き釜接続位置図

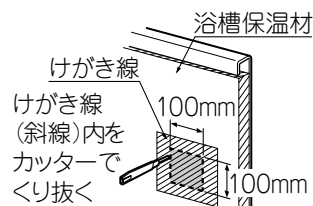
単位：mm

●本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

■保温浴槽に釜穴を開ける場合は、下記の手順で行ってください。

- ・保温材（発泡スチロール）に釜穴取り付け位置を示すけがき線（斜線）があります。
- ・けがき線内の100mm×100mmをカッターなどで切り取ってください。
- ・保温材を切り取った後、穴開け作業を行ってください。

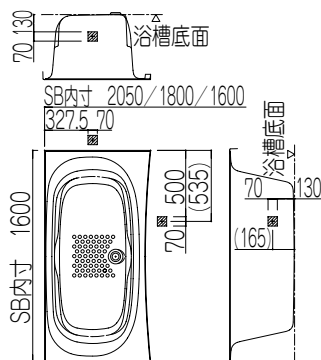
※保温材が循環器具や配管と干渉する場合は、干渉部分をカッターなどで切り欠いてください。ただし、切り欠く量は、最小限にとどめてください。



【現場加工の場合】

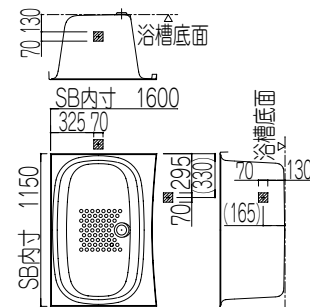
■アーチ浴槽

<1621・1818・1618・1616サイズ>

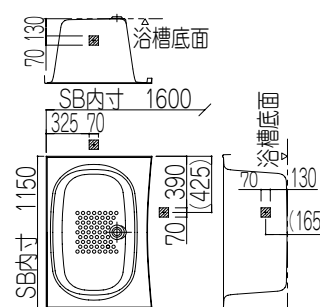


<1216サイズ>

●ココチーノSクラス



●美泡湯セレクション（酸素美泡湯用）



※穴開け可能範囲は図の斜線部分です。

※追い焚き釜の穴開けは、必ず浴槽据え付け前に行ってください。

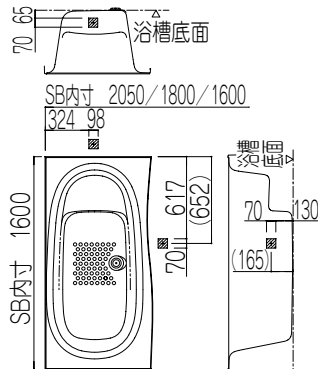
※自然循環釜（2穴開口）は設置できません。

※追い焚き釜の穴開け後の切り粉は、水ふきなどできれいにふき取ってください。

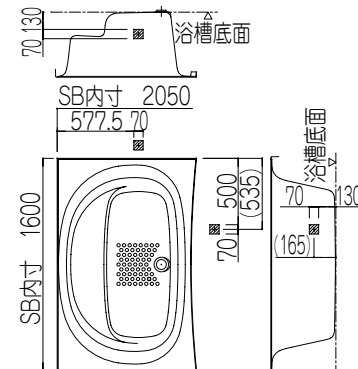
●エスライン浴槽の場合

※有機ガラス系人造大理石浴槽の（短手に開口する場合、支持脚の取り外し・取り付けが必要です）。

■エスライン浴槽



■ワイド浴槽



浴槽デッキ水栓用穴開口位置図

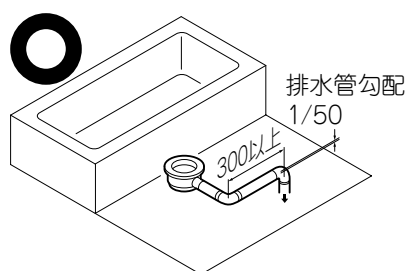
単位：mm

- ・本図はR勝手の場合を表します。L勝手は本図と対称になります。
- ・穴開け後の切り粉は、水ふきなどできれいにふき取ってください。
- ・浴槽デッキ水栓は穴開口用のドリルガイドが浴槽裏面にあります。図の寸法でけがき、加工してください。（マイクロバブル浴室洗浄用ドリルガイドも浴槽裏面にありますので、間違えないようにしてください。）兼用浴槽デッキ水栓には、ドリルガイドはありません。右図の寸法でけがき、加工してください。

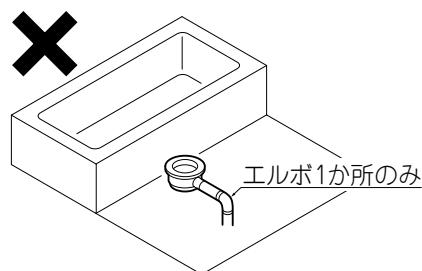
	アーチ浴槽 <1621・1818・1618・1616サイズ>	エスライン浴槽 <1621・1818・1618・1616サイズ>	ワイド浴槽 <1621サイズ>
浴槽デッキ水栓			
兼用浴槽デッキ水栓			設定なし

排水管床下接続の注意事項

単位：mm



※必ず、排水管を横に300mm以上振ってから床下に落とし、かつ2段落としにならないように配管してください。



※図のように、排水管を横に振らずに床下に落とすと、排水音が大きくなるトラブルの原因となります。

補強合板はり付け位置図

単位：mm

※下図は、R勝手の場合における壁パネル表側から見た位置図です。

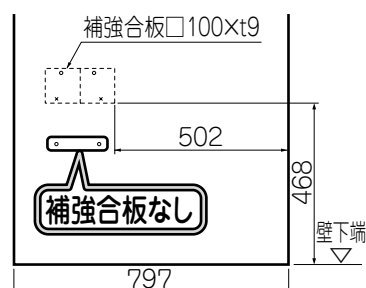
L勝手の場合は、本図と対称になります。

○で囲んだねじは裏補強されませんが、問題ありません。

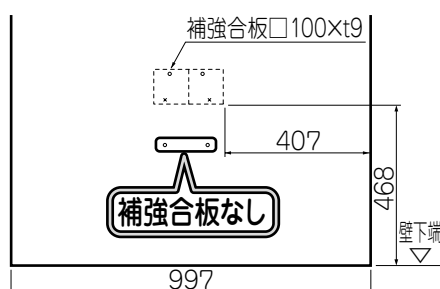
はり付け方法については、本体編147ページを参照ください。

■ソケットレス水栓・ソケットカバー水栓

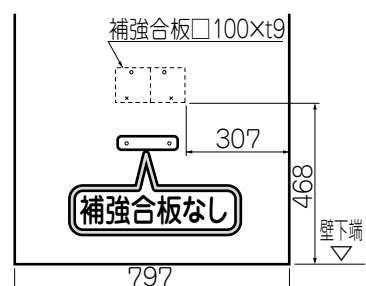
〈1621サイズ〉



〈1621(ワイド浴槽)・1818・1618サイズ〉

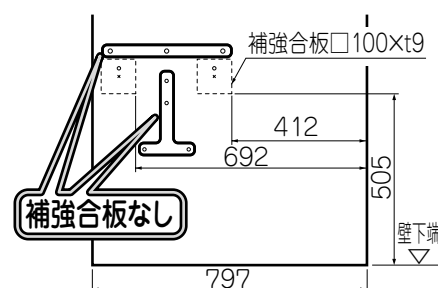


〈1616・1216サイズ〉

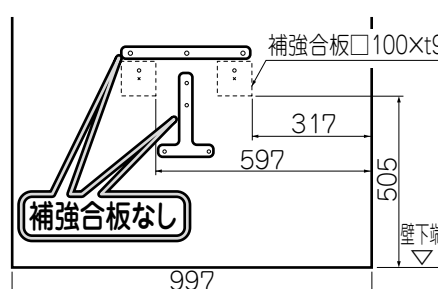


■ライトタッチ水栓

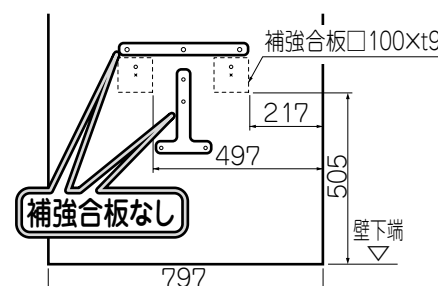
〈1621サイズ〉



〈1621(ワイド浴槽)・1818・1618サイズ〉

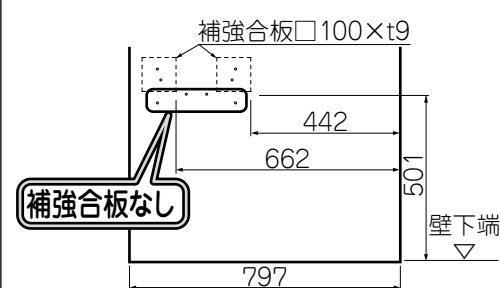


〈1616・1216サイズ〉

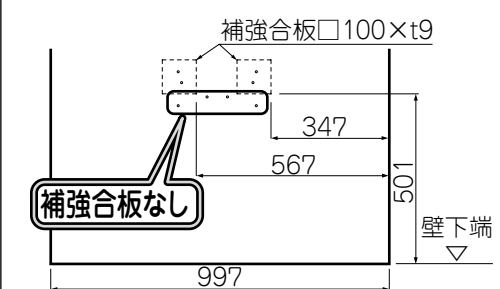


■カバー水栓

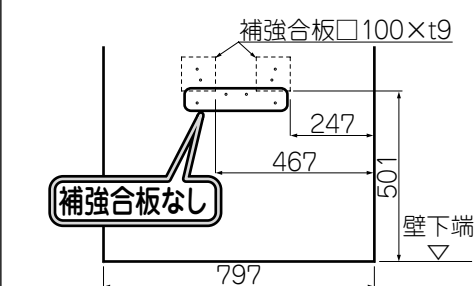
〈1621サイズ〉



〈1621(ワイド浴槽)・1818・1618サイズ〉



〈1616・1216サイズ〉



器具取り付け穴開口位置図

単位：mm

■器具取り付け方法一覧表

部位	商品名称	下穴	直打 固定	鋼板用樹脂 アンカー(白)	補強 合板	備考
カウンター	ウェーブカウンター	φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は配管セットに付属
	有機ガラス系人造大理石カウンター	φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は配管セットに付属
	バイザーカウンター	φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は製品に付属
	有機ガラス系人造大理石バイザーカウンター	φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は製品に付属
収納棚	クリアシェルフ	φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は製品に付属
	ライトシェルフ	φ 5.0、φ 2.8	-	○	-	アンカー(白)は製品に付属
	ワイヤーシェルフ	φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は製品に付属
収納テーブル	バイザーカウンター	φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は製品に付属
	クリアワイドシェルフ	φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は製品に付属
ミラー	角型ミラーB	φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は製品に付属
	シンプルワイドミラー	φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は製品に付属
	セミワイドミラー	φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は製品に付属
	ウォールミラー	φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は製品に付属
	パーチカルミラー	φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は製品に付属
	縦型スリムミラー	φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は製品に付属
	オーバルミラー	φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は製品に付属
	スリムミラー	φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は製品に付属
	スリムミラー(くもり止めヒーター付き)	φ 65、φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は製品に付属
タオル掛け	タオル掛けA	φ 2.8	○	-	-	
	タオル掛けB	φ 2.8	○	-	-	
	マルチフックタイプ	φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は製品に付属
	ワイヤーハンガー	φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は製品に付属
照明	ブライト照明	φ 2.8	○	-	-	
	エクセレント照明	φ 2.8	○	-	-	
	四角丸ブラケット照明	φ 2.8	○	-	-	
	フロート照明	φ 5.0	-	○	-	現場手配 (GRYGVRY238)
スライドバー	スライドバー(握りバー兼用)	φ 10	-	-	-	補強プレート固定
	スライド式シャワーフック	φ 2.8	-	-	○	補強合板は製品に付属
シャワーフック	シャワーフック(樹脂)	φ 5.0	-	○	-	アンカー(白)は壁ジョイント小物セットに付属
風呂ふたフック	巻きふた用	φ 2.8	○	-	-	
	組みふた用	φ 2.8	○	-	-	
物干しバー	物干しバー受け	φ 2.8	○	-	-	
壁付水栓 (洗い場側)	ソケットレス水栓	φ 2.8	-	-	○	補強合板は配管セットに付属
	ライトタッチ水栓	φ 2.8	-	-	○	補強合板は配管セットに付属
	カバー水栓	φ 2.8	-	-	○	補強合板は配管セットに付属
	ソケットカバー水栓	φ 2.8	-	-	○	補強合板は配管セットに付属
	壁付水栓	φ 30	-	-	-	水栓固定金具固定
壁付水栓(浴槽側)	2ハンドル壁付水栓	φ 30	-	-	-	水栓固定金具固定
	定量止水壁付水栓	φ 30	-	-	-	水栓固定金具固定
コンパクトミスト	コンパクトミスト本体	φ 30、φ 2.8	-	-	○	水栓固定金具補強合板固定
	浴室内スイッチ	φ 2.8	○	-	-	
機能機器	各種機能機器	-	-	-	-	付属取付設置説明書参照
	各種コントローラー	-	-	-	-	付属取付設置説明書参照
握りバー	各種握りバー	-	-	-	-	付属取付設置説明書参照

取付設置上のお願

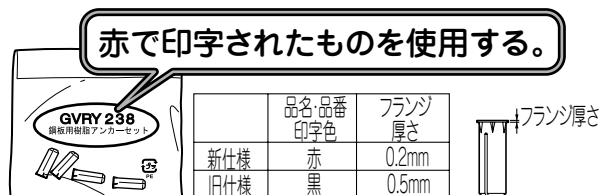
部材によっては、・鋼板用樹脂アンカー(白)(GVRY238)
・ネオセライトパネル用フィッシャープラグ(グレー)
の2種が付属されている場合がありますが、以下の点をご注意願います。

●鋼板パネル(eパネル標準仕様)にネオセライト
パネル用フィッシャープラグ(グレー)を使用し
ないでください。

■壁パネル対応一覧表

種 類	鋼板用 樹脂アンカー (白)	フィッシャー プラグ (グレー)
鋼板パネル (eパネル 標準仕様)	○	×

- ・品名・品番が**赤で印字**された袋に入っている、新仕様の鋼板用樹脂アンカー（白）（GVRY238）を使用してください。
- ・品名・品番が**黒で印字**された袋に入っている旧仕様品や、お手持ちのバラ品は処分してください。
（旧仕様の場合、部材が浮いてしまうおそれがあります）



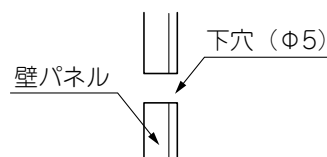
鋼板用樹脂アンカー（白）（GVRY238）を使用した部材の取り付け方法（本体編：68ページ）

取付設置上のお願い

- ・ネオセライトパネル用フィッシャープラグ（グレー）は使用しないでください。
 - ・ねじを締め込みすぎると、ねじが空回りして、取り付けできなくなるおそれがあります。
以下のように注意してください。
- 〈電動ドライバーの場合〉
弱めにクラッチ目盛りを合わせて、最後まで強い力で締め込まないようにしてください。
（クラッチの目安：パナソニック電工製充電ドライバー品番：EZ6402Nにてクラッチ21段階の2～3レベル）
- 〈インパクトドライバーの場合〉
手順③に示すよう締め終わりに注意してください。

①下穴（Φ5）を開ける

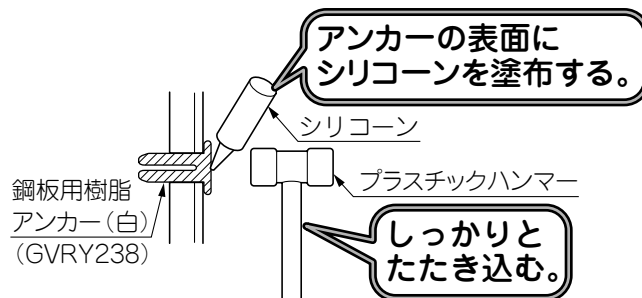
- ・壁パネル表面にバリが出ないように注意してください。



②プラスチックハンマーで鋼板用樹脂アンカーをしっかりとたたき込み、表面にシリコーンを塗布する。

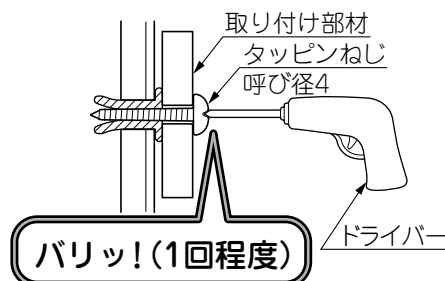
取付設置上のお願い

- ・しっかりとたたき込まないと、部材が浮いてしまうおそれがあります。



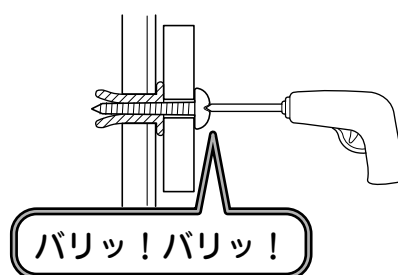
③取り付け部材を固定する。

- ・締め終わりと同時に、ドライバーをねじから離してください。



④軽く増し締めする。

- ・締め込みすぎないように注意してください。



■プレ穴加工対象品について

※事前に他のパネルに穴を開けてしまわないように、プレ穴加工対象品のパネルを確認してください。

・発注時に、工場プレ穴加工を選択している商品は、工場にて正面壁パネル面に器具位置がけがされています。
カウンター・洗い場側水栓・棚・ミラーは、壁パネル鋼板表面にφ2.8の下穴、照明・シャワーフック（スライドシャワーフック）は、スタンプ表示してあります。

・梁欠き天井で梁欠き位置の寸法によっては、照明がスタンプ表示、位置に取り付けられない場合がありますので、現場にて調整してください。（事前に注意して、穴を開けないようにしてください。）

※万が一、照明・シャワーフックのスタンプ表示が消えている場合は、下記以降の取り付け位置に従って穴加工してください。

ウェーブカウンター

（本体編：69ページ）

※下図はR勝手の場合です。L勝手は本図と対称になります。

○印の下穴サイズは、φ5.0となります。

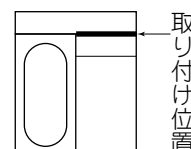
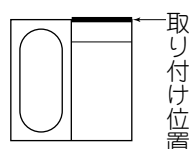
鋼板用樹脂アンカー（白）を使用してください。

また、×印は現物合わせにてφ2.8で開口してください。

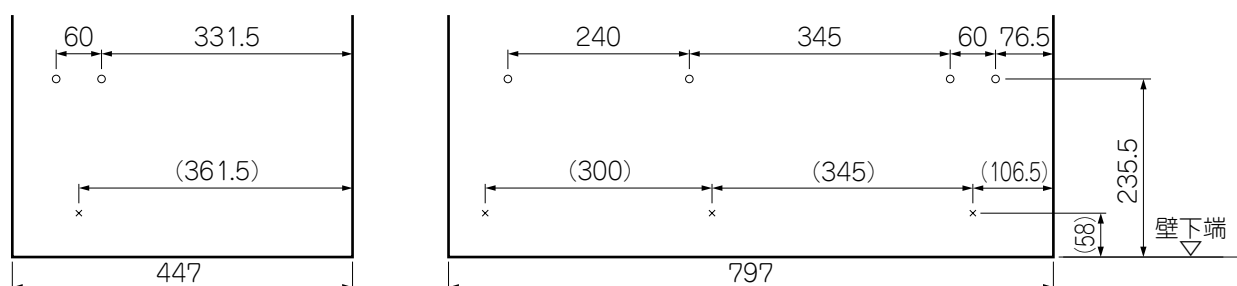
（ ）内寸法は参考寸法です。

鋼板用樹脂アンカー（白）は必要ありません。

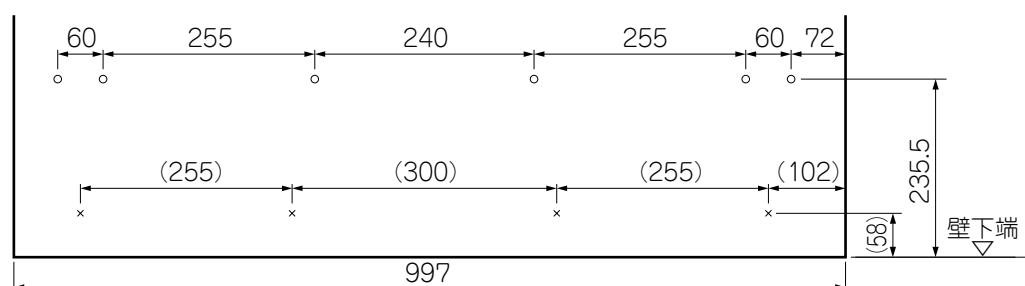
〈1818サイズ以外の場合〉 〈1818サイズの場合〉



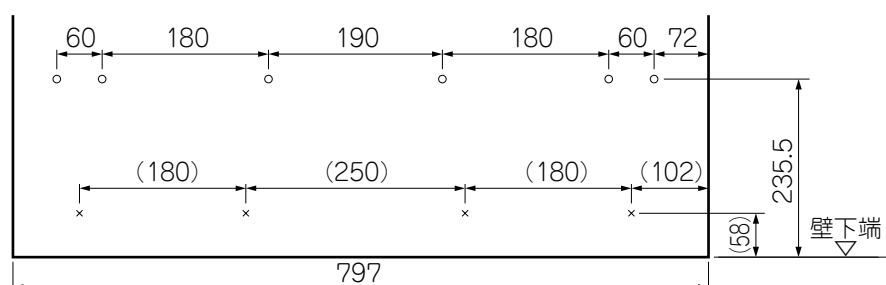
〈1621サイズ〉



〈1621（ワイド浴槽）・1818・1618サイズ〉



〈1616・1216サイズ〉



有機ガラス系人造大理石カウンター

(本体編：70ページ)

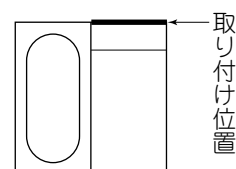
※下図はR勝手の場合です。L勝手は本図と対称になります。

○印の下穴サイズは、 $\phi 5.0$ となります。

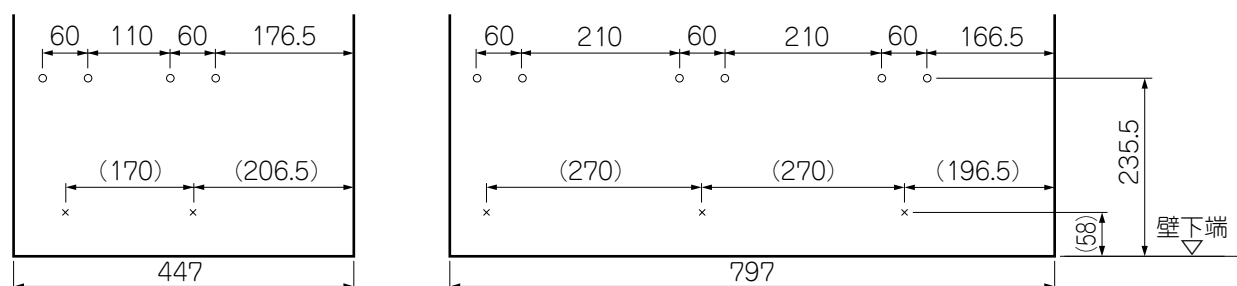
鋼板用樹脂アンカー（白）を使用してください。

また、×印は現物合わせにて $\phi 2.8$ で開口してください。（ ）内寸法は参考寸法です。

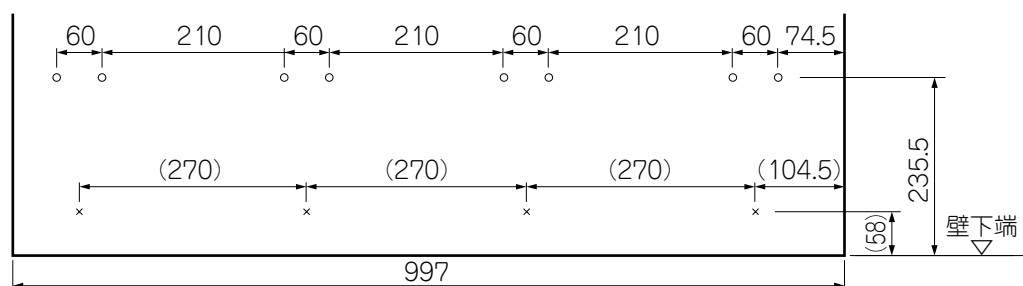
鋼板用樹脂アンカー（白）は必要ありません。



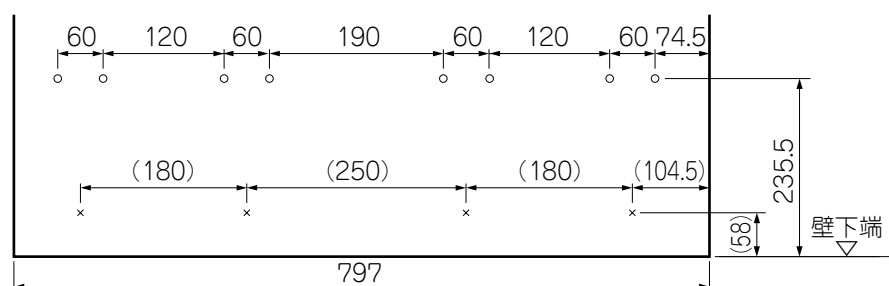
〈1621サイズ〉



〈1621（ワイド浴槽）サイズ〉



〈1616サイズ〉



ソケットレス水栓・ソケットカバー水栓 (本体編:71ページ)

※下図はR勝手の場合です。L勝手は本図と対称になります。

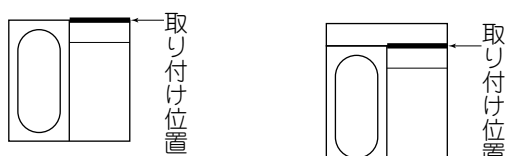
下穴サイズはすべてφ2.8となります。

補強合板が必要です。

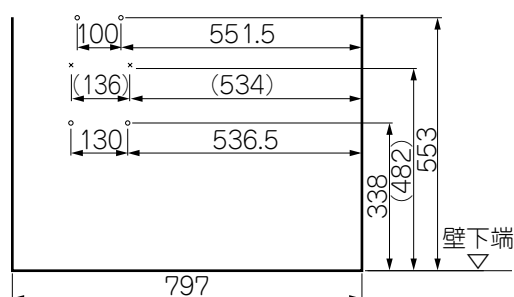
また、×印は現物合わせにて開口してください。

() 内寸法は参考寸法です。

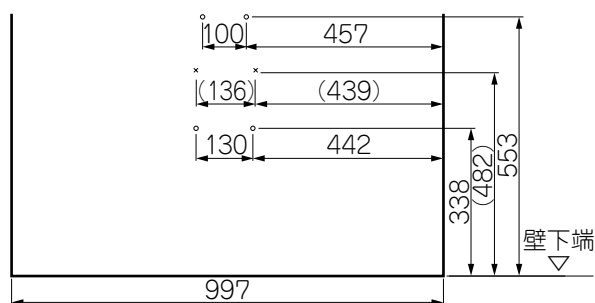
〈1818サイズ以外の場合〉 〈1818サイズの場合〉



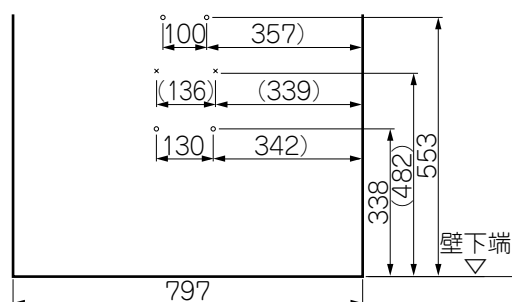
〈1621サイズ〉



〈1621(ワイド浴槽)・1818・1618サイズ〉



〈1616・1216サイズ〉



ライトタッチ水栓 (本体編:72ページ)

※下図はR勝手の場合です。L勝手は本図と対称になります。

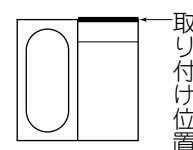
★印の穴を除き、下穴サイズはすべてφ2.8となります。

補強合板が必要です。

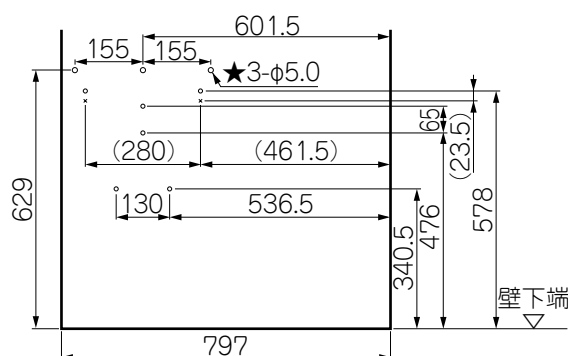
また、×印は現物合わせにて開口してください。

() 内寸法は参考寸法です。

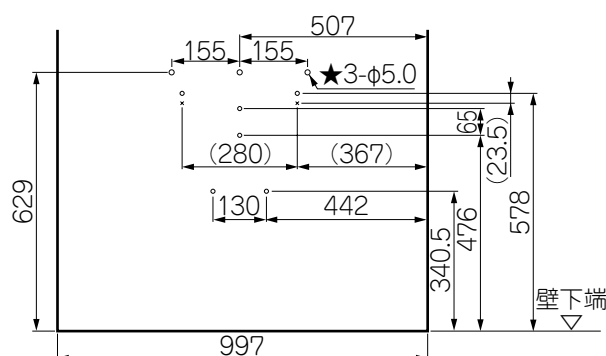
★印の穴はφ5.0で開口し、
鋼板用樹脂アンカー (白)
を使用してください。



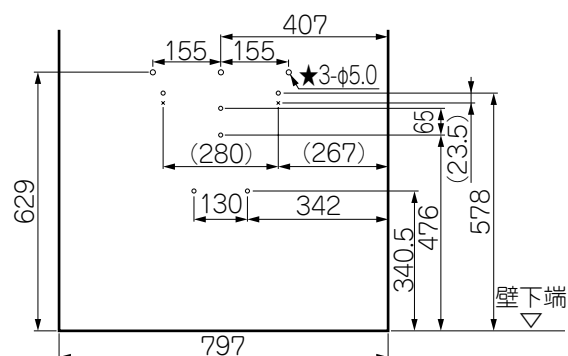
〈1621サイズ〉



〈1621(ワイド浴槽)・1618サイズ〉



〈1616・1216サイズ〉

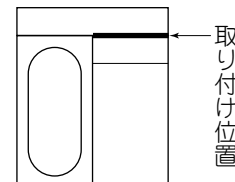
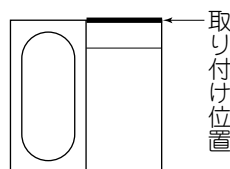


カバー水栓（ウェーブカウンターと併設する場合）（本体編：73ページ）

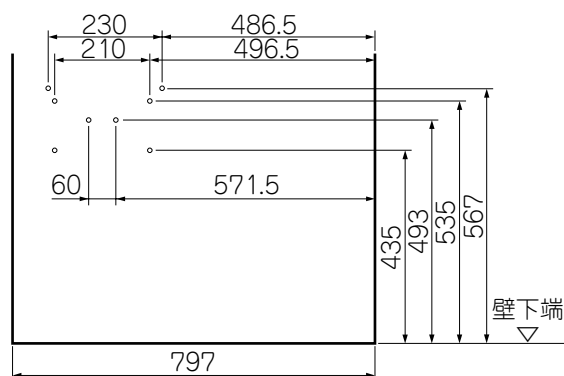
※下図はR勝手の場合です。L勝手は本図と対称になります。

- ・下穴サイズはすべてφ2.8となります。
- ・補強合板が必要です。

〈1818サイズ以外の場合〉 〈1818サイズの場合〉

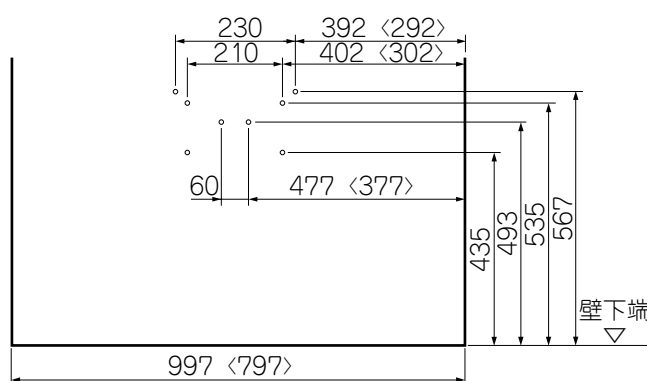


〈1621サイズ〉



〈1621（ワイド浴槽）・1818・1618・1616・1216サイズ〉

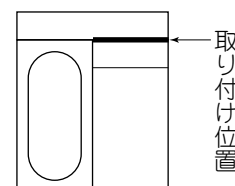
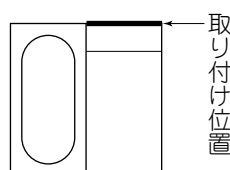
※ 〈 〉 内寸法は、1616・1216サイズの場合です。



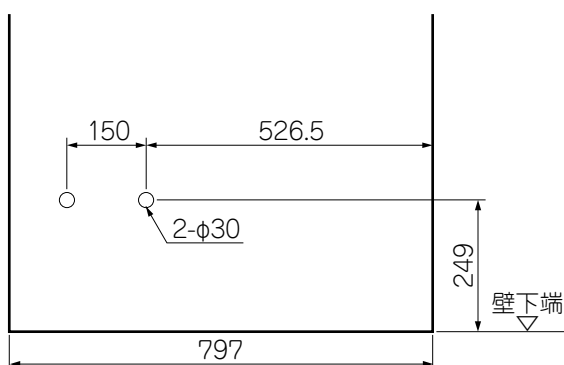
洗い場側壁付水栓（壁に直接水栓を付ける場合）（本体編：73ページ）

※下図はR勝手の場合です。L勝手は本図と対称になります。

〈1818サイズ以外の場合〉 〈1818サイズの場合〉

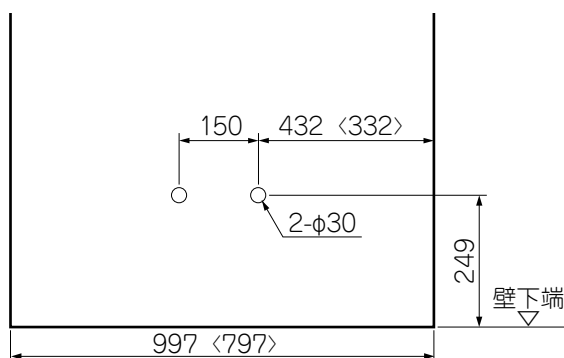


〈1621サイズ〉



〈1621（ワイド浴槽）・1818・1618・1616・1216サイズ〉

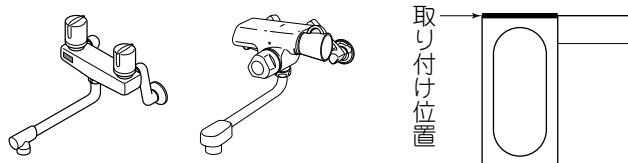
※ 〈 〉 内寸法は、1616・1216サイズの場合です。



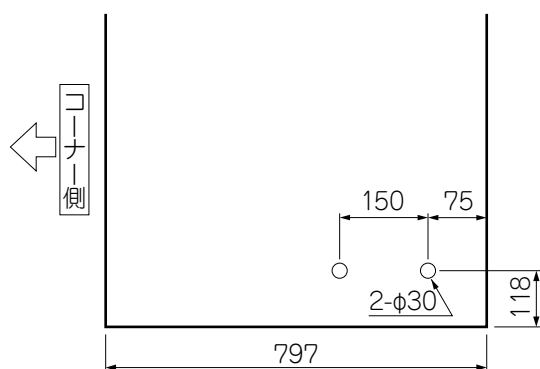
浴槽側壁付水栓

(本体編：74ページ)

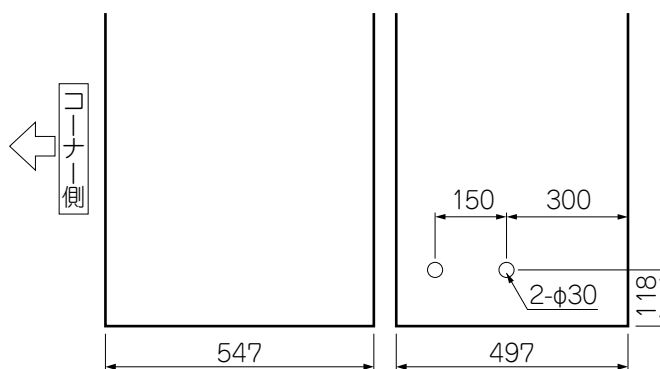
※下図はR勝手の場合です。L勝手の場合は本図と対称になります。



〈1621・1618・1616・1216サイズ〉



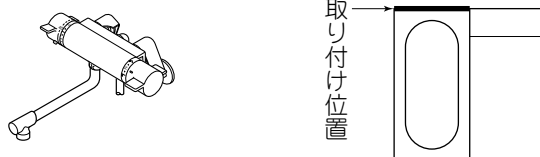
〈1621 (ワイド浴槽) サイズ〉



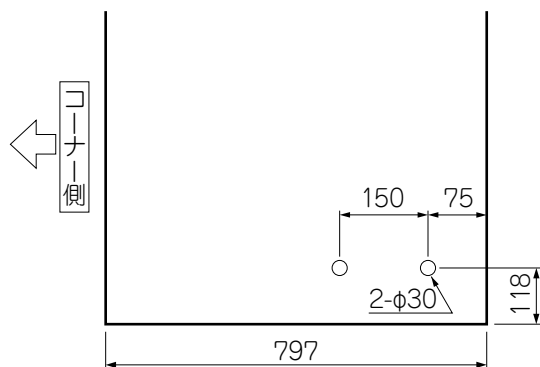
兼用壁付水栓

(本体編：74ページ)

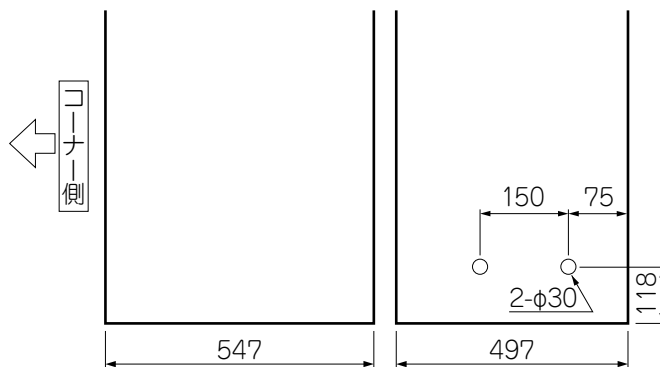
※下図はR勝手の場合です。L勝手の場合は本図と対称になります。



〈1621・1618・1616・1216サイズ〉



〈1621 (ワイド浴槽) サイズ〉



タオル掛け A・B・マルチフックタイプ・ワイヤーハンガー（本体編：75～77ページ）

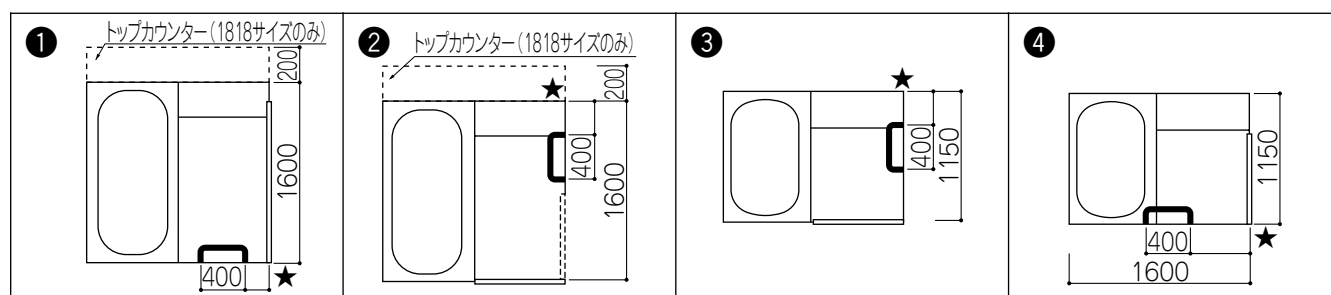
・バスルームのサイズと仕様により、取り付け位置が異なります。該当する仕様を下表に当てはめ、下図にて取り付け位置、穴開口位置をそれぞれご確認ください。

サイズ	仕 様	取付位置	穴開口位置
1621	B勝手3枚引き戸	❶	①
	B勝手FIX窓	❶	②
	上記以外	❷	③
1621 (ワイド浴槽)	B勝手3枚引き戸	❶	④
	B勝手FIX窓	❶	⑤
	上記以外	❷	③
1618	B勝手3枚引き戸	❶	④
	B勝手FIX窓	❶	⑤
	上記以外	❷	③

1818	B勝手3枚引き戸	❶	④
	B勝手ライトインドアフルFIX窓	❶	⑤
	上記以外	❷	⑥
1616	B勝手3枚引き戸	❶	①
	B勝手FIX窓	❶	⑦
	上記以外	❷	③
1216	A勝手	❸	⑧
	B勝手	❹	⑦

■取り付け位置図（図中の寸法はSB内寸です。★印は下記の穴開口位置図に対応しています。）

・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。



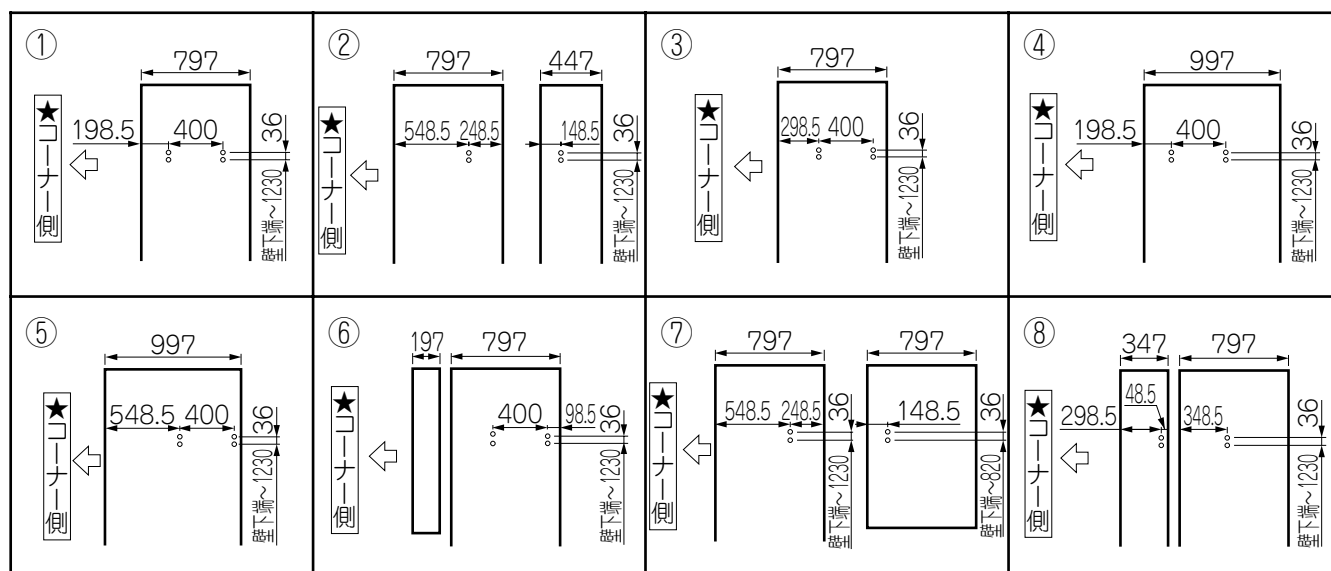
■取り付け穴開口位置図

〈タオル掛け A・B・マルチフックタイプの場合〉

- ・タオル掛け A・Bタイプの場合は、φ2.8で穴開口してください。
- ・マルチフックタイプの場合は、φ5.0で穴開口し、鋼板用樹脂アンカー（白）を使用してください。
- ・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。

■取り付け穴加工寸法一覧表

タオル掛け	下穴	鋼板用樹脂アンカー（白）
A・Bタイプ	φ2.8	必要なし
マルチフックタイプ	φ5.0	必要あり

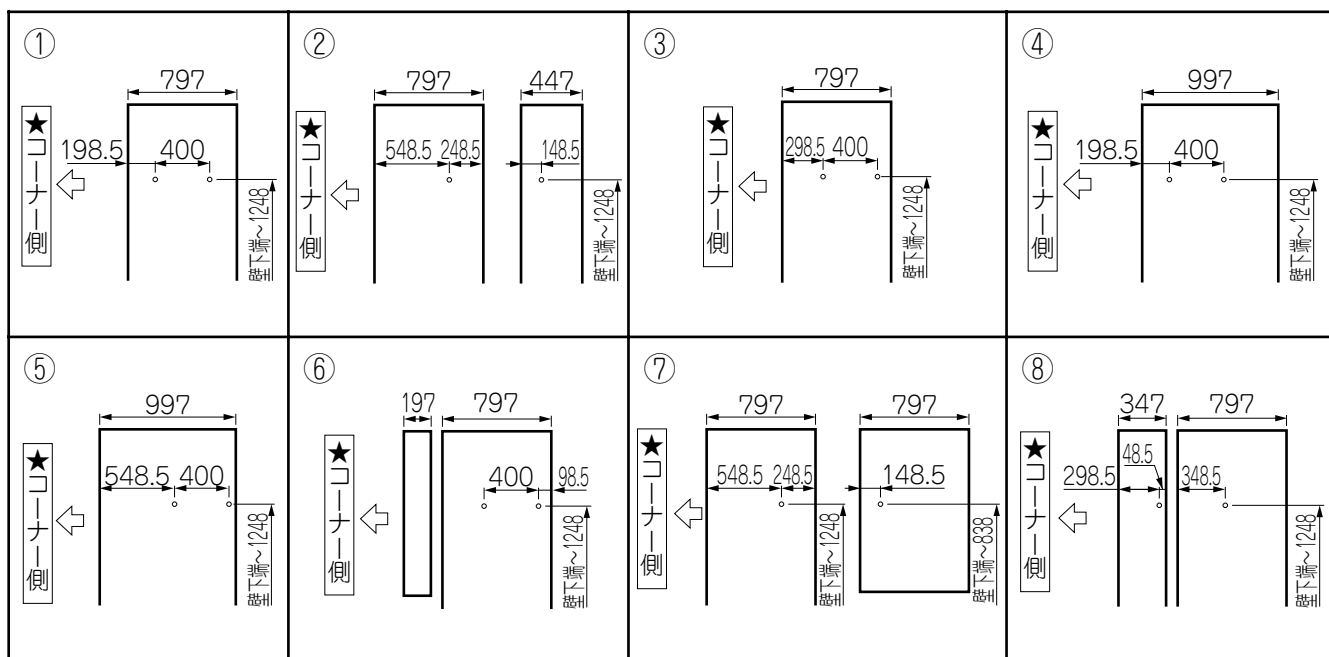


〈ワイヤーハンガーの場合〉

- ・下穴サイズはすべてφ5.0です。
- ・鋼板用樹脂アンカー（白）を使用してください。
- ・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。

■取り付け穴加工寸法一覧表

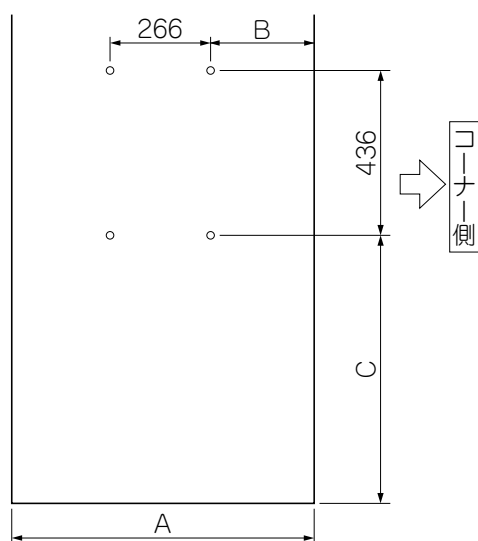
タオル掛け	下穴	鋼板用樹脂アンカー（白）
ワイヤーハンガー	φ5.0	必要あり



角型ミラーB

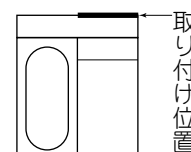
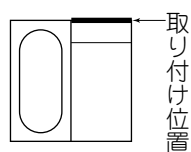
（本体編：78ページ）

- ・下穴サイズはすべてφ5.0です。
- ・鋼板用樹脂アンカー（白）を使用してください。
- ・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。

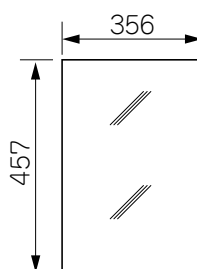


〈1818サイズ以外の場合〉

〈1818サイズの場合〉



〈ミラー寸法〉



サイズ	A寸法	B寸法	C寸法
1621	797	468.5	708.5
1621（ワイド浴槽）・1618	997	374	708.5
1818	997	374	67.5
1616・1216	797	274	708.5

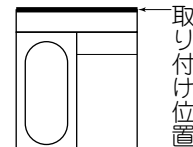
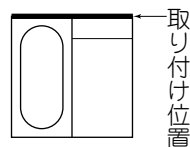
シンプルワイドミラー

(本体編：79、80ページ)

- ・下穴サイズはすべてφ5.0です。
- ・鋼板用樹脂アンカー（白）を使用してください。
- ・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。

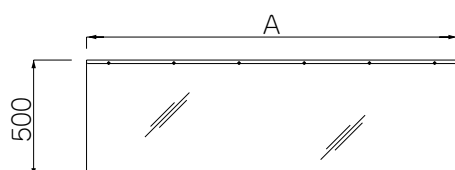
〈1818サイズ以外の場合〉

〈1818サイズの場合〉

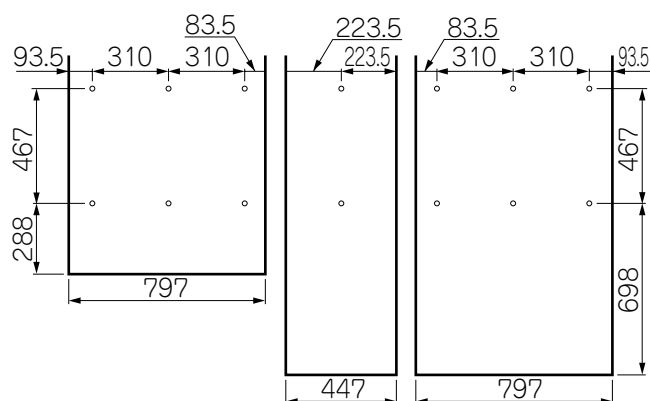


サイズ	A寸法
1621	2040
1818・1618	1790
1616・1216	1590

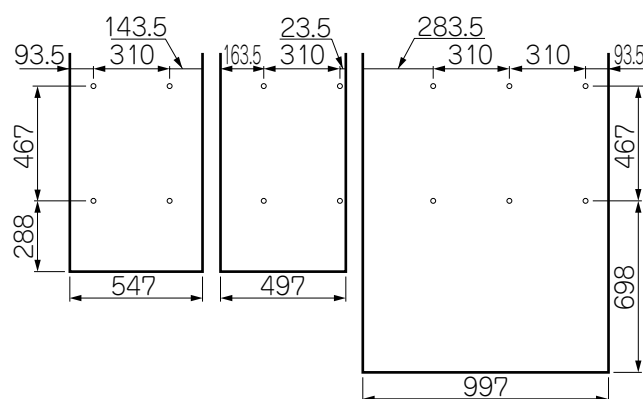
〈ミラー寸法〉



〈1621サイズ〉

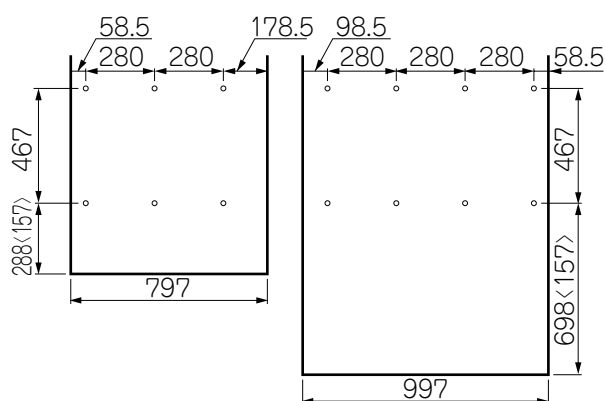


〈1621サイズ (ワイド浴槽)〉

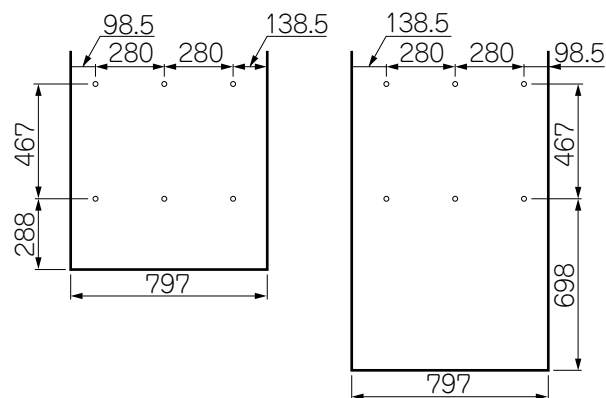


〈1818・1618サイズ〉

※ 〈 〉 内寸法は、1818サイズの場合です。



〈1616・1216サイズ〉

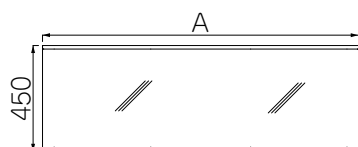


セミワイドミラー

(本体編：81ページ)

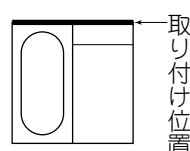
- ・下穴サイズはすべてφ5.0です。
- ・鋼板用樹脂アンカー（白）を使用してください。
- ・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。

〈ミラー寸法〉

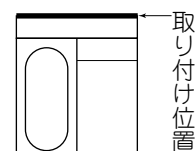


サイズ	A寸法
1621	1795
1818・1618	1545
1616・1216	1345

〈1818サイズ以外の場合〉

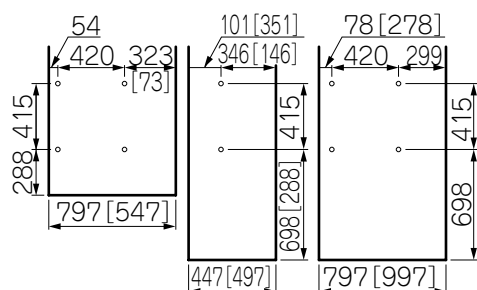


〈1818サイズの場合〉



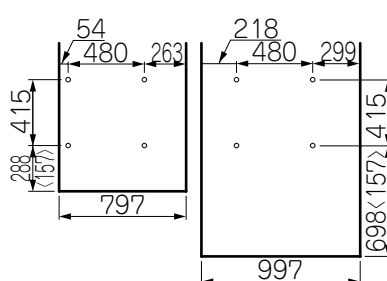
〈1621サイズ〉

※[]内寸法は、ワイド浴槽の場合です。

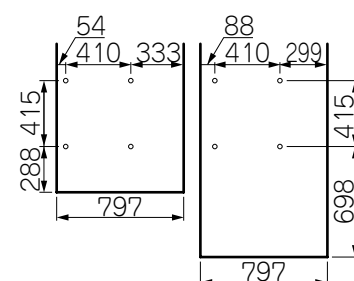


〈1818・1618サイズ〉

※〈 〉内寸法は、1818サイズの場合です。



〈1616・1216サイズ〉

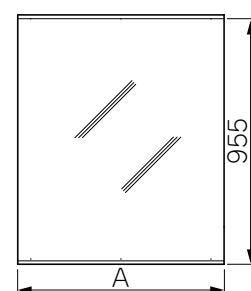


ウォールミラー

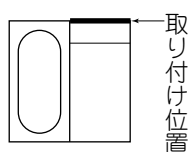
(本体編：82ページ)

- ・下穴サイズはすべてφ5.0です。
- ・鋼板用樹脂アンカー（白）を使用してください。
- ・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。

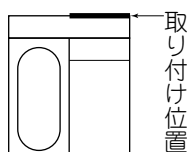
〈ミラー寸法〉



〈1818サイズ以外の場合〉

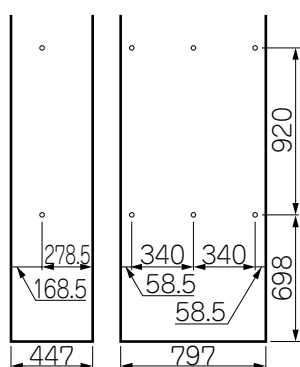


〈1818サイズの場合〉



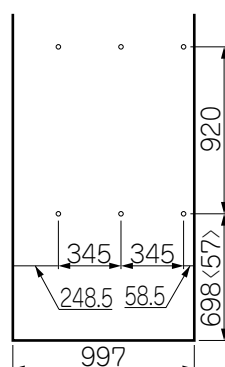
サイズ	A寸法
1621	1120
1621(ワイド浴槽)・1818・1618	790
1616・1216	670

〈1621サイズ〉

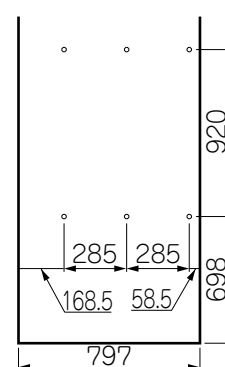


〈1621(ワイド浴槽)・1818・1618サイズ〉

※〈 〉内寸法は、1818サイズの場合です。



〈1616・1216サイズ〉

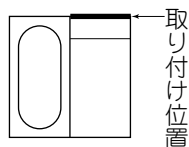


オーバルミラー

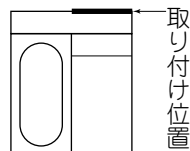
(本体編：84ページ)

- ・下穴サイズはすべてφ5.0です。
- ・鋼板用樹脂アンカー(白)を使用してください。
- ・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。

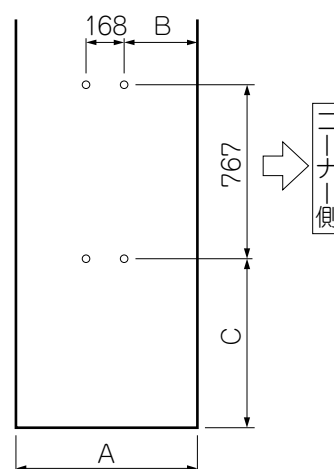
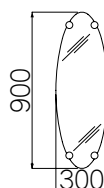
〈1818サイズ以外の場合〉



〈1818サイズの場合〉



〈ミラー寸法〉



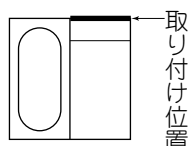
サイズ	A寸法	B寸法	C寸法
1621	797	517.5	745
1621 (ワイド浴槽) ・ 1618	997	423	745
1818	997	423	104
1616 ・ 1216	797	323	745

スリムミラー

(本体編：85ページ)

- ・下穴サイズはすべてφ5.0です。
- ・鋼板用樹脂アンカー(白)を使用してください。
- ・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。

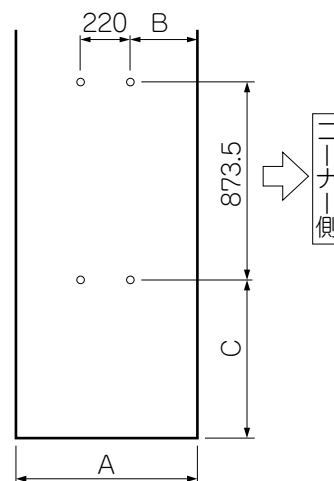
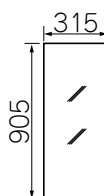
〈1818サイズ以外の場合〉



〈1818サイズの場合〉



〈ミラー寸法〉

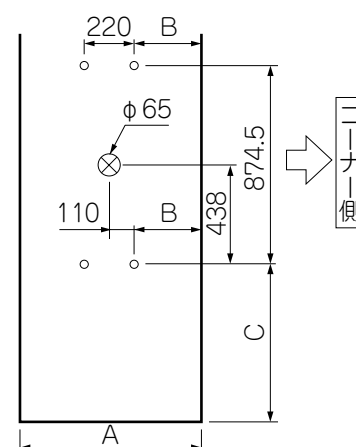
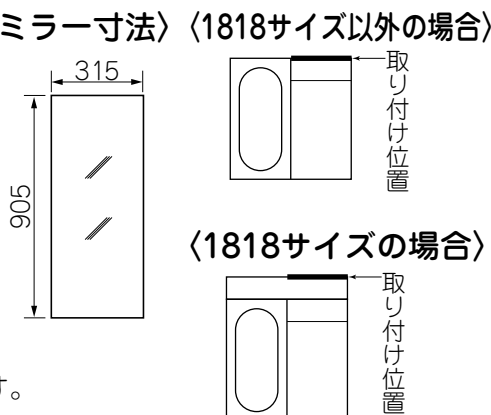


サイズ	A寸法	B寸法	C寸法
1621	797	491.5	697
1621 (ワイド浴槽) ・ 1618	997	397	697
1818	997	397	56
1616 ・ 1216	797	297	697

スリミラー（くもり止めヒーター付き）

（本体編：85ページ）

- ・ ⊗印の穴（ヒーターのコード）を除き、下穴サイズはすべてφ5.0です。
- ・ 鋼板用樹脂アンカー（白）を使用してください。
- ・ ⊗印の下穴サイズはφ65（8角形でも可）です。
8角形穴の場合は、付属の型紙を使用してください。
- ・ 本図はR勝手の場合を表します。
L勝手の場合は本図と対称になります。



サイズ	A寸法	B寸法	C寸法
1621	797	491.5	698
1621（ワイド浴槽）・1618	997	397	698
1818	997	397	57
1616・1216	797	297	698

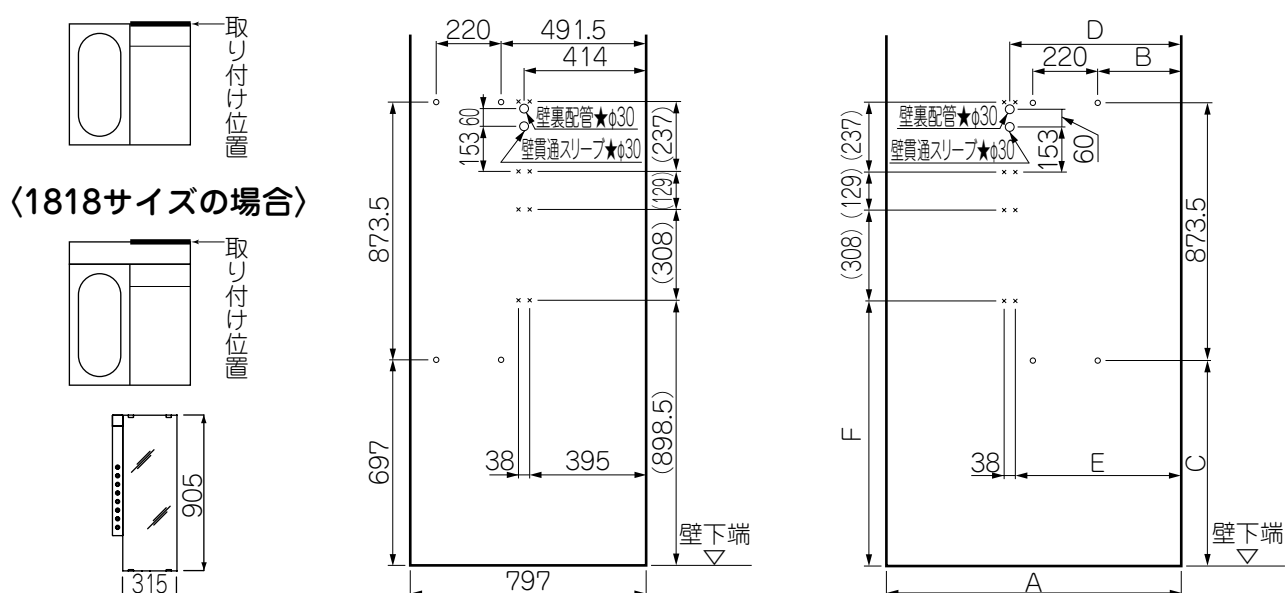
コンパクトミスト（スリミラーと併設する場合）

（本体編：86ページ）

- ・ ★印の穴のみ、事前に穴開口してください。
- ・ ×印の下穴サイズはすべてφ2.8ですが、器具取り付けの際に現物合わせて開口してください。（ ）内寸法は参考寸法です。
詳細は、コンパクトミスト用取付設置説明書を参照ください。
- ・ ○印の穴は、併設するスリミラーの穴開口の位置ですべてφ5.0で開口し、鋼板用樹脂アンカー（白）を使用してください。
- ・ 本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。

〈1818サイズ以外の場合〉 〈1621サイズ〉

〈1621（ワイド浴槽）・1818・1618・1616・1216サイズ〉



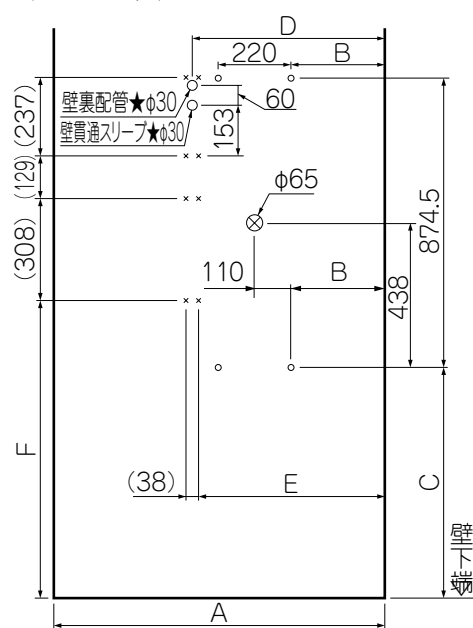
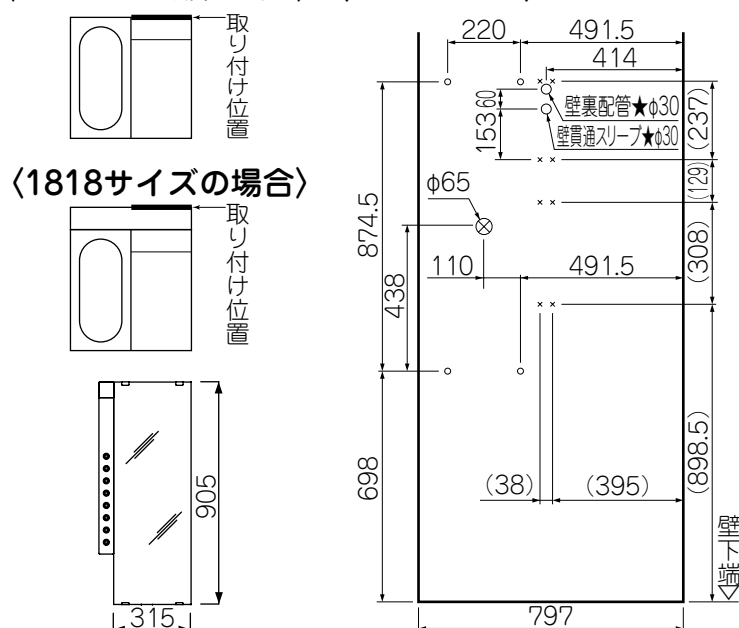
サイズ	A寸法	B寸法	C寸法	D寸法	E寸法	F寸法
1621（ワイド浴槽）・1618	997	397	697	694.5	675.5	(898.5)
1818	997	397	56	694.5	675.5	(257.5)
1616・1216	797	297	697	594.5	575.5	(898.5)

コンパクトミスト（スリムミラー（くもり止めヒーター付き）と併設する場合）（本体編：87ページ）

- ・★印の穴のみ、事前に穴開口してください。
- ・×印の下穴サイズはすべてφ2.8ですが、器具取り付けの際に現物合わせて開口してください。
- （ ）寸法は参考寸法です。詳細は、コンパクトミスト用取付設置説明書を参照ください。
- ・○印の穴は、併設するスリムミラーの穴開口の位置ですべてφ5.0で開口し、鋼板用樹脂アンカー（白）を使用してください。
- ・⊗印の下穴サイズはφ65（8角形でも可）です。8角形穴の場合は、付属の型紙を使用してください。
- ・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。

〈1818サイズ以外の場合〉 〈1621サイズ〉

〈1621(ワイド浴槽)・1818・1618・1616・1216サイズ〉

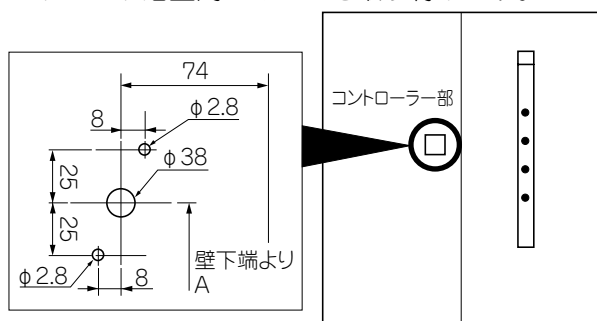


サイズ	A寸法	B寸法	C寸法	D寸法	E寸法	F寸法
1621 (ワイド浴槽) ・ 1618	997	397	698	694.5	(675.5)	(898.5)
1818	997	397	57	694.5	(675.5)	(257.5)
1616 ・ 1216	797	297	698	594.5	(575.5)	(898.5)

コンパクトミスト浴室内スイッチ

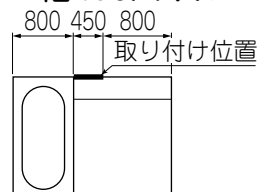
（本体編：88ページ）

- ・コンパクトミストと平で隣り合う壁パネルにコンパクトミスト浴室内スイッチを取り付けます。

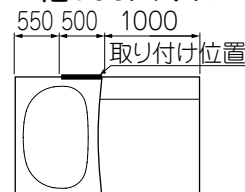


サイズ	A寸法
1621	1228
1621 (ワイド浴槽) ・ 1618 ・ 1616 ・ 1216	818
1818	587

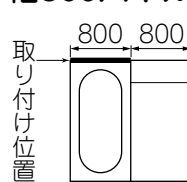
〈1621サイズの場合〉 幅450パネル



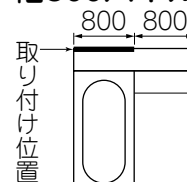
〈1621(ワイド浴槽)サイズの場合〉 幅500パネル



〈1618・1616・1216サイズの場合〉 幅800パネル



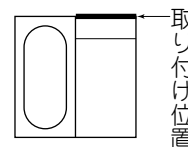
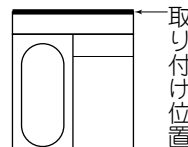
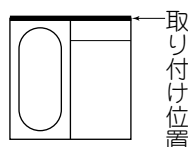
〈1818サイズの場合〉 幅800パネル



エクセレント照明・ブライト照明・四角丸ブラケット照明（本体編：89ページ）

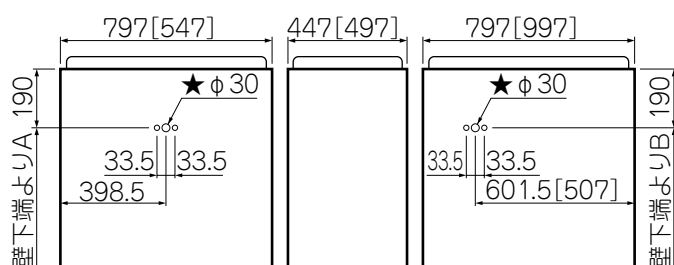
- ★印の穴（照明器具のコード）を除き、下穴サイズはすべてφ2.8です。
- 本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。

〈1621・1618サイズの場合〉 〈1818サイズの場合〉 〈1616・1216サイズの場合〉



〈1621サイズ〉

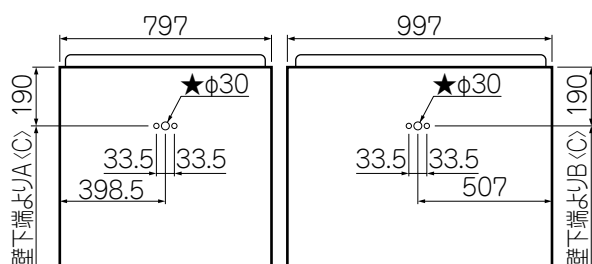
※ [] 内寸法は、ワイド浴槽の場合です。



壁パネル	A寸法	B寸法	C寸法
H2150	1518	1928	1287
H2000	1368	1778	1137

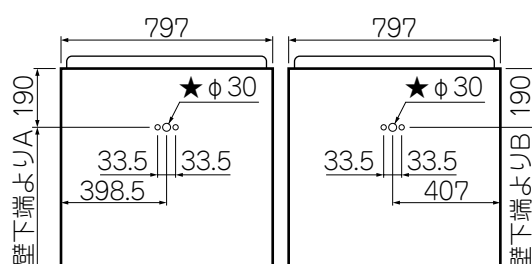
〈1818・1618サイズ〉

※ 〈 〉 内寸法は、1818サイズの場合です。



〈1616・1216サイズ〉

※ 浴槽側は照明2灯の場合です。

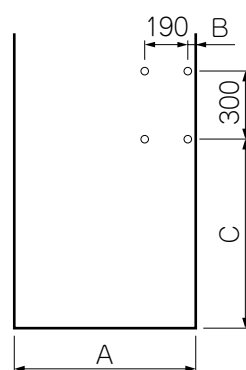
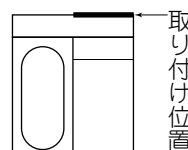
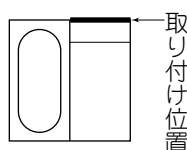


ワイヤーシェルフ（2段）

（本体編：91ページ）

- 下穴サイズはすべてφ5.0です。
- 鋼板用樹脂アンカー（白）を使用してください。
- 本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。

〈1818サイズ以外の場合〉 〈1818サイズの場合〉



取付設置上のごお願い

- 角型ミラーB、シンプルワイドミラー、ウォールミラーとの併設はできません。

●セミワイドミラーと併設する場合

サイズ	A寸法	B寸法	C寸法
1621	797	34.5	833
1621(ワイド浴槽)・1618	997	34.5	833
1818	997	34.5	252
1616・1216	797	34.5	833

●コンパクトミストと併設する場合

サイズ	A寸法	B寸法	C寸法
1621	797	53.5	833
1621(ワイド浴槽)・1618	997	103.5	833
1818	997	103.5	252
1616・1216	797	34.5	833

クリアシェルフ・ライトシェルフ（2段・3段）

（本体編：92ページ）

- ・×印の下穴サイズはφ2.8です。
- ・○印の下穴サイズはφ5.0です。鋼板用樹脂アンカー（白）を使用してください。
- ・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。

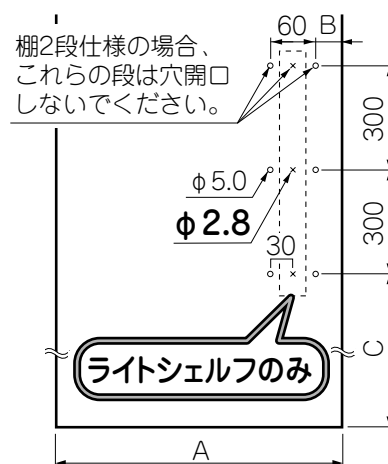
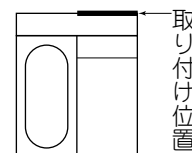
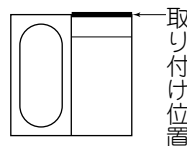
サイズ	A寸法	B寸法	C寸法
1621	797	263.5	819
1621（ワイド浴槽）・1618	997	168.5	819
1818	997	168.5	238
1616・1216	797	78.5	819

取付設置上のお願い

- シンプルワイドミラー、ウォールミラーとの併設はできません。
- ミッキーマウスシルエット・ミラー（くもり止めヒーター付き）と併設できる収納棚は、クリアシェルフまたはライトシェルフだけです。その場合の取り付け穴開口位置は、ミッキーマウスシルエット・ミラーの取付設置説明書を参照してください。

〈1818サイズ以外の場合〉

〈1818サイズの場合〉



●セミワイドミラーと併設する場合

サイズ	A寸法	B寸法	C寸法
1621	797	98.5	819
1621（ワイド浴槽）・1618	997	98.5	819
1818	997	98.5	238
1616・1216	797	98.5	819

●コンパクトミストと併設する場合

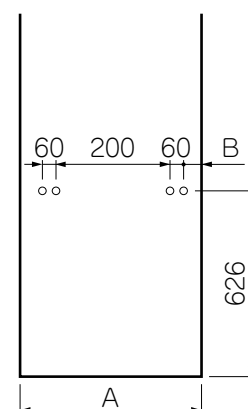
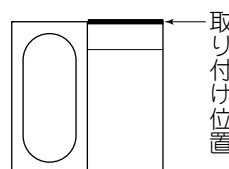
サイズ	A寸法	B寸法	C寸法
1621	797	118.5	819
1621（ワイド浴槽）・1618	997	168.5	819
1818	997	168.5	238
1616・1216	797	78.5	819

クリアワイドシェルフ

（本体編：92ページ）

- ・下穴サイズはすべてφ5.0です。
- ・鋼板用樹脂アンカー（白）を使用してください。
- ・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。
- ・洗い場側壁付水栓の場合も取付位置は同じです。

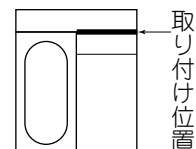
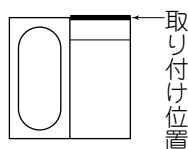
サイズ	A寸法	B寸法
1621	797	441.5
1621（ワイド浴槽）・1618	997	347
1616・1216	797	247



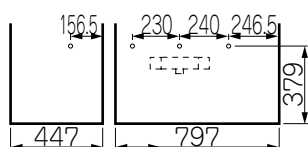
バイザーカウンター・有機ガラス系人造大理石バイザーカウンター（本体編：93ページ）

- ・下穴サイズはすべてφ5.0です。
- ・鋼板用樹脂アンカー（白）を使用してください。
- ・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。

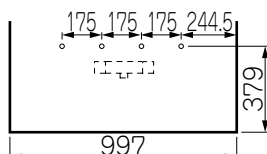
〈1818サイズ以外の場合〉 〈1818サイズの場合〉



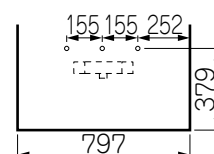
●洗い場側壁水栓の場合 〈1621サイズ〉



〈1621（ワイド浴槽）・ 1818・1618サイズ〉

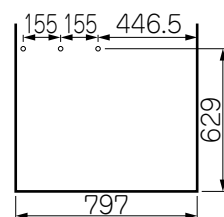


〈1616・1216サイズ〉

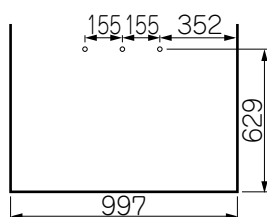


●ウェーブカウンター・有機ガラス系人造大理石カウンターと水栓を併設する場合

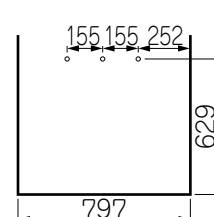
〈1621サイズ〉



〈1621（ワイド浴槽）・1618サイズ〉



〈1616・1216サイズ〉

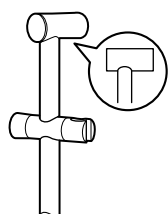
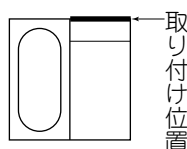


スライドバー（握りバー兼用）

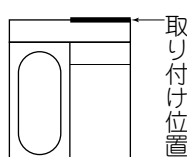
（本体編：94ページ）

- ・下穴サイズはすべてφ10です。
- ・裏側から補強プレート（製品に付属）をブチルテープではり付けてください。
- ・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。

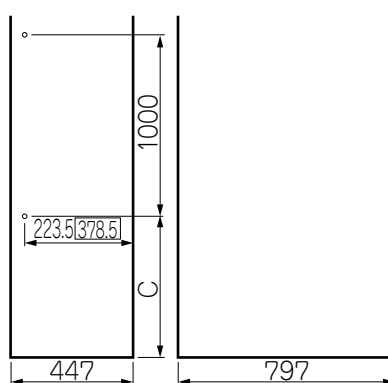
〈1818サイズ以外の場合〉 〈部材形状〉



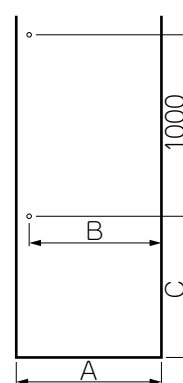
〈1818サイズの場合〉



〈1621サイズ〉



〈1621（ワイド浴槽）・ 1818・1618・1616・1216サイズ〉



※□内寸法はウォールミラーを併設する場合です。

●シンプルワイドミラー・セミワイドミラーと併設する場合

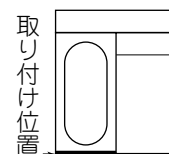
サイズ	A寸法	B寸法	C寸法
1621			778
1621（ワイド浴槽）・1618	997	848.5	778
1818	997	848.5	137
1616・1216	797	728.5	778

サイズ	A寸法	B寸法	C寸法
1621			628
1621（ワイド浴槽）・1618	997	848.5	628
1818	997	848.5	87
1616・1216	797	728.5	628

風呂ふたフック

(本体編：97、98ページ)

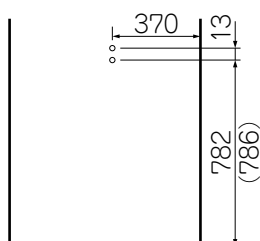
- ・風呂ふたフックの下穴開口は、フック取り付け時に行います。取付設置方法は本体編310ページを参照ください。
 - ・下穴サイズはすべてφ2.8です。
 - ・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。
- ※ () 内寸法は、有機ガラス系人造大理石浴槽の場合です。
- ※アーチ浴槽・エスライン浴槽〈1621・1818・1618・1616サイズ〉で、握りバーを組みふた設置側へ取り付けした場合、風呂ふたは洗い場側設置となります。
- ※1216サイズで組みふたを縦置きする場合、ココチーノSクラスと美泡湯セレクションでは取り付け高さが異なります。



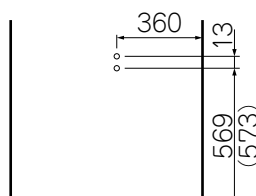
〈組みふた〉

【横置きの場合（標準取り付け位置）】

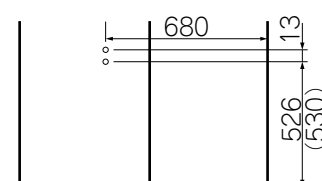
- ・断熱組みふたも同寸法

●アーチ浴槽・エスライン浴槽
〈1621・1818・1618・1616サイズ〉●アーチ浴槽
〈1216サイズ〉

■ココチーノSクラス・美泡湯セレクション共通



●ワイド浴槽



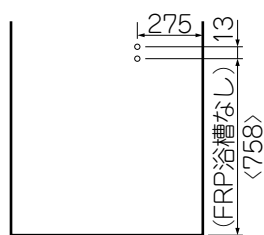
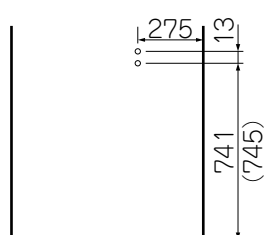
【縦置きの場合（握りバーがある場合）】

- ・断熱組みふたも同寸法

●アーチ浴槽
〈1216サイズ〉

■ココチーノSクラスの場合

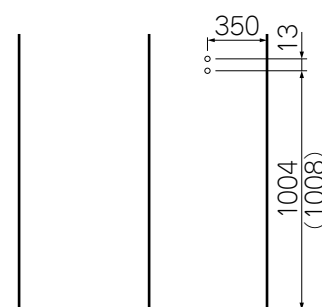
■美泡湯セレクションの場合



参考

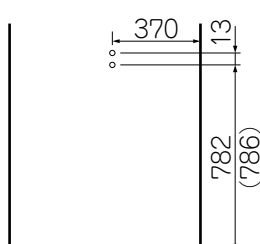
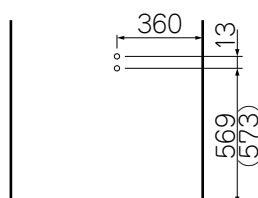
品番	ココチーノ Sクラス	美泡湯 セレクション
組みふた	RLA71KN11	GTA71BKN11
断熱組みふた	RLA71KF91	GTA71BKF91

●ワイド浴槽

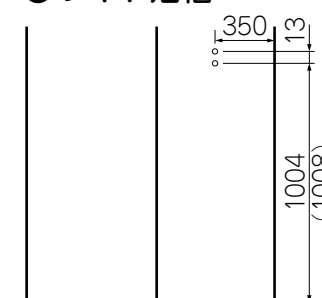


【マイクロバブル浴室洗浄を併設する場合】

- ・断熱組みふたも同寸法

●アーチ浴槽・エスライン浴槽
〈1621・1818・1618・1616サイズ〉●アーチ浴槽
〈1216サイズ〉

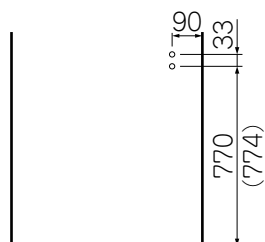
●ワイド浴槽



〈巻きふた〉（オプション）

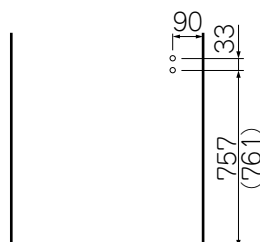
・巻きふたの風呂ふたフックはオプションです。

●アーチ浴槽・エスライン浴槽 〈1621・1818・1618・1616サイズ〉

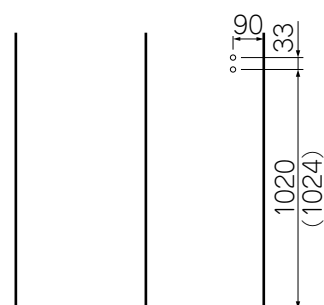


●アーチ浴槽 〈1216サイズ〉

■ココチーノSクラス・
美泡湯セレクション共通



●ワイド浴槽

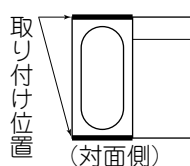


物干しバー受け

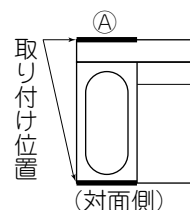
（本体編：99ページ）

- ・下穴サイズはすべてφ2.8です。
- ・本図はR勝手の場合を表します。
L勝手の場合は本図と対称になります。また、対面側の壁パネル穴開口も、1818サイズを除き、本図と対称になります。

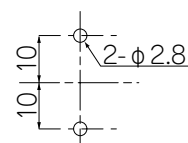
〈1818サイズ以外の場合〉



〈1818サイズの場合〉

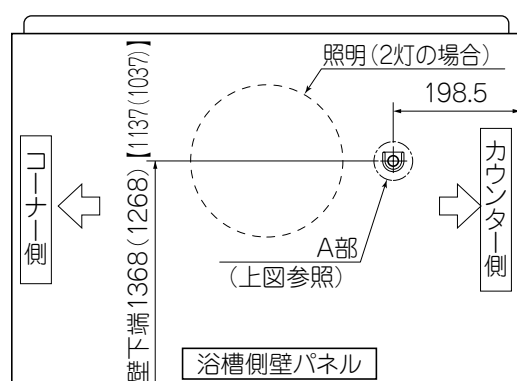


〈A部詳細〉

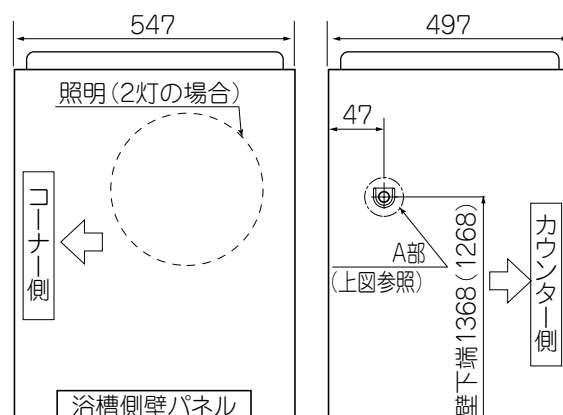


●エクセレント照明・ブライツ照明・四角丸ブラケット照明の場合

〈1621・1818・1618・1616・1216サイズ〉



〈1621（ワイド浴槽）サイズ〉



※（ ）寸法は、全高100mmカットの場合です。

※【 】寸法は、1818サイズ正面パネル（A）の場合です。

※フラット天井の場合、以下の点に注意してください。

物干しバーを2本付ける場合、またやむを得ず位置をずらす場合は、天井面より最低200以上下げて取り付けてください。

物干しバー受けの取り付け推奨範囲は、暖房換気乾燥機付属の説明書を参照ください。

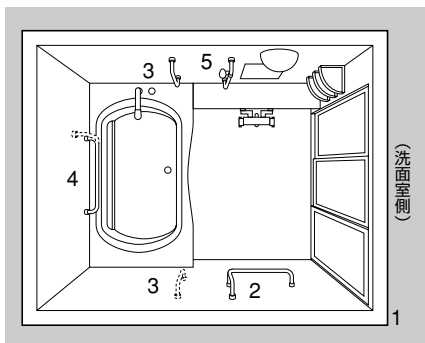
握りバー取り付け位置

単位：mm

取り付け位置と使い方

※下記は、各融資基準を満たすための、一般的な設置位置です。使用者個々の身体に合わせて設置するのが望ましいと言えます。
また、他の器具（風呂ふた・バスタレビ・リモコンなど）や壁パネル接合部・壁パネル裏フレームと干渉するおそれがあります。
都度、取り合いについてはご確認ください。

握りバーの設置例

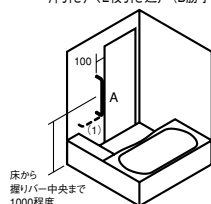


①浴室へ出入り

身体を支える場合

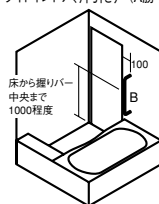
バランスを崩しやすい出入りの際、身体を支える縦握りバーをドア付近に設置します。
ドア横に設置します。

2枚折りドア、スイングドア、ライトインドア、片引き戸、2枚引き込戸 (B勝手)

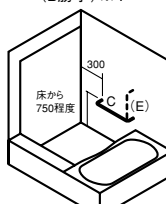


縦型 (A, B) あるいは洗い場での動作 (1) と兼用した型を用います。

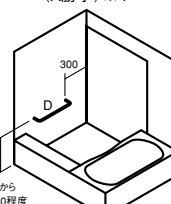
2枚折りドア、スイングドア、ライトインドア、片引き戸 (A勝手)



片引き戸、3枚引き戸 (B勝手) ※4



片引き戸、3枚引き戸 (A勝手) ※4

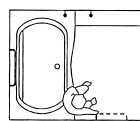


伝え歩きにも使える横型 (C, D) あるいは腰掛けて浴槽に入る場合 (E) と兼用した型を用います。

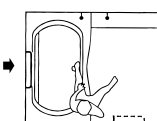
②浴槽への出入り

腰掛けて浴槽に入る場合

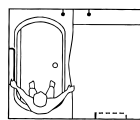
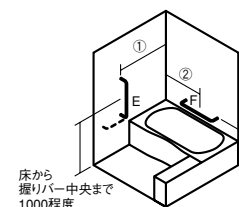
滑りやすい浴室内での移動用に横握りバーを設置します。腰掛けて浴槽に入る場合も兼ねてL型握りバーにするとより便利です。
腰掛けたとき、手が届く位置に設置します。



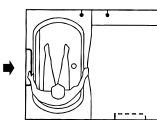
縦型 (E) で身体を支えながら腰掛けます。



フランジに腰掛けたまま身体をずらしながら浴槽内に足を降ろします。



横型 (F) をつかみ腰掛けながら身体を安定する位置までずらします。



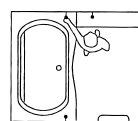
横型 (F) とフランジをつかみながら浴槽内に腰を沈めます。

浴室のサイズ	1621 (ワイド浴槽)	1621 (アーチ・エスライン浴槽)	1818	1618	1616	1216
①の寸法	1150mm ※2	900mm ※2	900mm (ドアB勝手の場合)			
②の寸法	800mm ※3					650mm

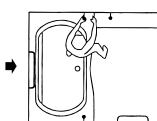
③浴槽への出入り

立って浴槽に入る場合

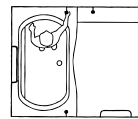
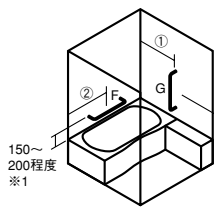
浴槽に立って入る場合は、浴槽出入り用の縦握りバーをいずれかに設置します。
浴槽をまたぐときに手の届く位置に設置します。
(下図と同じ、もしくは反対側に握りバーを設置します。)



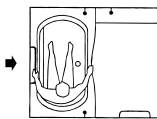
正面縦型 (G) で身体を支えます。



正面縦型をつかんだまま浴槽をまたぎます。



正面縦型をつかんだまま浴槽に入ります。

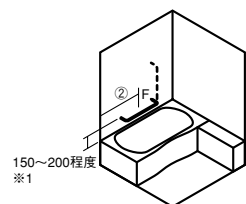


横型 (F) とフランジをつかみながら浴槽内に腰を沈めます。

浴室の サイズ	1621 (ワイド浴槽)	1621 (アーチ・エスライン浴槽)	1818	1618	1616	1216
①の寸法	950mm	700mm ※4				
②の寸法	800mm ※3					650mm

④浴槽内での身体の保持

浴槽から手の届く位置に設置します。

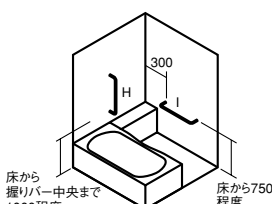


浴槽での立ち座りおよび、浴槽での姿勢保持用に、浴槽横の壁に握りバーを設置します。

⑤洗い場での動作

腰を降ろしたり、立ち上がったりの場合

洗い場から手の届く位置に設置します。



洗い場での動作を補助するための縦握りバーまたは、横握りバーを設置します。
(イラストはシャワースライド兼用タイプ。商品の仕様により設置できない場合もあります。)

浴室のサイズ	1621 (ワイド浴槽)	1621 (アーチ・エスライン浴槽)	1818	1618	1616	1216
②の寸法	800mm ※3					650mm

- ※1 巻きふたをご利用の場合は、200mm程度の高さに取り付けることをおすすめします。
- ※2 L型握りバーの場合、スイングドアの扉を開けると握りバーが扉に当たりやすいため、ご注意ください。
- ※3 握りバーの長さはL=600mmまたは400mmをおすすめします。
L=800mmの握りバーの場合、浴槽内ステップのある浴槽のとき、動作に支障をきたします。
- ※4 片引き戸の場合でも折れ戸、スイングドアと同じ位置に設置することは可能です。
- ※5 握りバーの優先設置により、風呂ふたの設置場所が洗い場側になることがあります。
(背面側の場合)

取付設置のしかた【抜粋編】

※必ず本体編と併せてお読みください。

●本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。
L勝手は本図と対称になります。

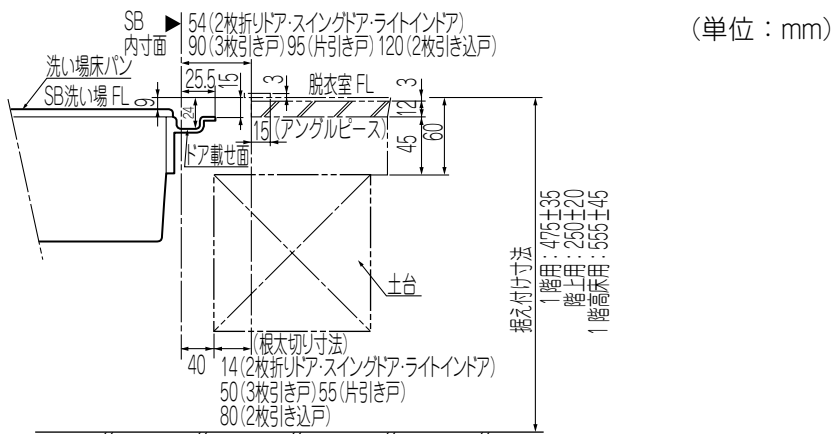
1 取付設置前の準備

1 墨出し

(本体編：103ページ)

①墨出しを行う。

- ・バスルームの内寸および外寸については、平面図を参照ください。



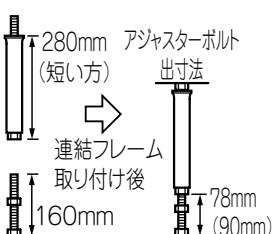
2 洗い場床パンの据え付け

1 床支持バーとアジャスターボルトの組み立て (本体編：107ページ)

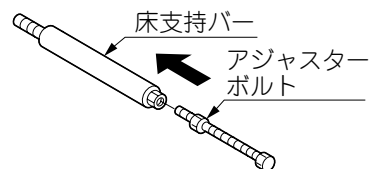
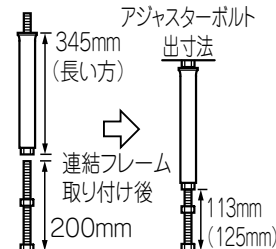
①床支持バーにアジャスターボルトを取り付ける。

- ※床支持バーを抜いても
階上設置・専用架台設置
仕様にはなりません。
- ・床支持バーは長短2種類
あります。
- ・目安として、それぞれ
以下の寸法になるよう
取り付けてください。

〈Aの場合〉



〈Bの場合〉



() 内寸法は

1216サイズの場合

※左記寸法は脱衣室FL～
SB設置面＝555mmの場合

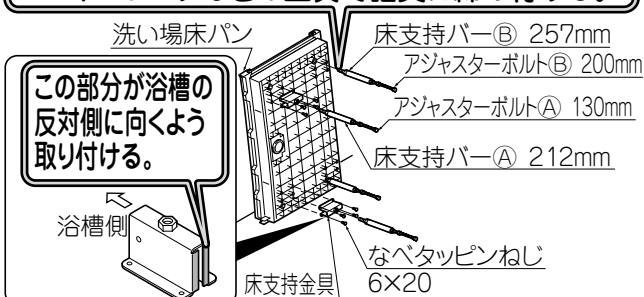
1階高床設置の場合

2 床支持金具とアジャスターボルトの取り付け (本体編：108ページ)

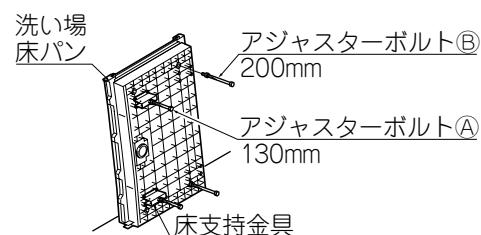
①洗い場床パンに床支持金具（2か所）とアジャスターボルト（4か所）を取り付ける。

〈1階設置の場合〉

モンキーレンチなどの工具で確実に締め付ける。



〈階上設置・専用架台設置の場合〉



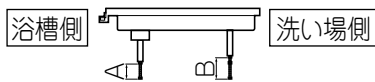
②アジャスターボルトの高さを調節する。

- ・高さの微調整は、連結フレーム連結の際、アジャスターボルトの出寸法で調節します。

取付設置上のお願い

- ・アジャスターボルトは正確に採寸してください。
(ボルト調整可能範囲内より短く調整すると、洗い場床パンを破損するおそれがあります。)

〈1階設置の場合〉



(単位：mm)

	1階設置	
	※脱衣室FL～SB設置面＝475mmの場合 1216サイズ以外	1216サイズ
A寸法	66	78
B寸法	121	133

〈階上設置・専用架台設置の場合〉



(単位：mm)

	階上設置		専用架台設置	
	※脱衣室FL～SB設置面＝250mmの場合		※土台（梁天端）～脱衣室FL＝60mmの場合	
	1216サイズ以外	1216サイズ	1216サイズ以外	1216サイズ
A寸法	54	66	64	76
B寸法	154	166	164	176

3 排水トラップの取り付け

(本体編：113、114ページ)

①排水トラップに浴槽排水管を接続する。

⚠ 注意



- ・排水管の接続は、排水トラップと浴槽排水管の両側全周に接着剤を塗布し、根元までしっかり差し込む
(守らないと、水漏れの原因となります。)

取付設置上のお願い

- ・浴槽排水管にはR勝手、L勝手のマーキングがあるので、注意してください。

②洗い場床パンに排水トラップを取り付ける。

封水筒、ヘアキャッチは後で取り付けるので、(本体編289ページ参照)紛失したり破損しないよう保管すること。

⚠ 注意

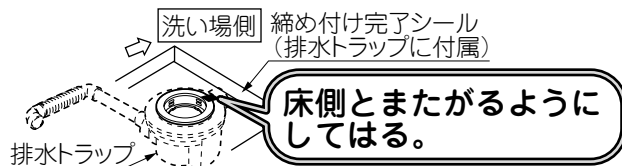
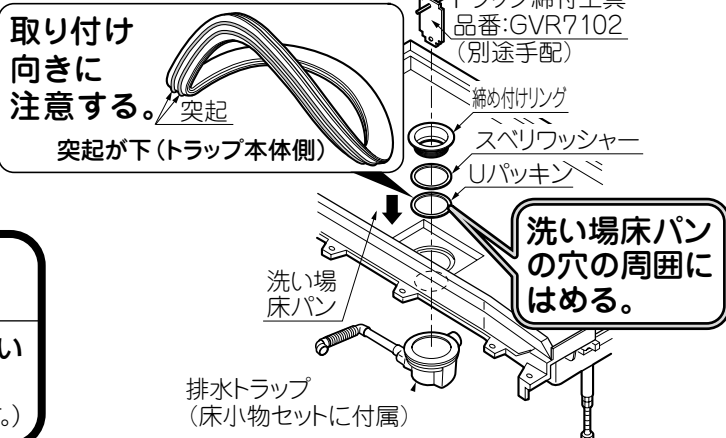
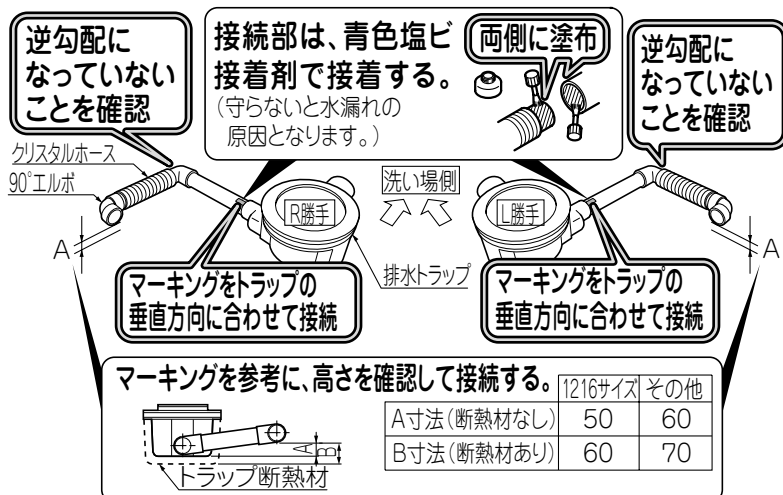


- ・排水トラップのUパッキンは、正しい向きで取り付ける
(守らないと水漏れするおそれがあります。)

③洗い場側排水トラップに締め付け完了シールをはる。

取付設置上のお願い

- ・締め付け完了シールは、必ずはってください。

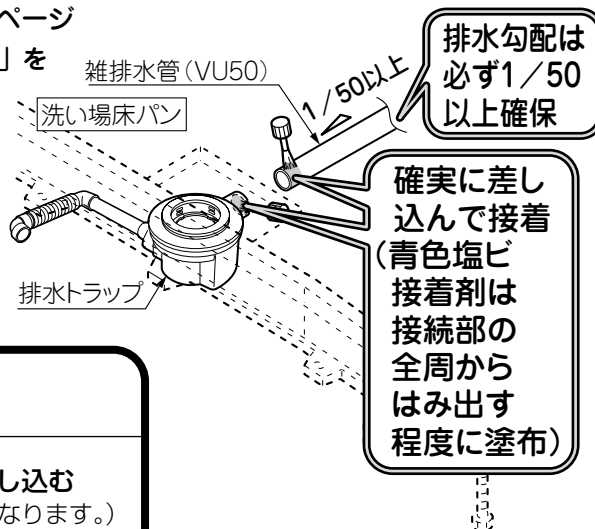


4 雑排水管の接続

(本体編：115ページ)

- ・雑排水管の取り出し方向と位置については、本体編27～32ページの「排水管けり出し可能位置図・排水管落とし可能位置図」を参照のうえ、事前に工務店様と打ち合わせしてください。

- ①雑排水管の接続部分をウエスなどで清掃する。
・雑排水管は洗い場床パンに付属しています。
- ②排水トラップの差し込み口と雑排水管の接続部分の全周に青色塩ビ接着剤を塗布する。
- ③雑排水管を排水トラップに接続する。



⚠ 注意



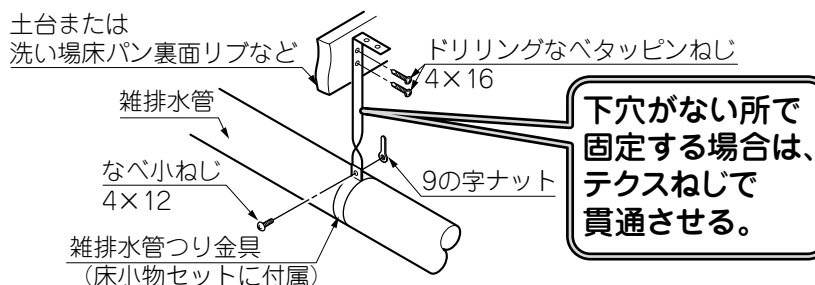
- 雑排水管の差し込み部は、根元までしっかり差し込む
(しっかり差し込まずに接着すると、水漏れの原因となります。)

必ず守る

5 雑排水管の固定

(本体編：115ページ)

- ①雑排水管つり金具を雑排水管に通し、土台または洗い場床パンの裏面リブなどに固定する。

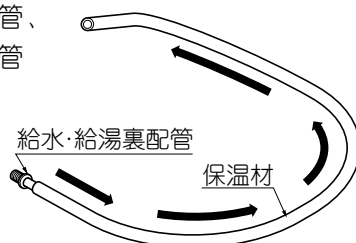


6 裏配管Aの準備

(本体編：116ページ)

- ・裏配管には、給湯管と給水管の2本あります。
- ・赤い保温材が給湯管、青い保温材が給水管です。

- ①配管の保温材をいったん取り外す。



- ②配管を腹部にあてて、胴でまっすぐに伸ばす。



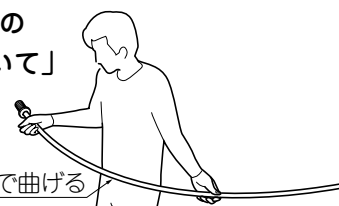
⚠ 注意



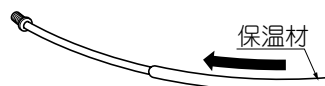
禁止

- 配管は急角度に曲げない
(配管に亀裂が入って、水漏れの原因となります。)

- ③本体編34～39ページの「給水・給湯接続について」を参照して、配管を取り出し方向に合わせて曲げる。 胴で曲げる



- ④保温材を取り付ける。

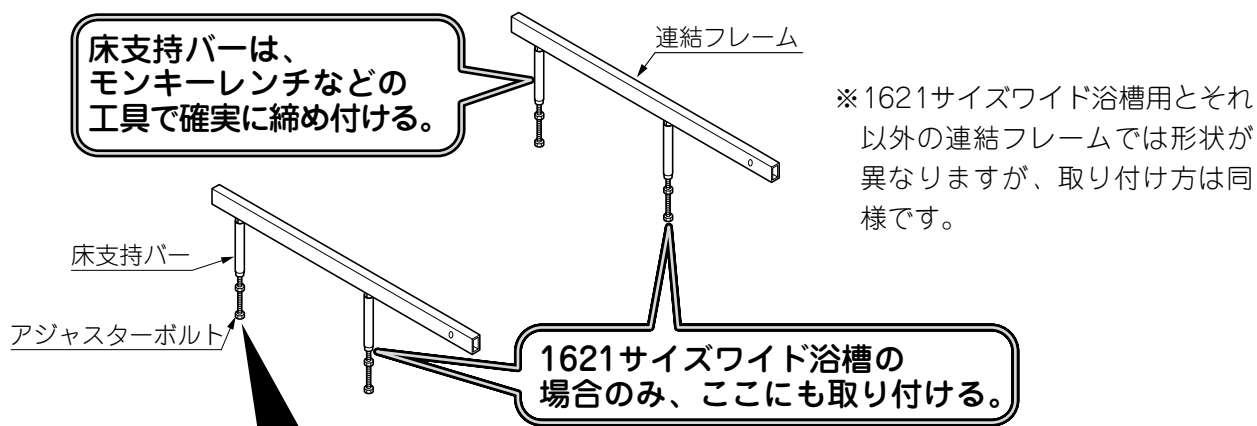


3 連結フレームの据え付け

1 床支持バーとアジャスターボルトの取り付け (本体編：117ページ)

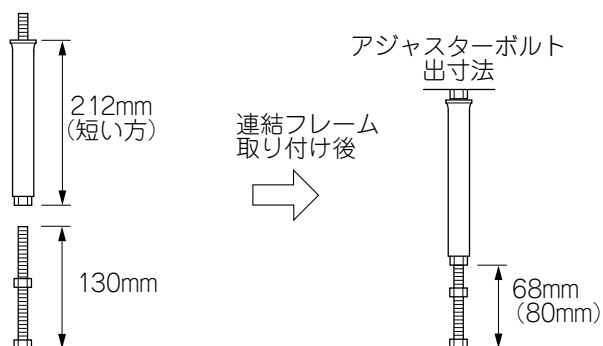
①連結フレームに床支持バーとアジャスターボルトを取り付ける。

・1階設置・1階高床設置の場合は下図を、階上設置・専用架台設置の場合は次ページを参照のうえ、指定の寸法どおりに取り付けてください。



〈1階設置の場合〉

床支持バー + アジャスターボルトを取り付け

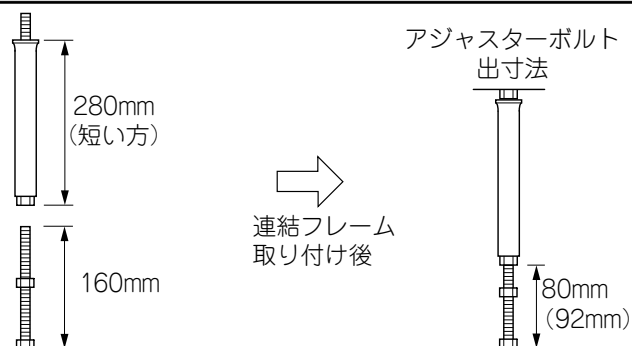


()内寸法は1216サイズの場合

※上記寸法は脱衣室FL～SB設置面＝475mmの場合

〈1階高床設置の場合〉

床支持バー + アジャスターボルトを取り付け



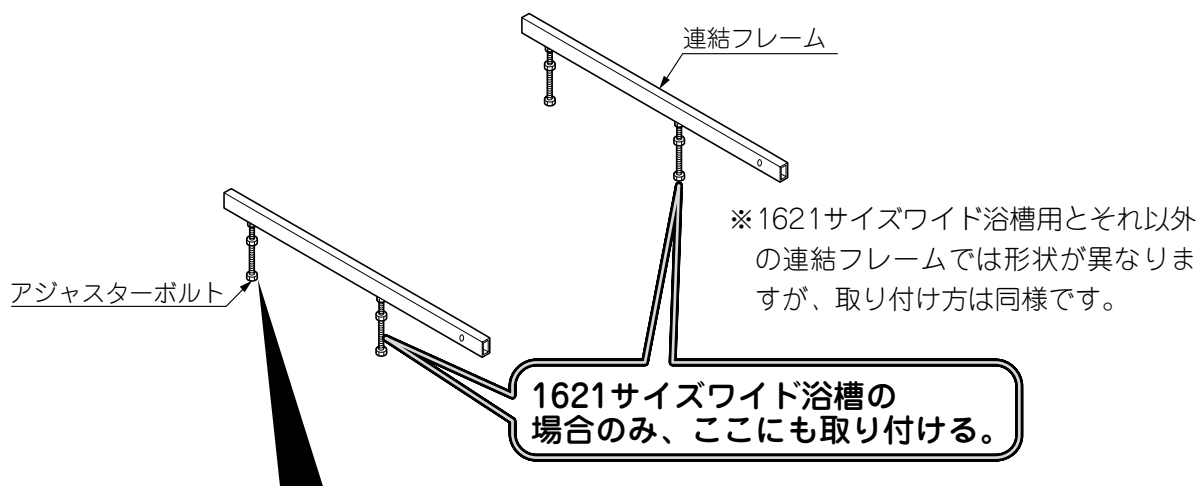
()内寸法は1216サイズの場合

※上記寸法は脱衣室FL～SB設置面＝555mmの場合

2 アジャスターボルトの取り付け

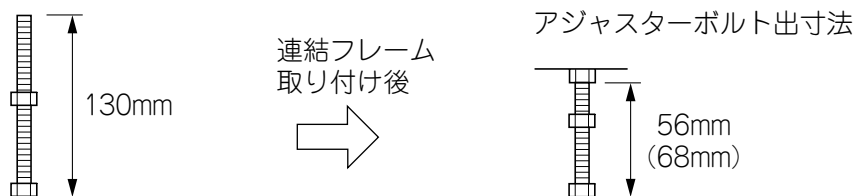
(本体編：118ページ)

- ・階上設置・専用架台設置の場合は、アジャスターボルトのみ取り付けてください。



〈階上設置の場合〉

アジャスターボルトのみ取り付け

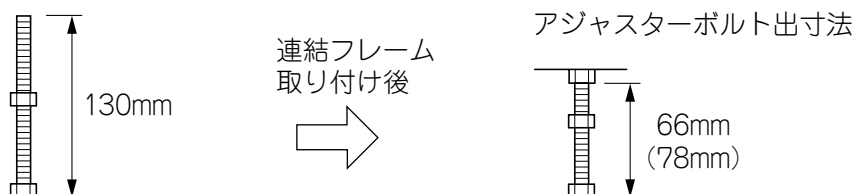


() 内寸法は1216サイズの場合

※上記寸法は脱衣室FL～SB設置面＝250mmの場合

〈専用架台設置の場合〉

アジャスターボルトのみ取り付け



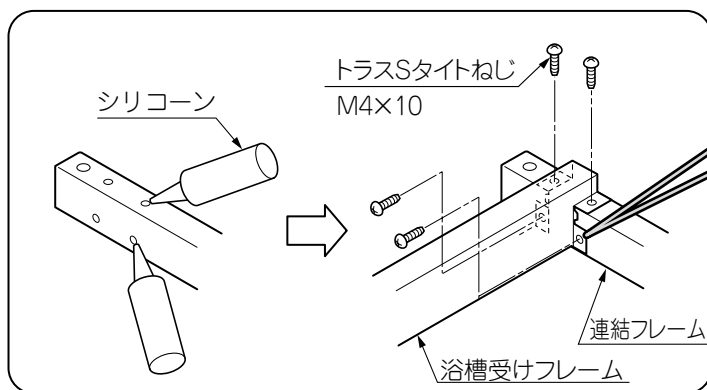
() 内寸法は1216サイズの場合

※上記寸法は土台（梁天端）～脱衣室FL＝60mmの場合

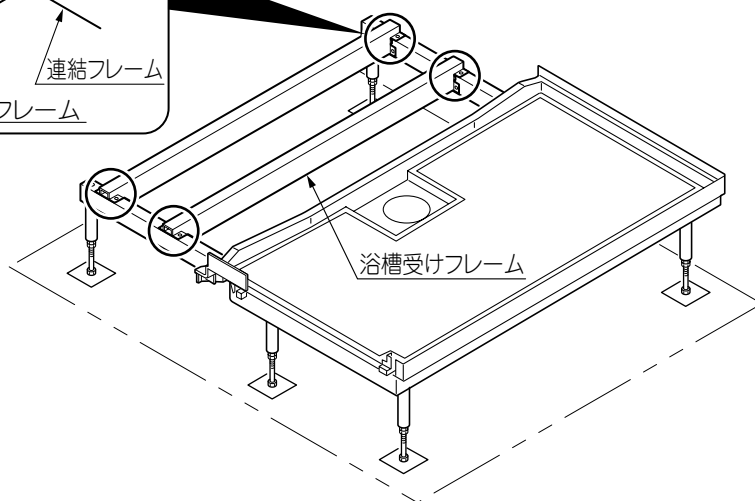
3 浴槽受けフレームの取り付け

(本体編：121ページ)

- ①ねじ穴にシリコンを塗布する。
- ②連結フレームに浴槽受けフレームを取り付ける。



充電ドリルドライバーは、
ドリルビットの長いもの
を使用すると、ねじ留め
しやすい。



⚠ 注意

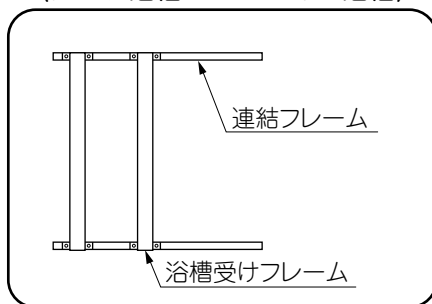


必ず守る

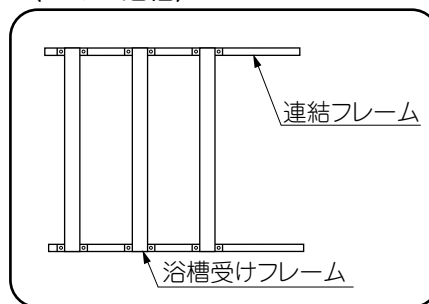
- シリコン充てんは指定個所に
確実にを行う
(確実にシリコン充てんしないと、音鳴りの原因となります。)

※図はR勝手の場合

〈アーチ浴槽・エスライン浴槽〉



〈ワイド浴槽〉



〈浴槽の種類〉

1600ワイド浴槽

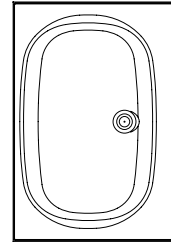
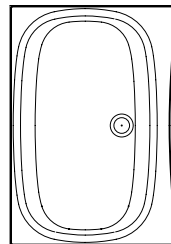
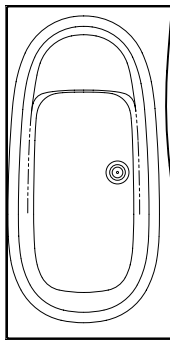
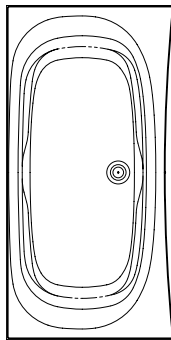
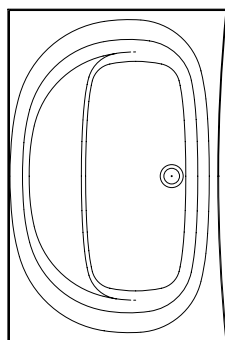
1600アーチ浴槽

1600エスライン浴槽

1150アーチ浴槽

〈ココチーノSクラスの場合〉

〈美泡湯セレクションの場合〉

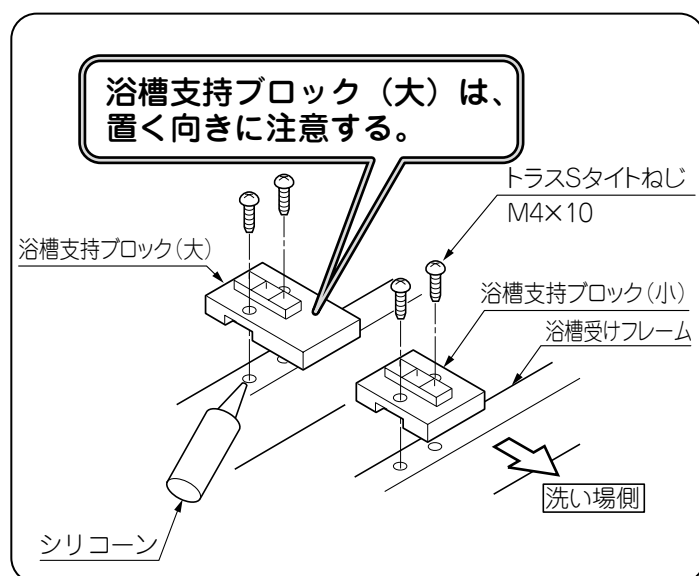


4 浴槽支持ブロックとスライドプレートの取り付け（本体編：122、123ページ）

①ねじ穴にシリコンを塗布する。

②浴槽受けフレームに浴槽支持ブロックとスライドプレートを取り付ける。

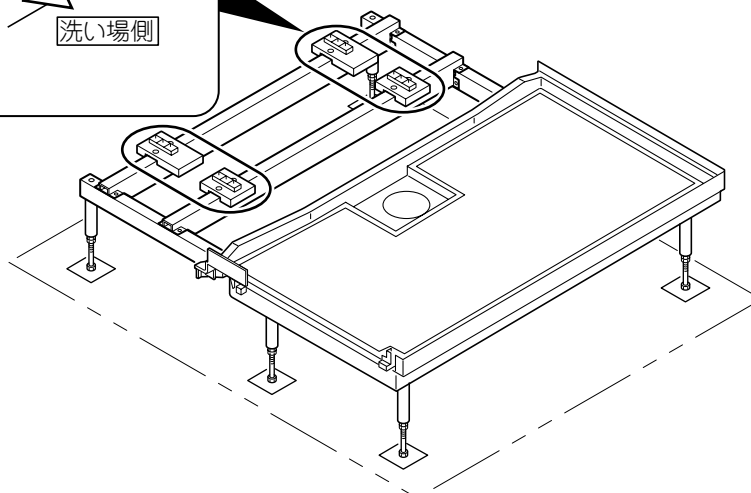
・浴槽によって、使用する部材の種類や、浴槽受けフレームへの取り付け位置が異なります。



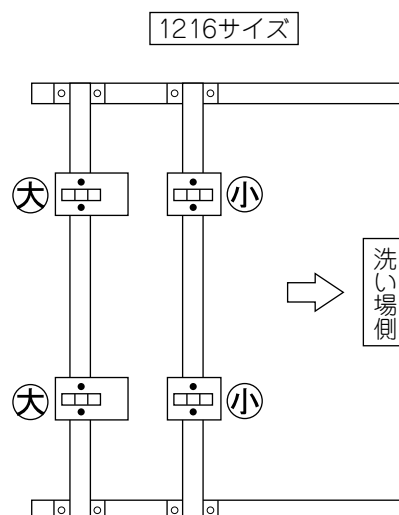
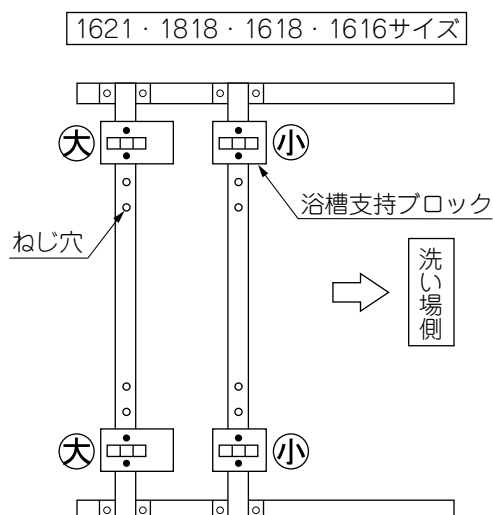
⚠ 注意



●シリコン充てんは指定個所に確実に
に行う
(確実にシリコン充てんしないと、音
鳴りの原因となります。)

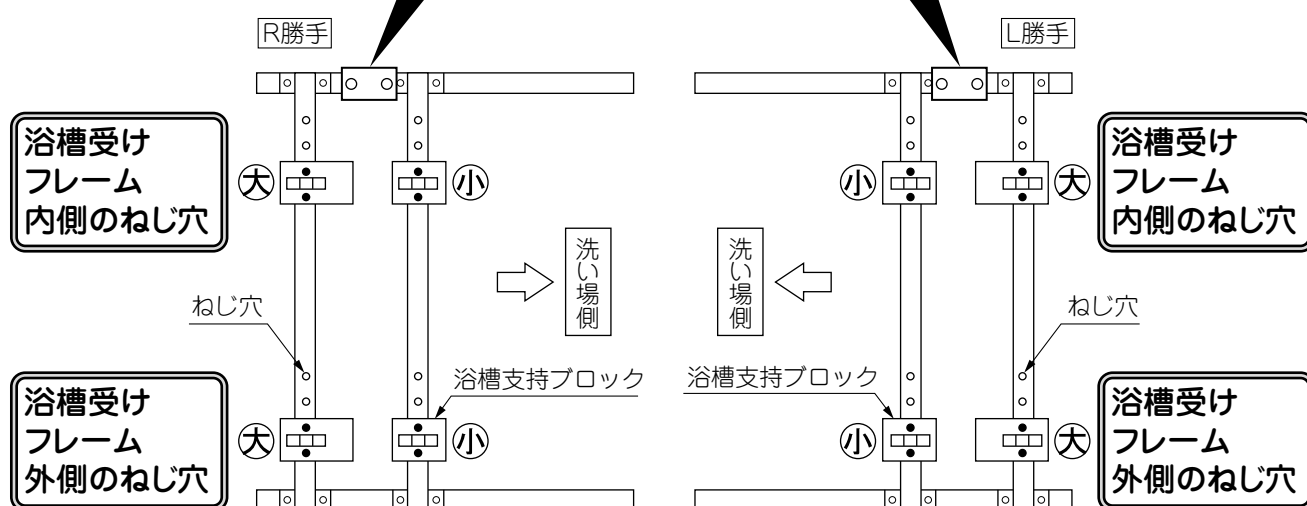
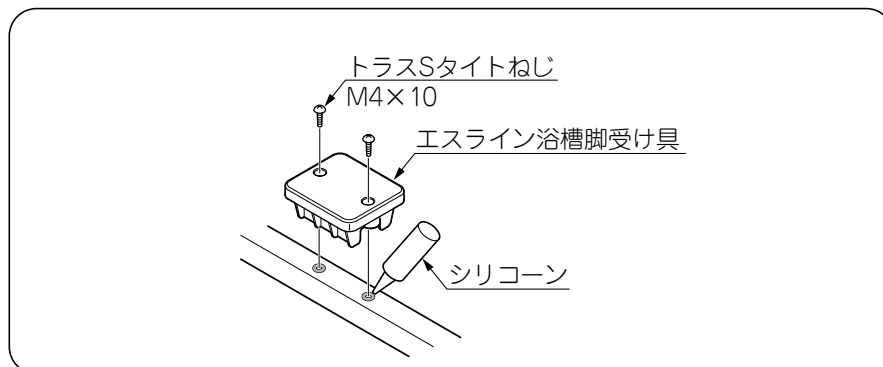


〈アーチ浴槽の場合〉・の個所をねじ留めしてください。

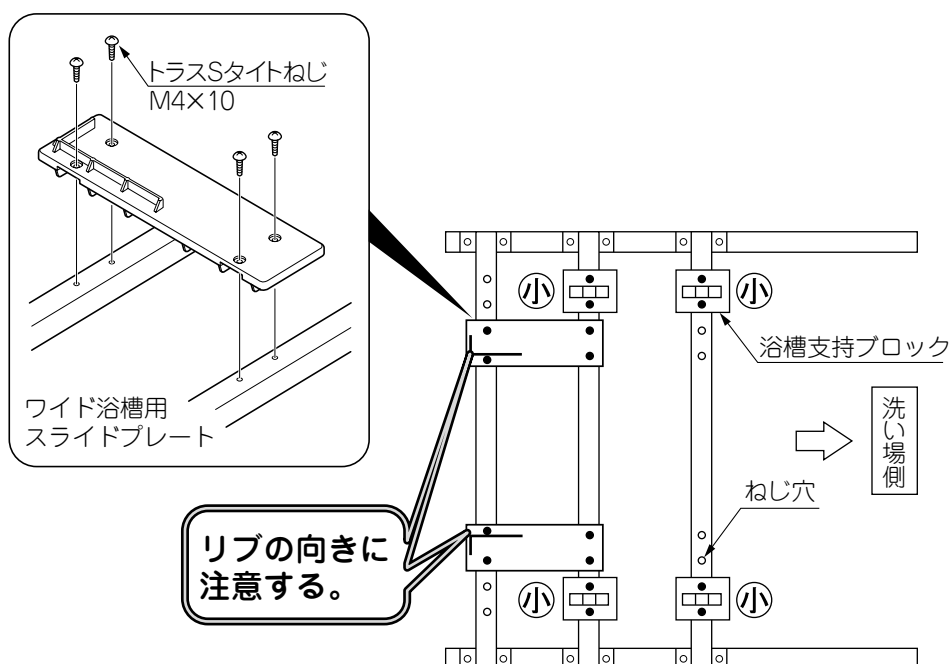


〈エスライン浴槽の場合〉・の個所をねじ留めしてください。

〈人造大理石浴槽の場合のみ〉（各部材は人造大理石浴槽に付属）

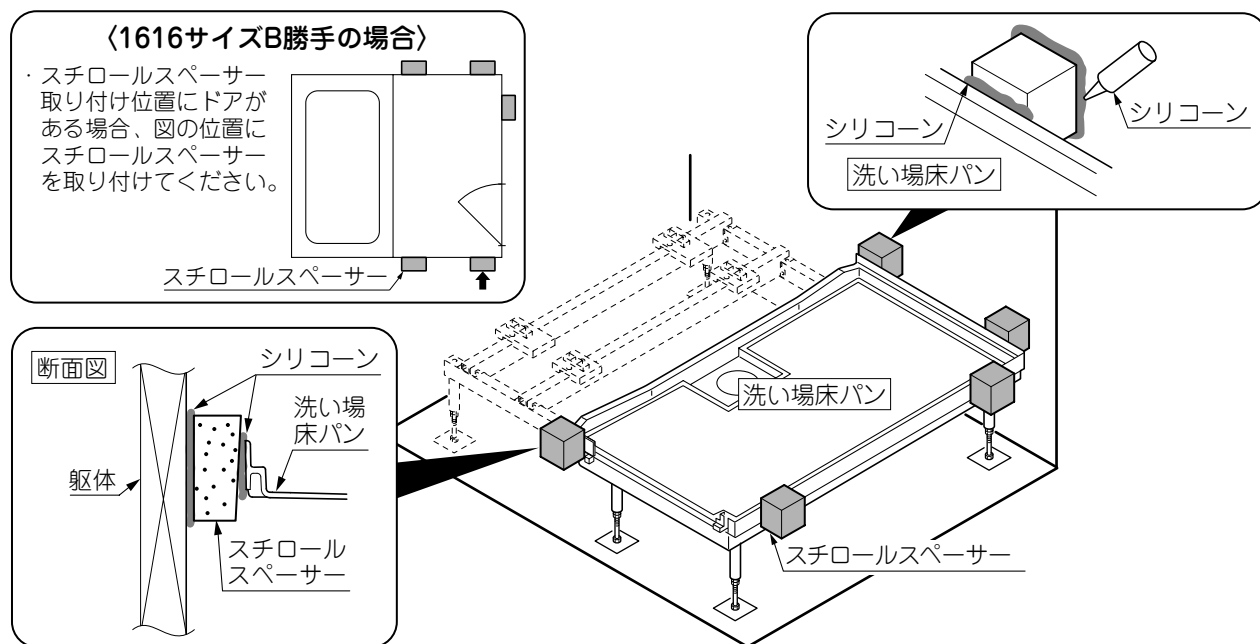


〈ワイド浴槽の場合〉・の個所をねじ留めしてください。



5 床固定用スチロールスペーサーの取り付け (本体編：124ページ)

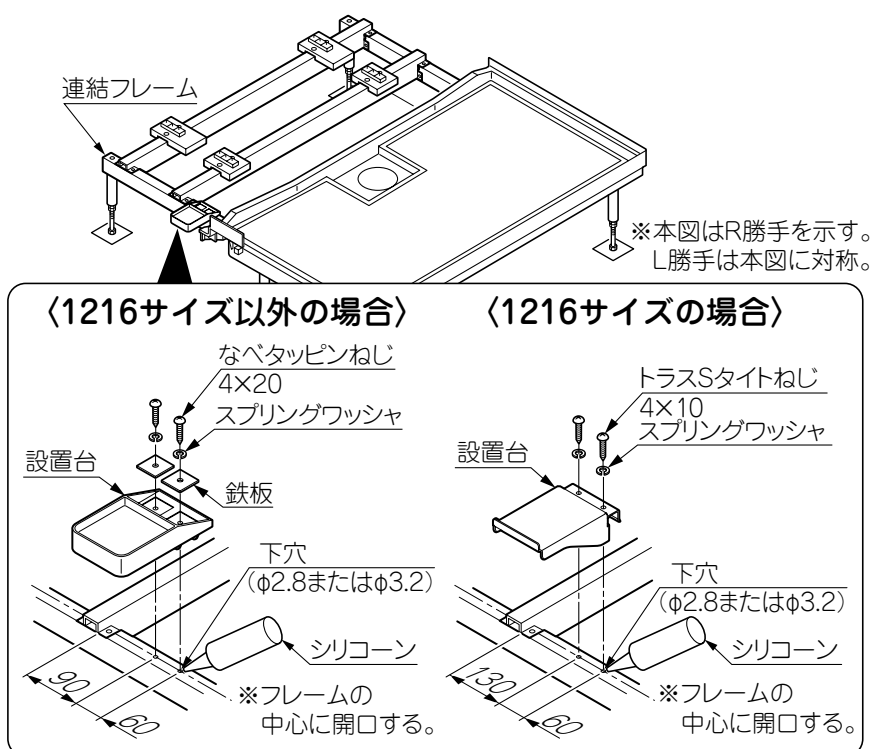
- ① 洗い場床パンと躯体の寸法に合わせてスチロールスペーサーをカットする。
 - ② スチロールスペーサーにシリコンを塗布する。
 - ③ 洗い場床パンと躯体の間にスチロールスペーサーを挟み込む。(4箇所)
 - ④ 挟み込んだスチロールスペーサーをシリコンで固定する。
- ・ 壁掛けハンガーを取り付ける位置には、スチロールスペーサーを取り付けないでください。



6 設置台の取り付け

(本体編：124ページ)

- ① 連結フレームの所定の位置に下穴 (φ2.8またはφ3.2) を開口する。
- ② 開口した下穴にシリコンを塗布する。
- ③ 設置台を連結フレームに取り付ける。



⚠ 注意



必ず守る

・シリコン充てんは指定個所に確実に
(確実にシリコン充てんしないと、音鳴りの原因となります。)

4 浴槽の据え付け

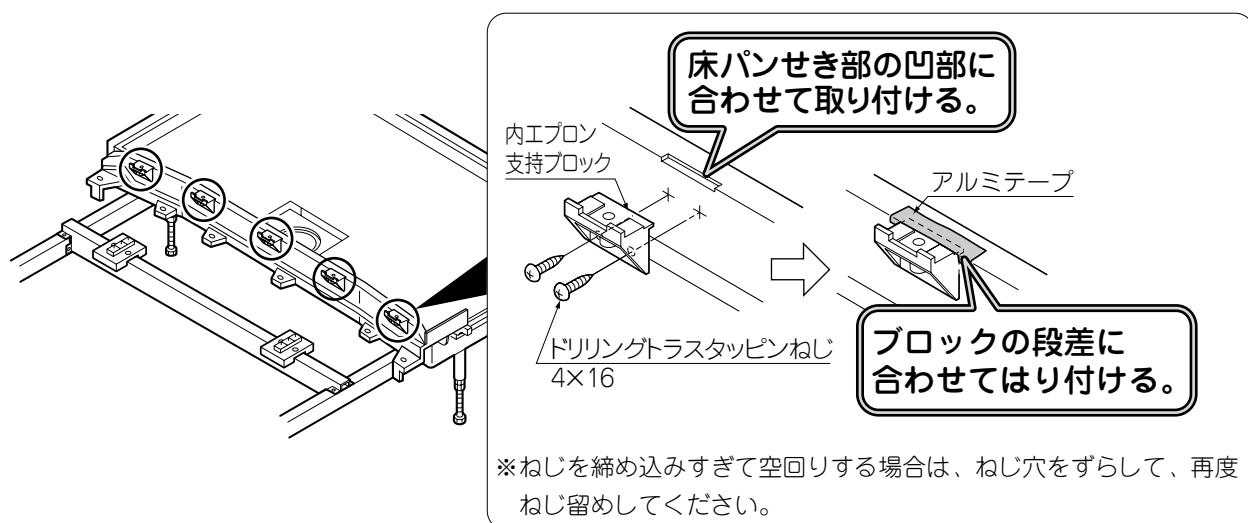
1 内エプロン支持ブロックの取り付け

(本体編：125ページ)

①床パンせき部側面に、内エプロン支持ブロックを取り付ける。

・1216サイズ以外は5か所、1216サイズは4か所取り付けてください。

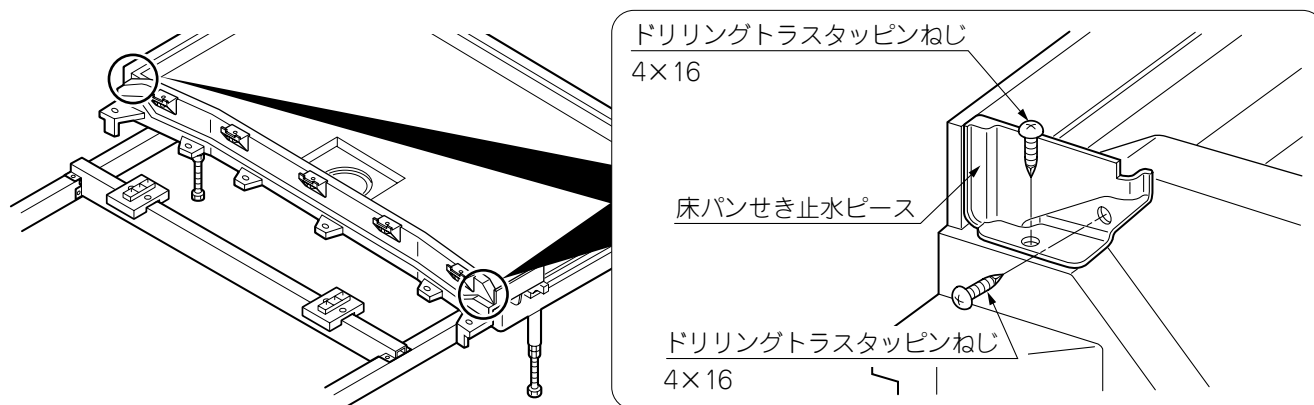
②内エプロン支持ブロックと床パンせき部との溝にアルミテープ（13mm×70mm）をはる。



2 床パンせき止水ピースの取り付け

(本体編：125ページ)

①床パンせき止水ピースを取り付ける（2か所）。



3 配管接続穴の開口

（本体編：126ページ）

取付設置上のお願ひ

- 内エプロンの穴開口は、内エプロンの表面と裏面の両側からホールソーやドリル、またはキリを用いて行ってください。
（内エプロンの片面のみから貫通させようとすると、内エプロンを傷めるおそれがあります。）

①内エプロンに配管取り付け用の穴を開口する。

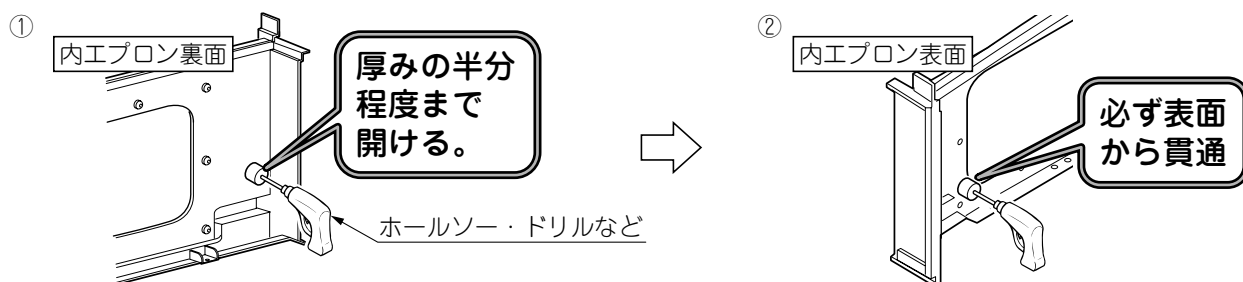
- ・給水管・給湯管用の開口サイズはφ30（2か所）です。
- ・〈オプション〉追い焚き受け皿ホース用・マイクロバブル浴室洗浄の水受けパン用ホース用の開口サイズはφ25（1か所）です。
- ・カウンター側のドリルガイドを目安に開口してください。
- ・ホールソーやドリル、またはキリを使用して、内エプロン裏面から厚みの半分程度まで開けてください。
- ・穴貫通は内エプロンの表面から行います。

⚠ 注意

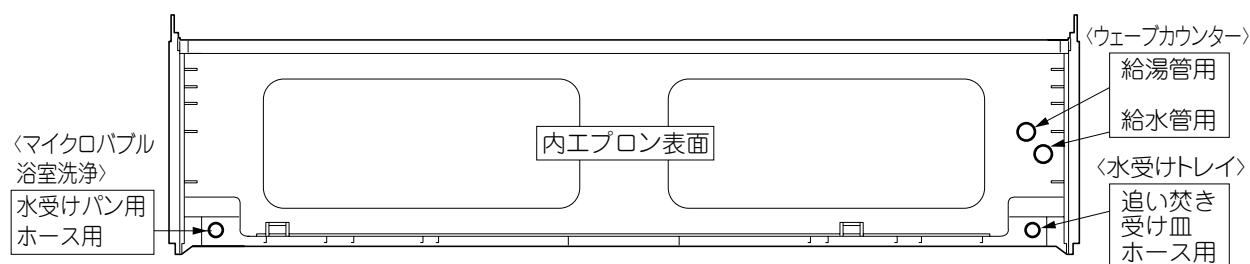


- 開口部のバリ取りは確実に
行う
（バリ取りをしないとけがや
水漏れの原因となります。）
- シリコーン充てんは指定個
所に確実に
行う
（確実にシリコーン充てんしな
いと、水漏れの原因とな
ります。）

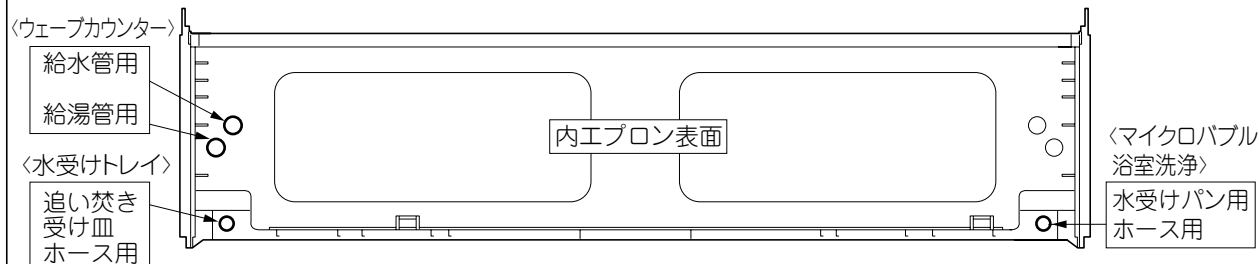
②残りの厚み半分以上を表面から貫通させる。



〈R勝手の場合〉



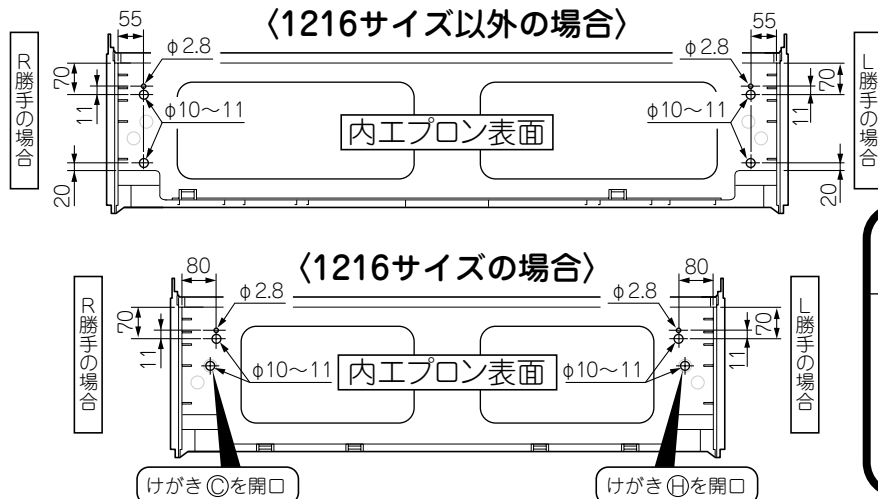
〈L勝手の場合〉



4 内エプロンの下穴開口

(本体編：127ページ)

①内エプロンに吸気口・排気口取り付け用の $\phi 10$ または $\phi 11$ 穴（2か所）、 $\phi 2.8$ 穴（1か所）を開口する。



⚠ 注意



●開口部のバリ取りは確実に行う
(バリ取りをしないと
けがや水漏れの原因
となります。)

5 吸気口・排気口の取り付け

(本体編：128ページ)

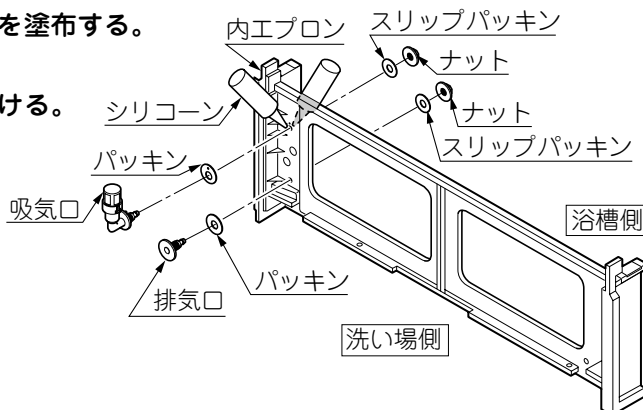
①開口した下穴に内エプロンの両面からシリコンを塗布する。

②吸気口・排気口を、それぞれ内エプロンに取り付ける。

⚠ 注意



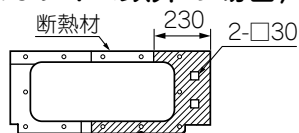
●シリコン充てんは指定個所に
確実に行う
(確実にシリコン充てんしないと、
水漏れの原因となります。)



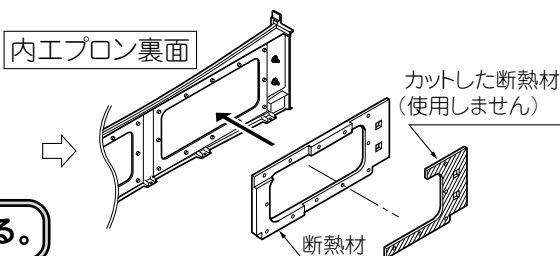
取付設置上のお願

●高断熱仕様の場合
は、内エプロン裏
面の断熱材を図の
ように切り欠いて
ください。

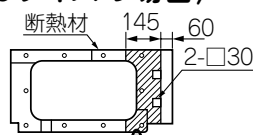
〈1216サイズ以外の場合〉



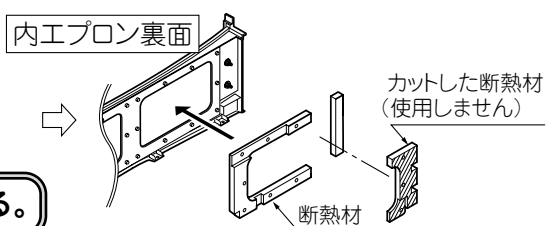
1枚目の斜線部をカットする。



〈1216サイズの場合〉



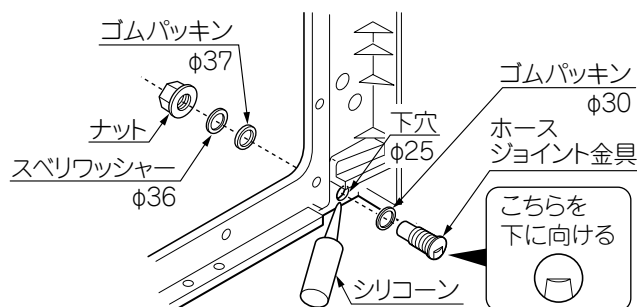
斜線部をすべてカットする。



水受けトレイ(オプション)・
マイクロバブル浴室洗浄
(オプション)仕様の場合

6 追い焚き受け皿用部品・水受けパン用部品の取り付け (本体編：129ページ)

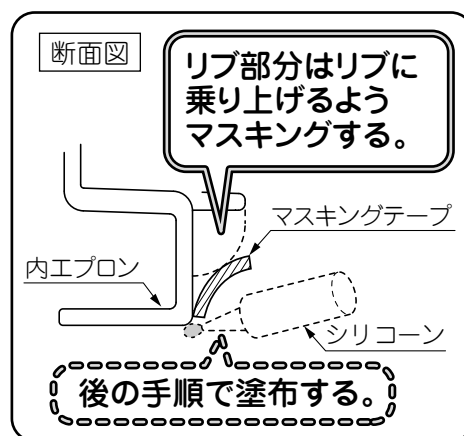
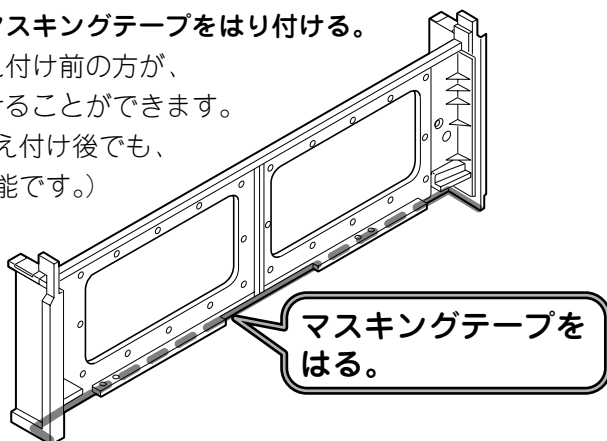
- ①〈オプション〉追い焚き受け皿用部品
(浴槽に付属)・水受けパン用部品
(マイクロバブル浴室洗浄に付属)を
内エプロンに取り付ける。



7 マスキングテープのはり付け (本体編：129ページ)

- ①内エプロンにマスキングテープをはり付ける。

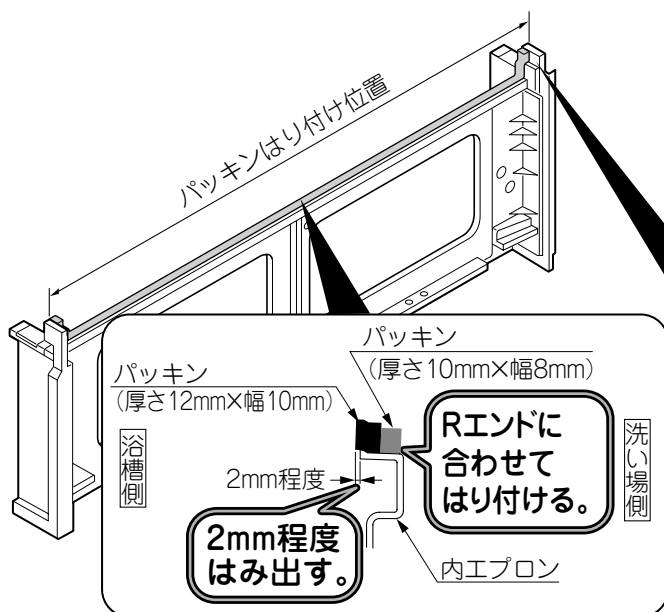
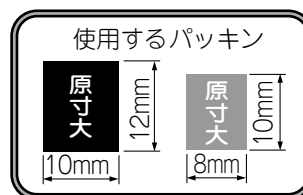
・内エプロン据え付け前の方が、
簡単にはり付けることができます。
(内エプロン据え付け後でも、
はり付けは可能です。)



8 内エプロン上部へのパッキンはり付け (本体編：129ページ)

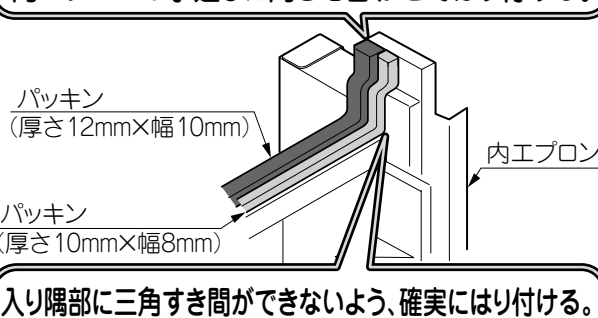
- ①内エプロン上部にパッキンをはり付ける。

(厚さ12mm×幅10mmと厚さ10mm×幅8mmのパッキンによる2重パッキン)



※パッキンが切れた場合は、突き付けではり、
突き付け部にシリコンを塗布してください。

内エプロンの水返しに高さを合わせてはり付ける。



9 内エプロンへの水栓固定金具の取り付け

(本体編：130ページ)

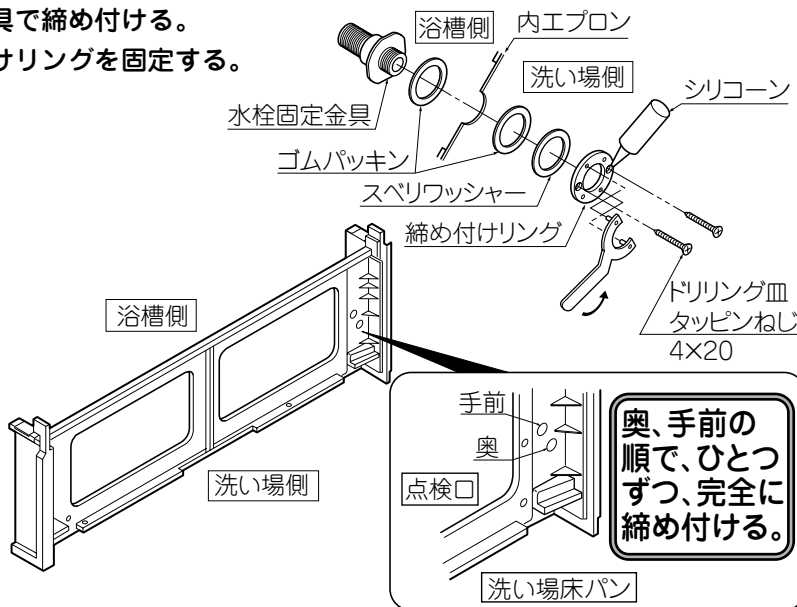
- ①水栓固定金具にゴムパッキン2枚とスベリワッシャーを通す。
- ②締め付けリングを専用の締め付け工具で締め付ける。
- ③ドリリング皿タッピンねじで締め付けリングを固定する。

⚠ 注意



必ず守る

- 水栓固定金具や裏配管の取り付けは必ず専用工具を使用する
(専用工具を使用しないと、部材などが破損して水漏れの原因となります。)
- 締め付けリングはドリリング皿タッピンねじで確実に固定する
(ねじ固定をしないと、緩みにより水漏れしたり、落下してけがをすおそれがあります。)



10 浴槽排水管の取り付け

(本体編：131ページ)

- ①排水管を浴槽に取り付ける。

⚠ 注意

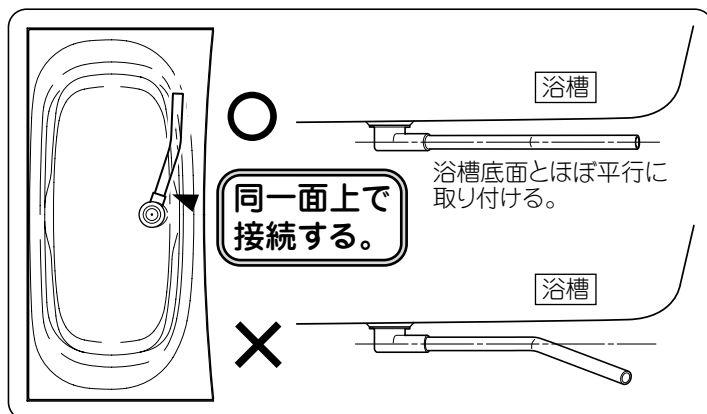


必ず守る

- 排水管の接続は、浴槽側と排水管の両側全周に接着剤を塗布し、根元までしっかり差し込む
(守らないと、水漏れの原因となります。)

取付設置上のお願い

- 浴槽を裏返しにして置く際は、フランジ面に傷が付かないよう、確実に養生してください。



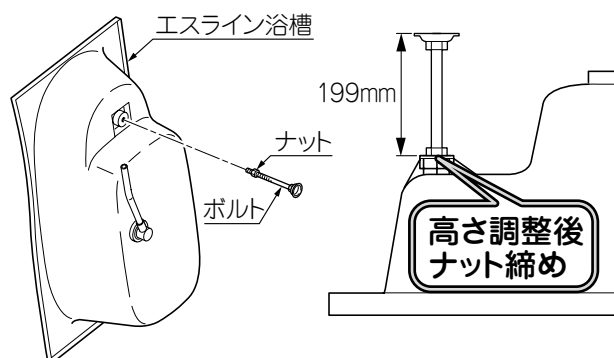
11 ボルトの取り付け

(本体編：132ページ)

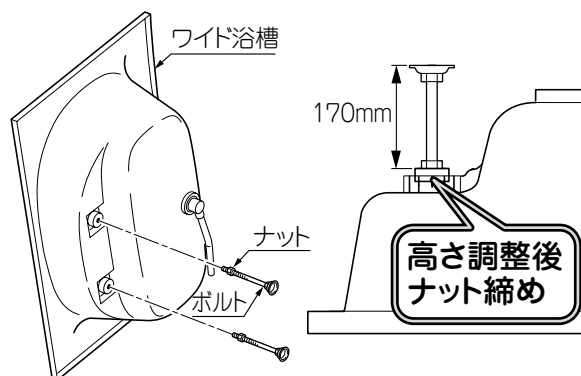
①浴槽裏にボルトを取り付ける。

・ボルトをねじ込んで、高さ調整後、ナットで固定してください。

〈FRPエスライン浴槽の場合〉



〈FRPワイド浴槽の場合〉



12 洗い場床パンへのパッキンはり付け

(本体編：139、140ページ)

①床パンせき部にパッキンをはり付ける。

(厚さ8mm×幅8mmと厚さ5mm×幅5mmのパッキンによる2重パッキン)

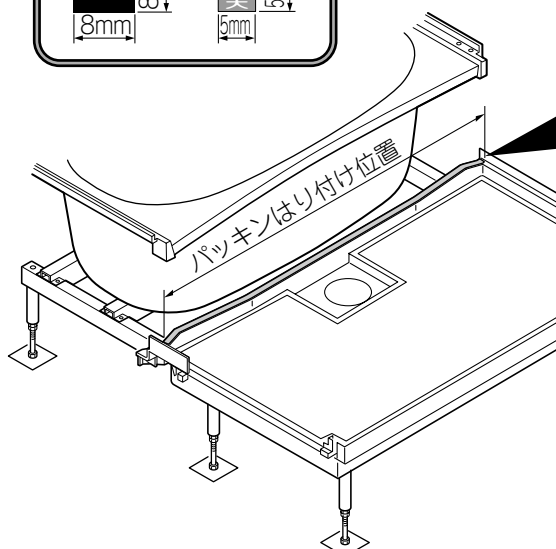
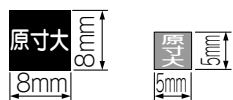
⚠ 注意



必ず守る

●パッキンは洗い場床パンの指定位置に合わせて、確実にはり付ける
(確実にはり付けないと、水漏れの原因となります。)

使用するパッキン



※パッキンが切れた場合は、突き付けではり、突き付け部にシリコンを塗布してください。

浴槽側

パッキン
(厚さ5mm×幅5mm)

Rエンドに
合わせて
はり付ける。

パッキン
(厚さ8mm×幅8mm)

洗い場側

床パンせき部

床パンせき部の
フラット部の
端まではる。

床パンせき
止水ピース

水返しに
突き付けではる。

パッキン
(厚さ5mm×幅5mm)

断面図

床パンせき
止水ピース

パッキン
洗い場
床パン

パッキン
(厚さ8mm×幅8mm)

②床パンせき止水ピースにシリコンを塗布し、指で押さえて仕上げる。

指で押さえて
すき間がないよう
確実に仕上げる。

浴槽側

床パンせき
止水ピース

シリコン

洗い場側

⚠ 注意



必ず守る

- シリコン充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れ
の原因となります。)

③壁下パッキンを下図の位置にはり付ける。
・はく離紙をはがして、丁寧にはり付けてください。

取付設置上のお願い

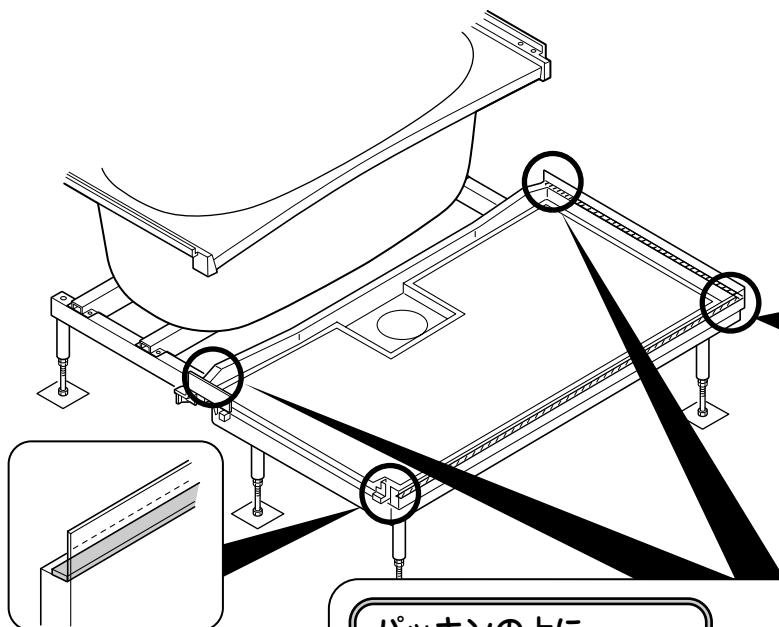
- 必ず、ここで壁下パッキンをはり付けてく
ださい。
(内エプロン取り付け後は、はり付けるこ
とができません。)

⚠ 注意



必ず守る

- 壁下パッキンは、それぞれ水返しに合わせ
て、正しい位置にはり付ける
(守らないと、水漏れの原因となります。)
- シリコン充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れ
の原因となります。)



シリコン

突き合わせ
ではる。

断面図

壁下パッキン

洗い場床パン

パッキンの上に
シリコンを塗布する。

床パンせき部
パッキン

突き合わせではり、突き合わせ部
にシリコンを塗布する。

シリコン

洗い場側
壁下
パッキン

13 浴槽の本設置

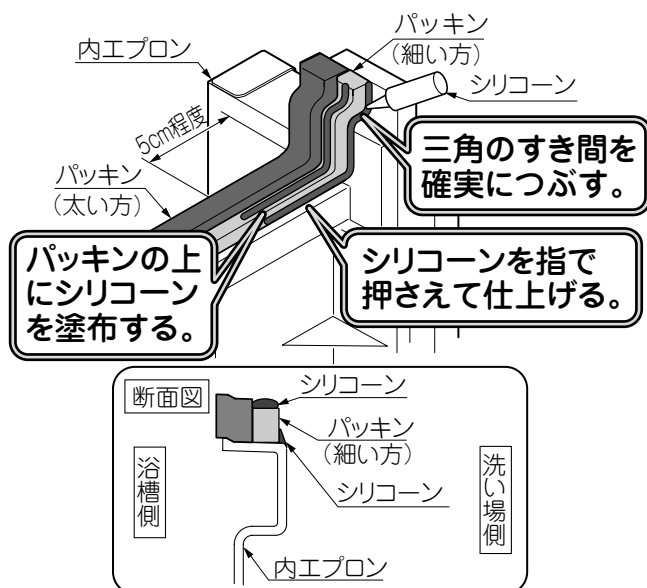
(本体編：141～143ページ)

- ①内エプロン上部のパッキン両端部にシリコンを塗布する。

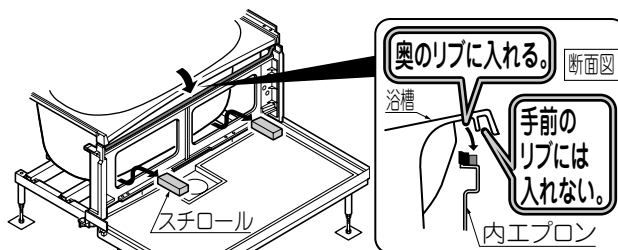
⚠ 注意



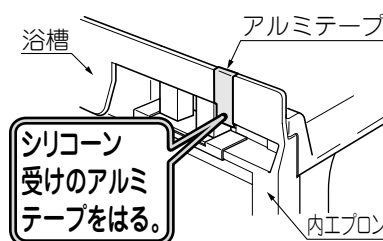
- シリコン充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れの原因となります。)



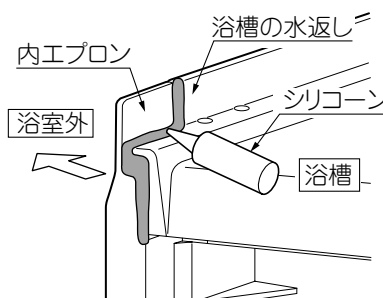
- ②スチロールを外し、浴槽を据える。



- ③水返しのすき間に浴槽外側からアルミテープ (23mm×70mm) をはる。



- ④浴槽の水返しと内エプロンのすき間にシリコンを塗布する。



14 排水管の接続

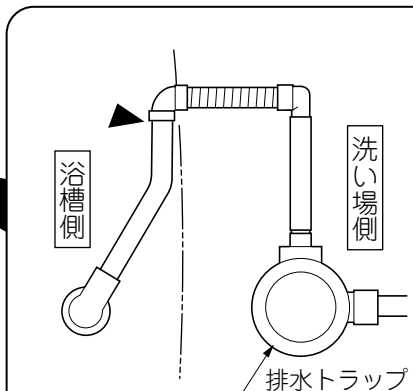
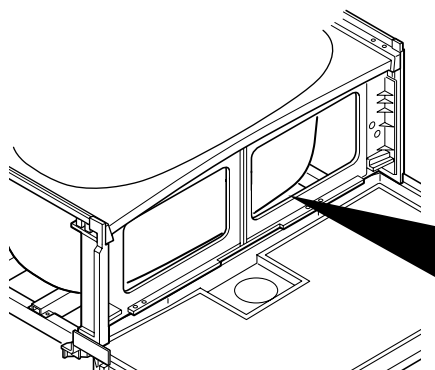
(本体編：144ページ)

- ①浴槽からの排水管と排水トラップからの排水管を接続する。

⚠ 注意



- 排水管の接続は、浴槽側と排水管の両側全周に接着剤を塗布し、根元までしっかり差し込む
(守らないと、水漏れの原因となります。)



接続部 (▲印) は青色塩ビ接着剤で接着する。
(守らないと水漏れの原因となります。)



15 浴槽側壁下パッキンのはり付け

(本体編：145ページ)

①壁下パッキンを下図の位置にはり付ける。

・はく離紙をはがして、丁寧にはり付けてください。

取付設置上のお願い

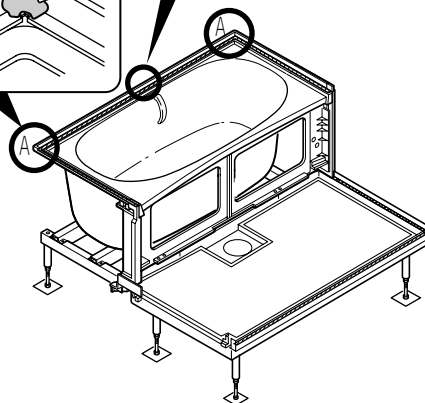
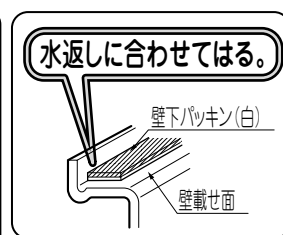
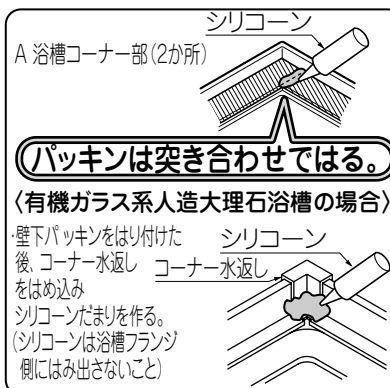
- 壁下パッキンは、よじれたり浮きがないよう、丁寧にはり付けてください。

⚠ 注意



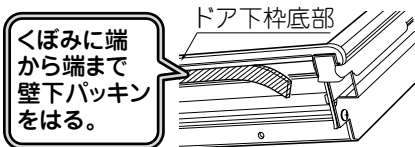
必ず守る

- 壁下パッキンは、水返しに合わせて、正しい位置にはり付ける
(守らないと、水漏れの原因となります。)
- シリコーン充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシリコーン充てんしないと、
水漏れの原因となります。)



取付設置上のお願い

- 残った壁下パッキンは捨てずに保管してください。
ドア下枠底部に使用します。
ドア下枠底部に壁下パッキンをはり付けることにより、ドア交換時にドア枠が外しやすくなります。

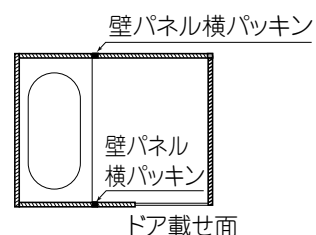
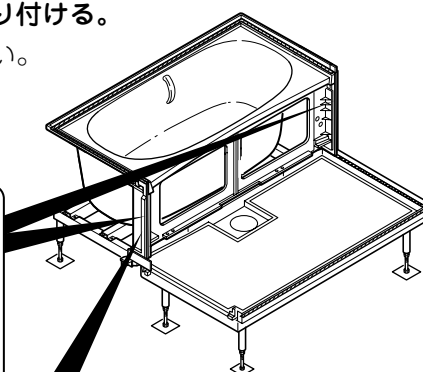
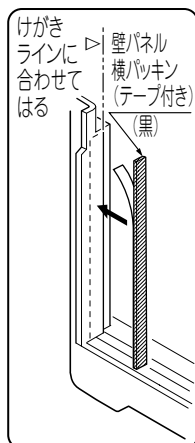


16 壁パネル横パッキンのはり付け

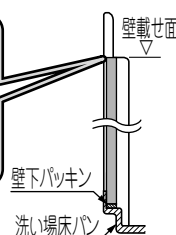
(本体編：146ページ)

①壁パネル横パッキンを下図の位置にはり付ける。

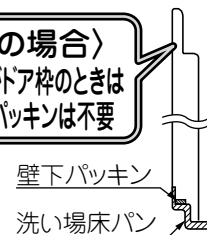
- ・はく離紙をはがしてはり付けてください。
- ・下端は洗い場床パンに付くようにし、
けがき線に合わせてパッキンが
けがき線の外側になるようはり付けて
ください。



〈B勝手の場合〉
隣にくるのが壁パネルのときは、ハーフ壁の壁載せ面から、壁下パッキンまではる。



〈A勝手の場合〉
隣にくるのがドア枠のときは壁パネル横パッキンは不要



5 水張り試験

1 水張り試験の実施

(本体編：147ページ)

・水張り試験の時期は現場により異なります。現場打ち合わせによって決められた時期と方法で実施してください。

①雑排水管の先端にテストキャップをする。

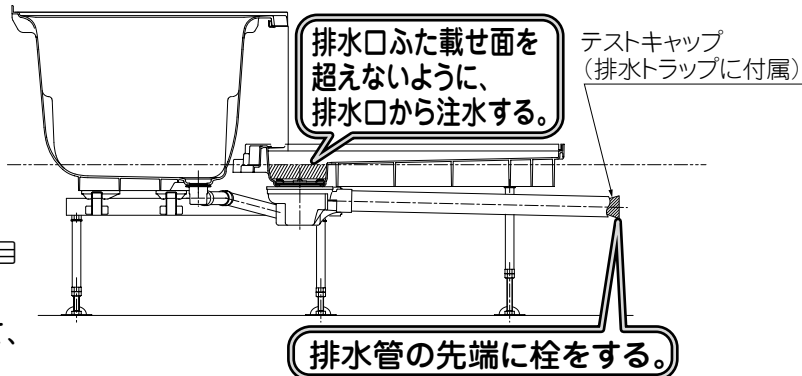
②排水口から水を入れる。

- ・マスの八分目程度入れてください。
- ・浴槽のポップアップ排水栓は手で押さえておいてください。

③水を張った状態で約30分放置する。

- ・トラップ取り付け部および雑排水管の継ぎ目から水漏れしていないか確認してください。

④問題がなければ、テストキャップを外して、排水トラップの部材を取り付ける。



6 壁パネルの前加工

1 壁パネルの開口

(本体編：148、149ページ)

取付設置上のお願

- ・壁パネルを3枚にまたいでの窓開口はできません。
- ・窓開口を行う場合は、必ず事前に壁パネルの裏側に補強合板を取り付けて、裏補強を行ってください。
- ・壁パネルを開口する際は、切りくずが壁パネルに飛び散らないよう、ご注意ください。

警告



必ず守る

- ・壁パネルの開口やジョイナーを切断する際は、必ず保護メガネなど保護具を着用して作業を行う
(飛び散った切りくずが目に入ってけがをするおそれがあります。)

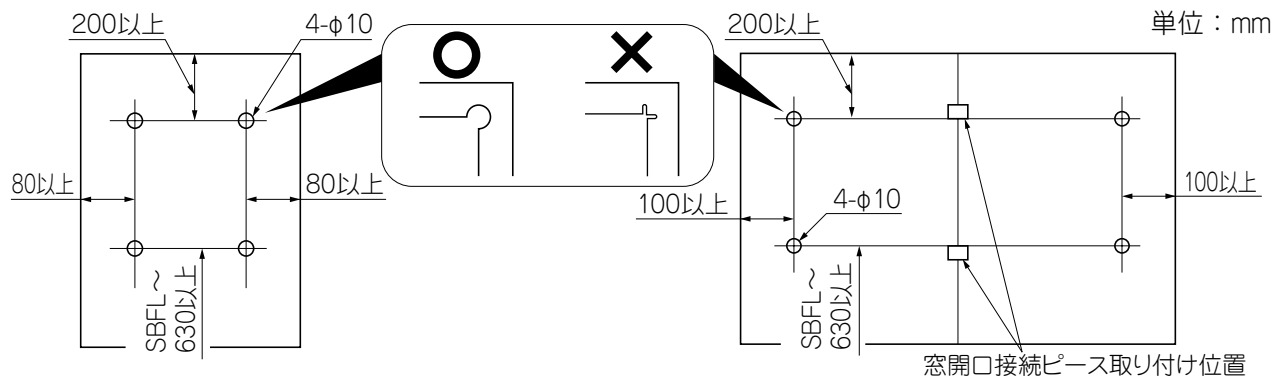
①開口部の外側をマスキングテープで保護する。

②次ページの「窓開口パネル仕様の断面取り合い図」を参照のうえ、開口する四隅にφ10の穴を開ける。

③ジグソーまたはスレートノコで開口する。

- ・開口幅はパネルにより異なります。

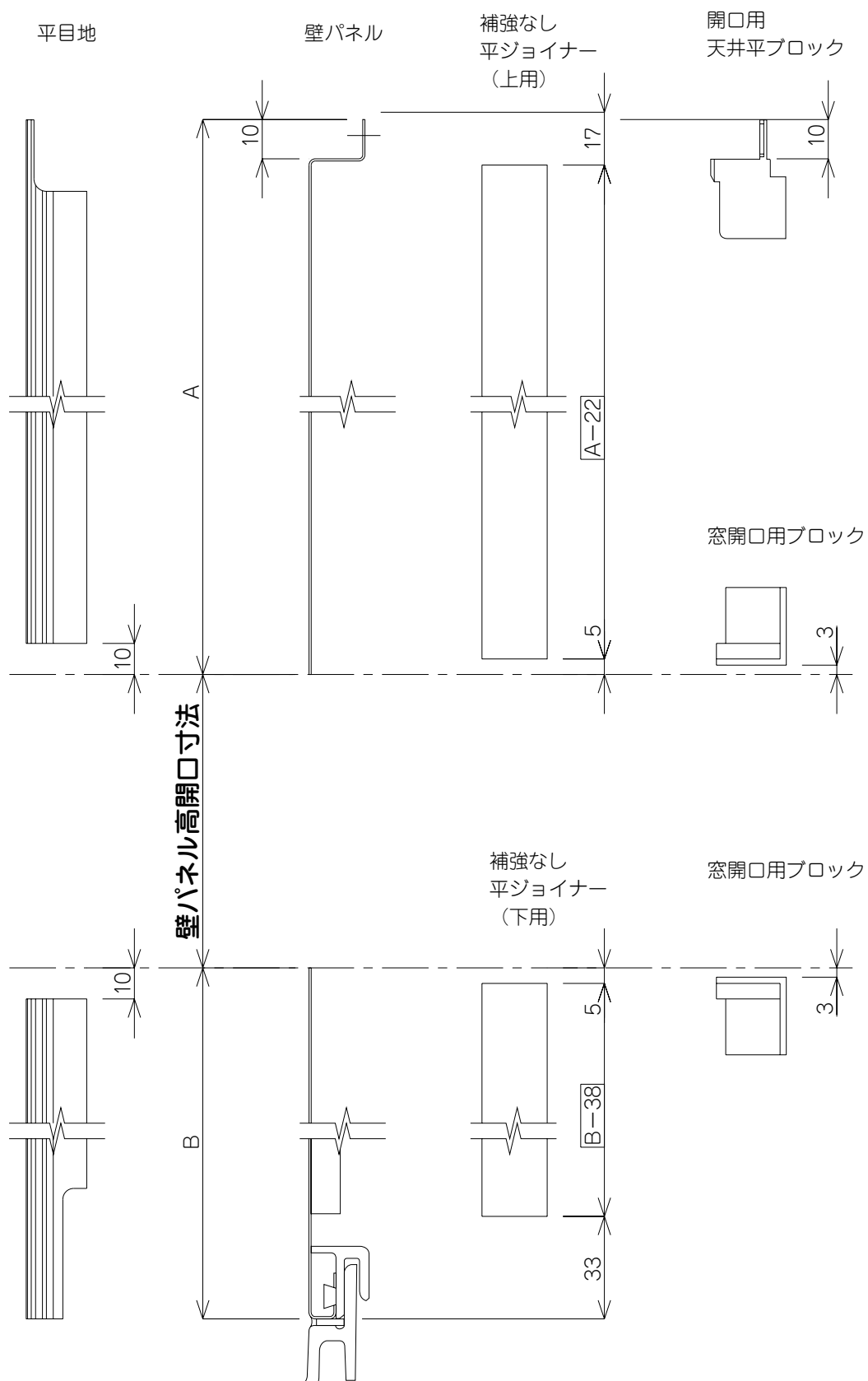
窓開口が2枚の壁パネルにまたがる際は、壁パネル間に挟まる目地幅(=3mm)分を考慮して開口してください。



④切断部が凸状に残らないよう、きれいに仕上げる。

【窓開口パネル仕様の断面取り合い図】

単位：mm



2 水栓固定金具の取り付け

（本体編：152ページ）

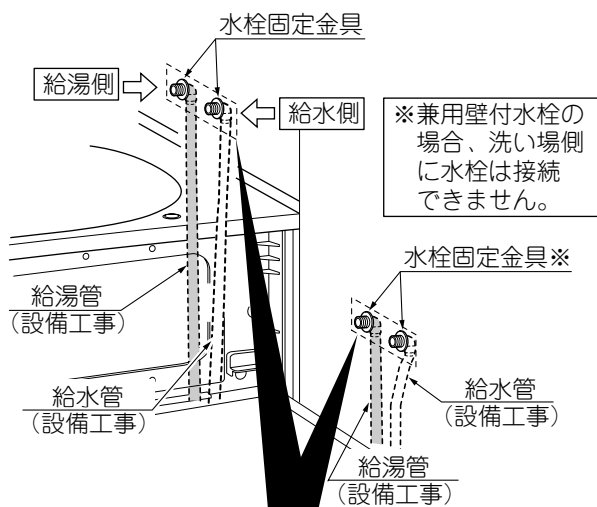
- ①水栓固定金具にゴムパッキン2枚とスペリワッシャーを通す。
- ②締め付けリングを専用の締め付け工具で締め付ける。
- ③ドリリング皿タッピンねじにて締め付けリングを固定する。

⚠ 注意

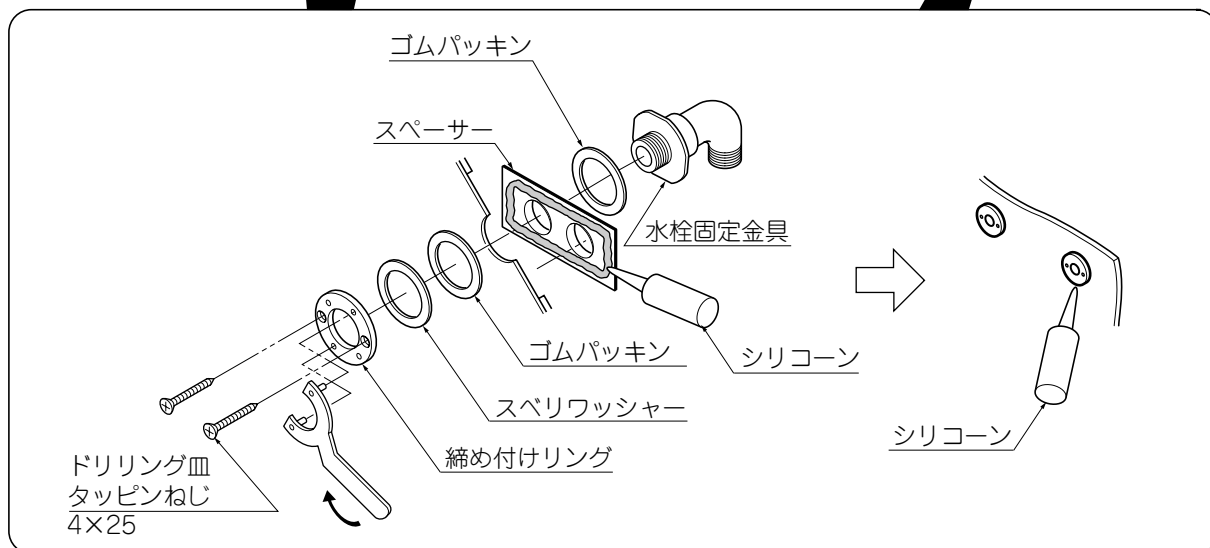
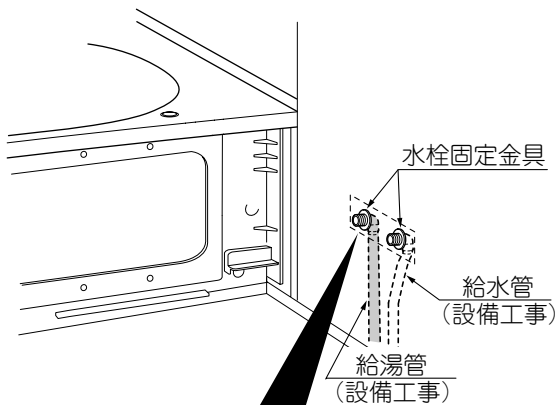


- 水栓固定金具や裏配管の取り付けは、必ず専用工具を使用する
（専用工具を使用しないと、部材などが破損して水漏れの原因となります。）
- 締め付けリングはドリリング皿タッピンねじで確実に固定する
（ねじ固定をしないと、緩みにより水漏れしたり、落下してけがをするおそれがあります。）
- シリコーン充てんは指定個所に確実に行う
（確実にシリコーン充てんしないと、水漏れの原因となります。）

＜ 浴槽側壁付水栓と
洗い場側壁付水栓を
接続する場合 ＞



＜ 洗い場側壁付水栓を
接続する場合 ＞



3 裏配管A・裏配管Bの取り付け

(本体編：153ページ)

①裏配管A・裏配管Bにゴムパッキン2枚とスベリワッシャーを通す。

②締め付けリングを専用の締め付け工具で締め付ける。

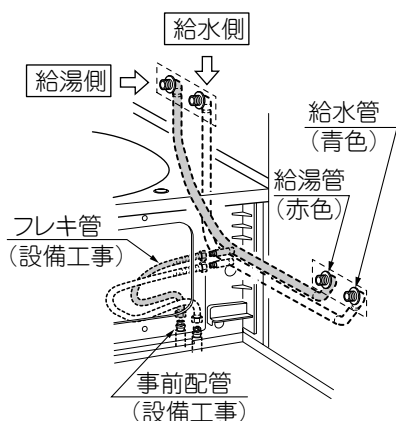
③ドリリング皿タッピンねじにて締め付けリングを固定する。

⚠ 注意

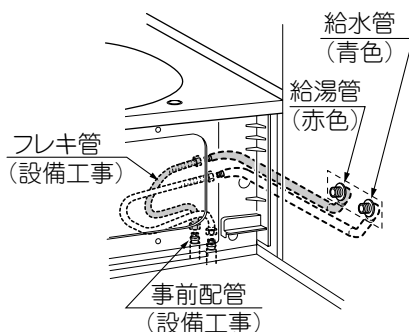


- 水栓固定金具や裏配管の取り付けは、必ず専用工具を使用する
(専用工具を使用しないと、部材などが破損して水漏れの原因となります。)
- 締め付けリングはドリリング皿タッピンねじで確実に固定する
(ねじ固定をしないと、緩みにより水漏れしたり、落下してけがをするおそれがあります。)
- シリコン充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れの原因となります。)

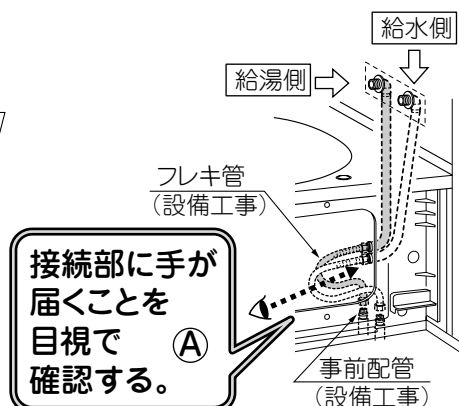
〈浴槽側壁付水栓と
洗い場側壁付水栓を
接続する場合〉



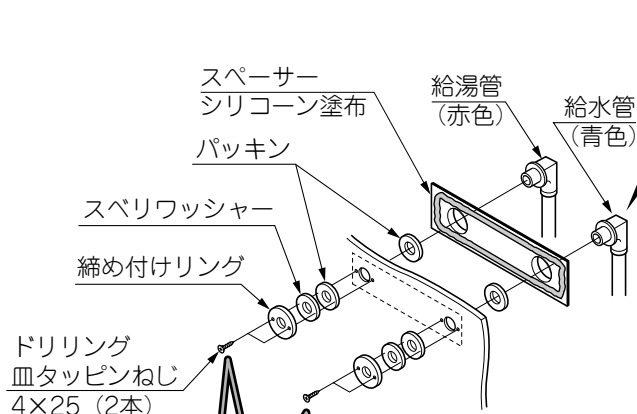
〈洗い場側壁付水栓を
接続する場合〉



〈兼用壁付水栓を
接続する場合〉

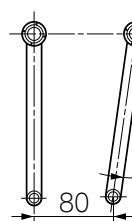


裏配管の壁パネル固定



〈兼用壁付水栓の場合〉

(単位：mm)

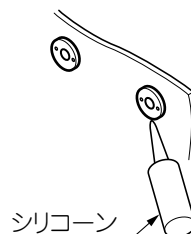


給水管※は
内エプロンに
当たらないよう
傾ける。

※L勝手の場合は給湯管

〈兼用壁付水栓の場合〉

浴槽に壁パネルを設置し、A 確認後ねじ固定する。
ねじが配管を貫通しないよう注意する。



7 壁パネルの建て込み

- ・1818サイズの場合のみ、壁下に配置するブロックと壁間に取り付けるジョイナーの種類が異なります。
- 1818サイズの場合は、本体編162ページ「3 コーナー下ブロックと平下ブロックの配置（1818サイズのみ）」から参照ください。

1 内エプロンへのシリコン充てん

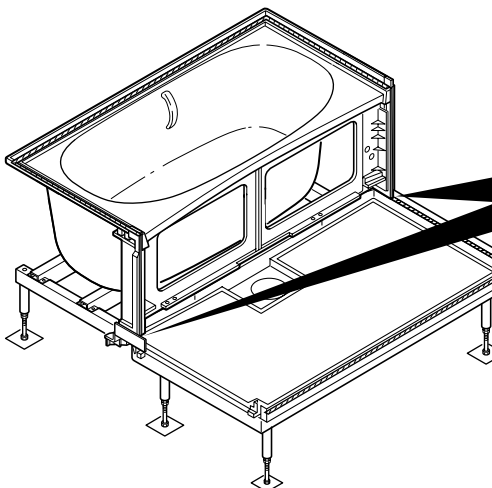
(本体編：165ページ)

- ①内エプロンの下部にシリコンを塗布する。

⚠ 注意



- シリコン充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れの原因となります。)



2 段違い部の組み立て

(本体編：169ページ)

- ①段違い平下ブロックを置く前に、付近の壁載せ面にシリコンを塗布する。

- ・3cm程度のダンゴ状に塗布してください。

⚠ 注意



- シリコン充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れの原因となります。)

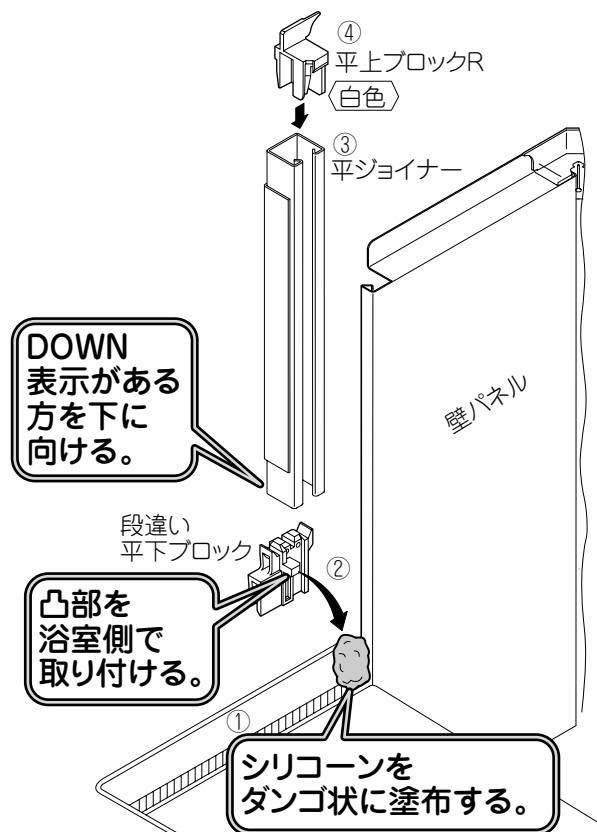
- ②段違い平下ブロックを取り付ける。

取付設置上のお願い

- 段違い平下ブロックが壁から落ちないように、ご注意ください。
- 段違い平下ブロックの向きにご注意ください。

- ③壁パネルに平ジョイナーを取り付ける。

- ④先に建て込んだ壁パネルと平ジョイナーを平上ブロックR (白色) で固定する。



3 腰高パネルの建て込みと目地打ち込み（本体編：173、174ページ）

- ①浴槽上腰高パネルを建て込む。
- ②洗い場腰高パネルを建て込む。

取付設置上のお願い

- 段違い平下ブロックが壁から落ちないように、ご注意ください。
- 段違い平下ブロックの向きにご注意ください。

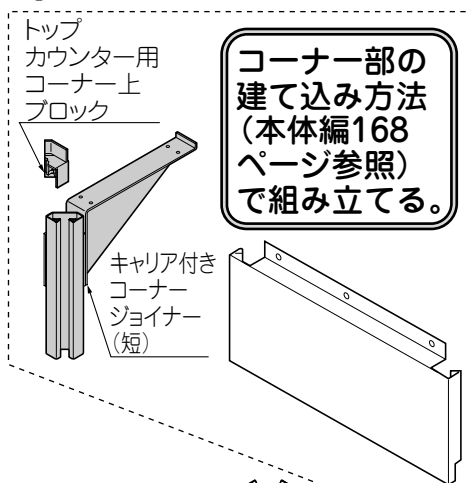
⚠ 注意



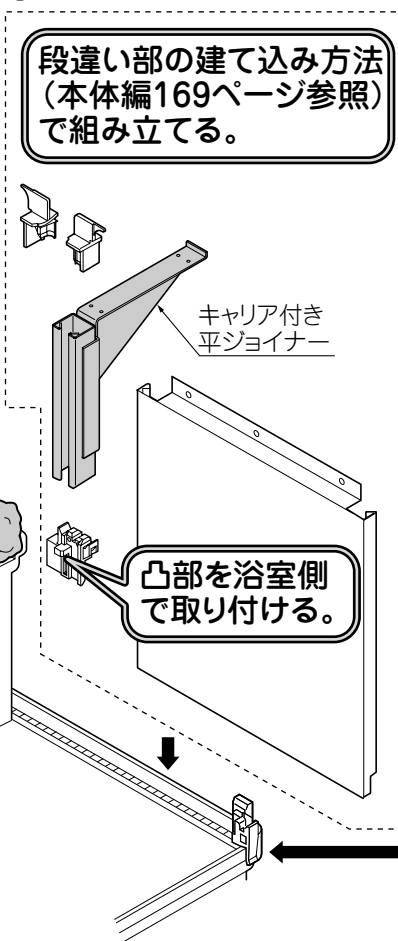
必ず守る

- シリコン充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れの原因となります。)

①浴槽上腰高パネル



②洗い場腰高パネル



シリコンを
ダンゴ状に
塗布する。

凸部を浴室側
で取り付ける。

※  は腰高パネル専用部材です。

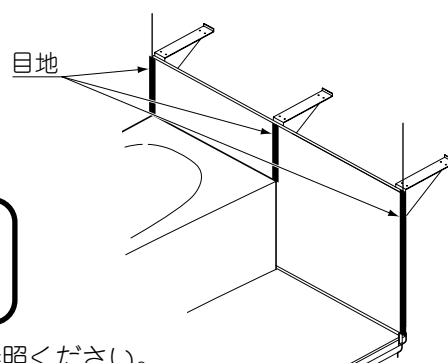
- ③浴槽上、洗い場上の壁パネルをすべて建て込んだ後、図の個所に目地を打ち込む。

・本体編225ページ、17壁と天井の仕上げ「壁パネルの目地打ち込み」を参照ください。

取付設置上のお願い

- トップカウンター取り付け前に目地を打ち込んでください。
(トップカウンターを取り付けると、目地が打てなくなります。)

※この後は、「1818サイズトップカウンター」の取付設置説明書を参照ください。



4 トップカウンター壁下パッキンのはり付け (本体編：174ページ)

- ①壁下パッキンを下図の位置にはり付ける。
・はく離紙をはがして、丁寧にはり付けてください。

取付設置上のお願い

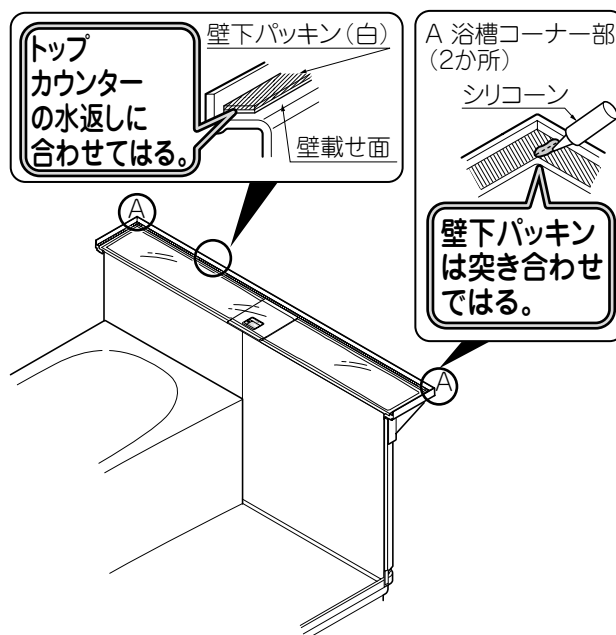
- 壁下パッキンは、よじれたり浮きがないよう、丁寧にはり付けてください。

⚠ 注意



必ず守る

- 壁下パッキンは、トップカウンターの水返しに合わせて、正しい位置にはり付ける。
(守らないと、水漏れの原因となります。)



5 カウンター上壁パネルの建て込み (本体編：175ページ)

- ①トップカウンター水返しコーナー部（2か所）にコーナーブロックを取り付ける。
②段違い平下ブロックを取り付ける。
③壁パネルをA→B→C→Dの順で建て込む。
・組み立て方法は、他サイズの壁パネルと同様です。

取付設置上のお願い

- 壁パネル建て込み前に、図の個所にシリコンをダング状に塗布してください。

⚠ 注意



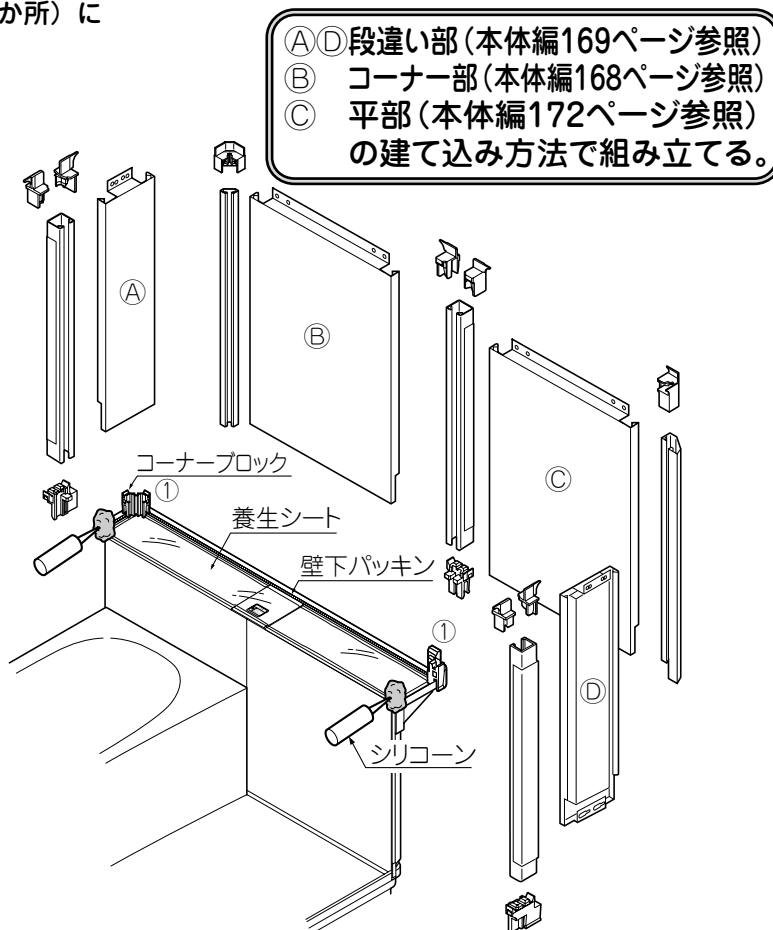
禁止

- 浴槽やカウンターなどに乗って作業をしない
(足を滑らせ、けがをすることおそれがあります。)



必ず守る

- シリコン充てんは指定個所に確実に
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れの原因となります。)



8 ドア枠の取り付け(2枚折りドア・スイングドア・ライトインドアの場合)

1 ドア下のシリコン充てん

(本体編：189ページ)

①床パンのドア載せ面(■部)にシリコンを塗布する。

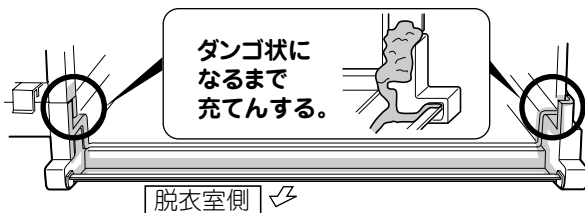
⚠ 注意



- シリコン充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れの原因となります。)

取付設置上のお願ひ

- φ6～10mm程度の太さになるまで、シリコンを塗布してください。



・間柱対応ドアを取り付ける場合は、ドア枠の前にドア横小壁を取り付けます。

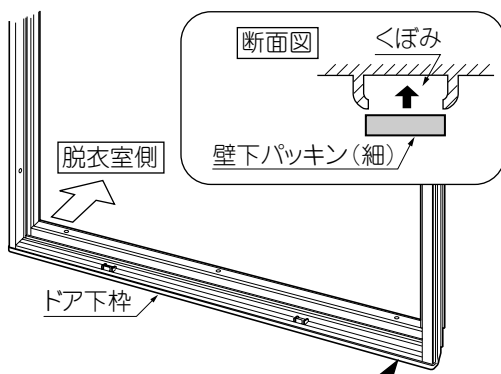
取り付け方法については、本体編195～196ページを参照ください。

2 ドア下枠のパッキンはり付け (本体編：190ページ)

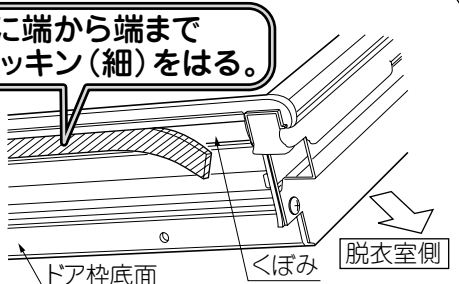
①ドア下枠の底面に、床パン壁載せ面に使用した壁下パッキン(細)の余りをはり付ける。

- ・壁下パッキン(細)は、くぼみの端から端まではり付けてください。

ドア下枠底部に壁下パッキン(細)をはり付けることにより、ドア交換時にドア枠が外しやすくなります。



くぼみに端から端まで壁下パッキン(細)をはる。



3 ドア枠の取り付け (本体編：191ページ)

①床パンのドア載せ面に脱衣室側からドア枠を載せる。

- ・この際、ドア枠を床のドア載せ面に確実に押し込んでください。

⚠ 注意

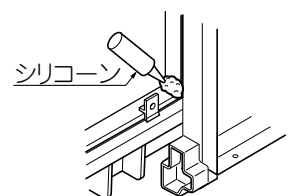
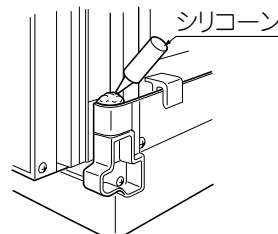


- ドア下枠と床パンとの間にすき間ができないよう、押し込んで確実に取り付ける
(すき間があると、水漏れや壁パネルとの段差が生じる原因となります。)

②床パンのドアコーナー部・平部のすき間にシリコンを注入する。

〈コーナー部〉

〈平部〉



⚠ 注意

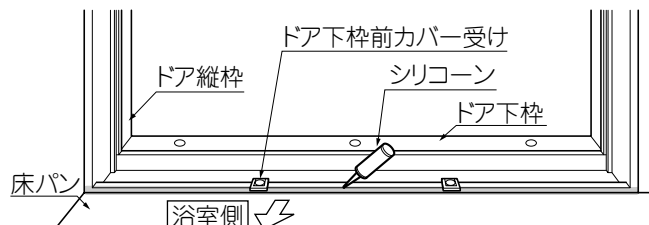


- シリコン充てんは指定個所に確実にを行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れの原因となります。)

4 ドア下枠前カバーの取り付け

(本体編：193ページ)

- ① ドア枠と床パンの境目にシリコンを塗布する。



⚠ 注意



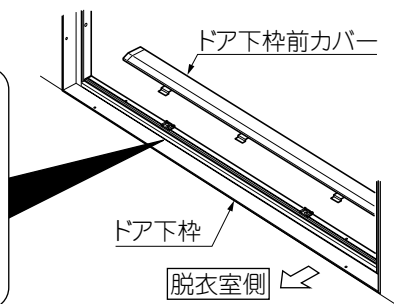
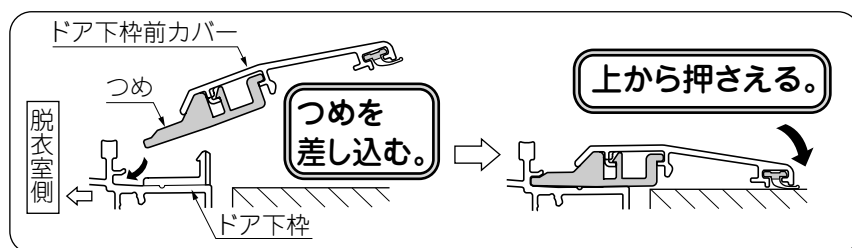
必ず守る

- シリコン充てんは指定個所に確実に
に行う
(確実にシリコン充てんしないと、
水漏れの原因となります。)

取付設置上のお願い

- ドア下枠に付いている、ドア下枠前カバー受けを踏まないでください。
(踏んで破損すると、ドア下枠前カバーが取り付けられなくなります。)

- ② ドア下枠にドア下枠前カバーを取り付ける。



5 ドア下枠前カバーの取り付け

(本体編：194ページ)

- ① ドア枠と洗い場床パンの境目にシリコンを塗布する。

⚠ 注意



必ず守る

- シリコン充てんは指定個所に確実に
に行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れ
の原因となります。)

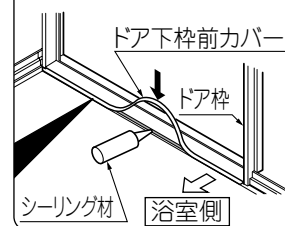
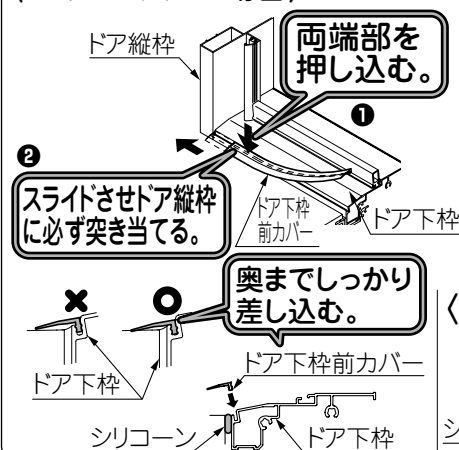


- ② ドア下枠にドア下枠前カバーを取り付ける。

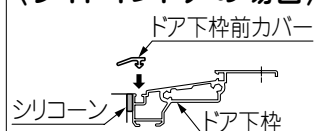
取付設置上のお願い

- ドア下枠前カバーはカットせず
に、両端より押し込んで取り付け
てください。

〈スイングドアの場合〉



〈ライトインドアの場合〉

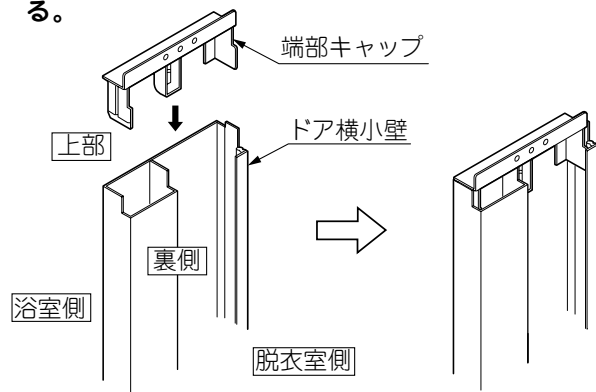


6 ドア横小壁の取り付け

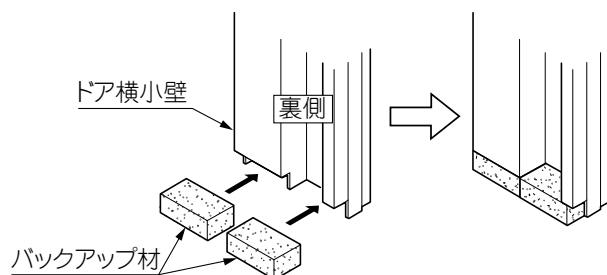
(本体編：195、196ページ)

・ドア横小壁と隣り合う壁パネルには、あらかじめドア平ジョイナーを取り付けてください。

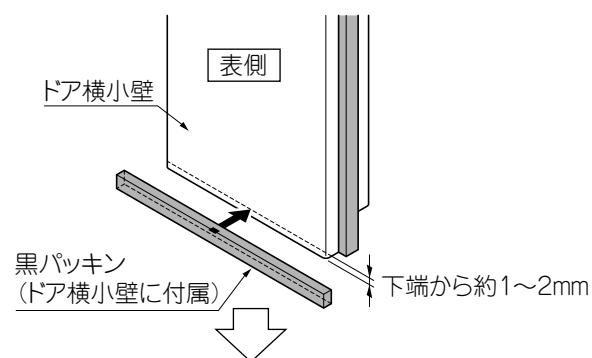
① ドア横小壁の裏側上部に端部キャップを取り付ける。



② バックアップ材のはく離紙をはがし、ドア横小壁の裏側下部にはり付ける。



③ ドア横小壁の表側下部に黒パッキン（ドア横小壁に付属）をはり付ける。

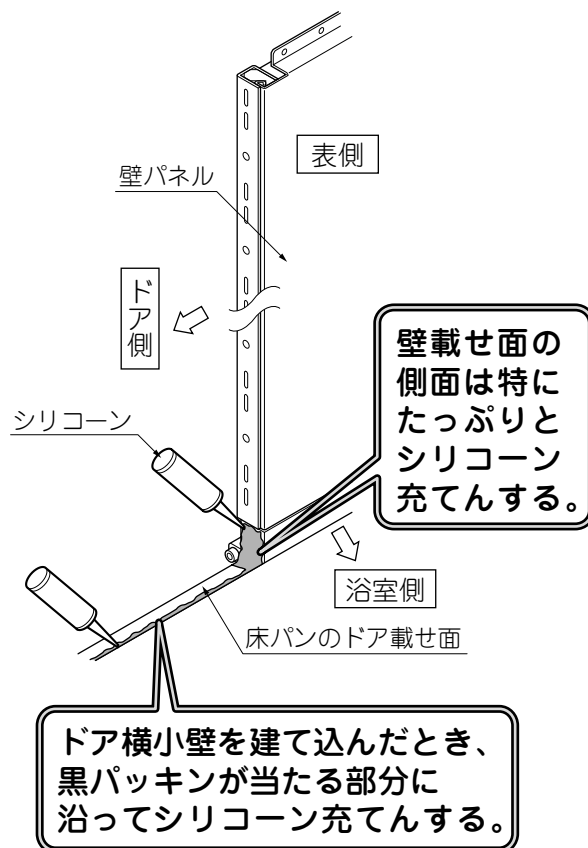


ドア側は端を合わせる。

15mm程度

カットして折り返す。
(縦パッキンの上からはる。)

④ 床パンのドア載せ面にシリコンを塗布する。



⚠ 注意



必ず守る

- シリコン充てんは指定個所に確実に
に行う
(確実にシリコン充てんしないと、水
漏れの原因となります。)

⑤ ドア横小壁を床パンのドア載せ面に建て込み、ドア横平ジョイナーと接続する。

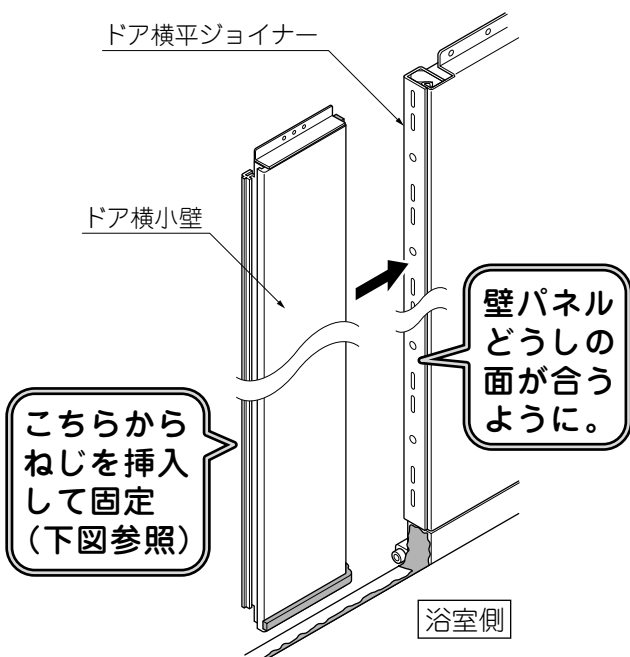
- ・ドア横小壁の面と隣り合う壁パネルの面が合うように建て込んでください。
- ・トラスタッピンねじ(4×65) 5本で取り付けます。

⚠ 注意

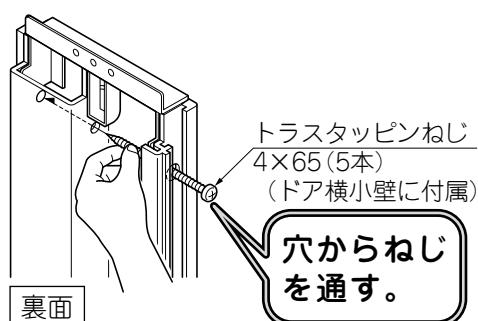


必ず守る

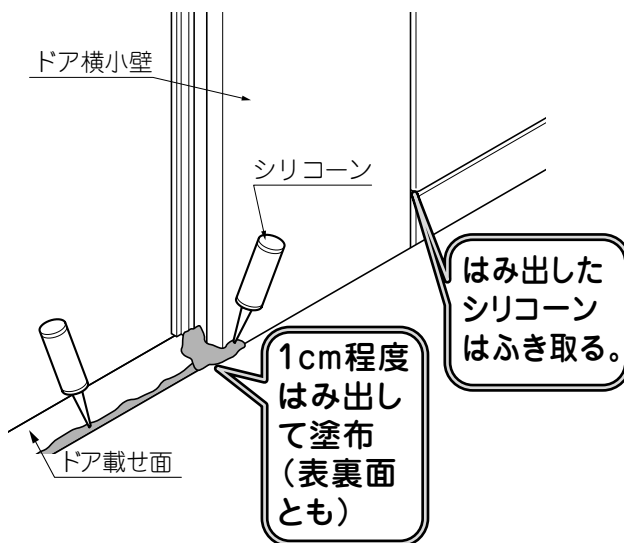
- ・ドア横小壁は、床パンとの間にすき間ができないよう、押し込んで確実に取り付ける
(すき間があると、水漏れや壁パネルとの段差が生じる原因となります。)



- ・ドライバーは長尺ビットのものを使用してください。



⑥ ドア枠側下部にシリコンを塗布する。



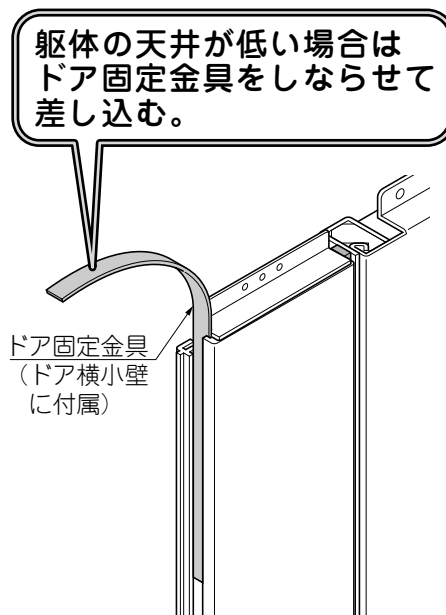
⚠ 注意



必ず守る

- ・シリコン充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れの原因となります。)

⑦ ドア固定金具をドア枠側に差し込む。



⑧ ドア枠を建て込み、ドア縦枠をドア横小壁に接続する。

- ・ドア縦枠の接続方法は、従来のドア枠取り付けと同様です。

9 ドア枠の取り付け（3枚引き戸の場合）

1 ドア枠の組み立て

（本体編：199、200ページ）

①ドア枠を組み立てる。

⚠ 注意

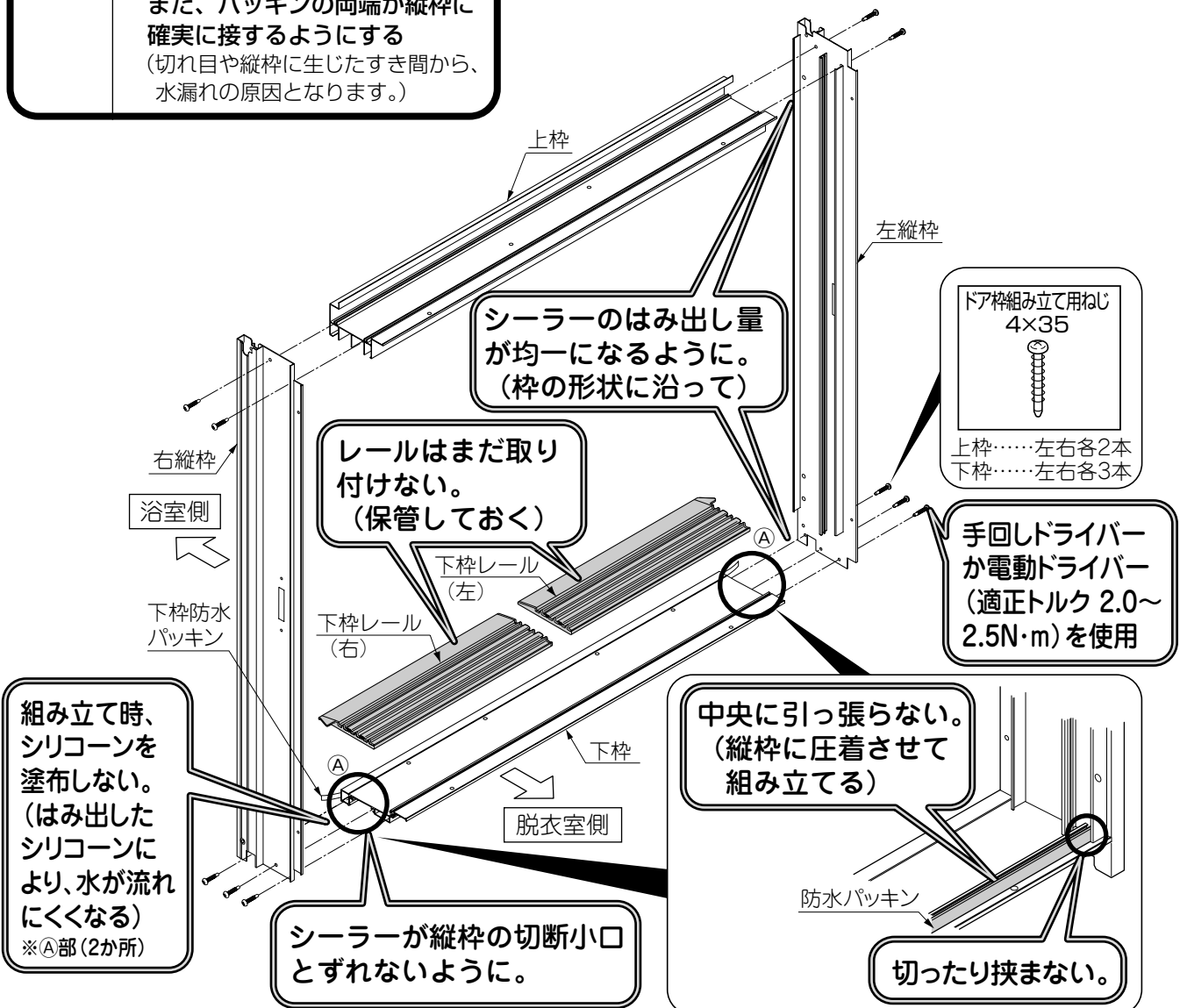


必ず守る

- 引き戸の枠組み時、シーラーの厚みが半分程度になるまで締め付け固定する
（締め付けが弱いと枠と枠とに生じたすき間から、水漏れの原因となります。）
- 引き戸の下枠防水パッキンに傷を付けたり、切らないようにする
また、パッキンの両端が縦枠に確実に接するようにする
（切れ目や縦枠に生じたすき間から、水漏れの原因となります。）

取付設置上のお願い

- ドア枠の組み立てには、インパクトドライバーを使用しないでください。
（ねじ頭がねじ切れ、ドア枠の固定ができなくなります。）
- 組み立て時に、下枠防水パッキンを挟まないようご注意ください。



②下枠防水パッキンを縦枠側に折り返して、縦枠にはり付ける。(反対側も同様)

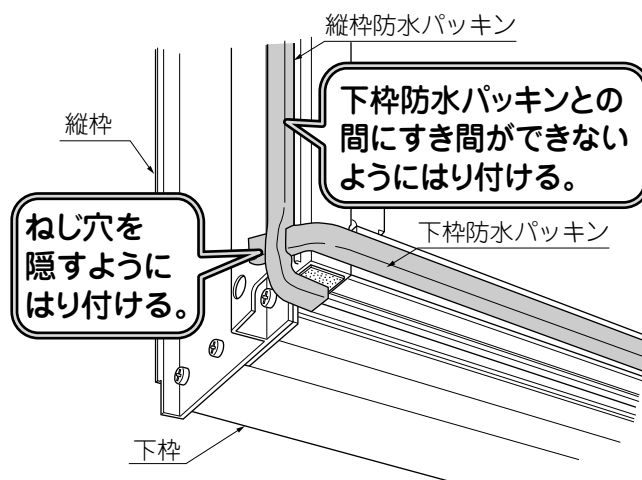
③同様にして縦枠防水パッキンを折り返して、下枠にはり付ける。(反対側も同様)

⚠ 注意



必ず守る

- 引き戸の縦枠防水パッキンは、下枠防水パッキンとの間にすき間ができないようにはり付ける
(すき間があると、ドア枠のシリコーンが切れたときに、水漏れの原因となります。)



2 ドア下のシリコーン充てん

(本体編：200ページ)

本体編189ページを参照ください。

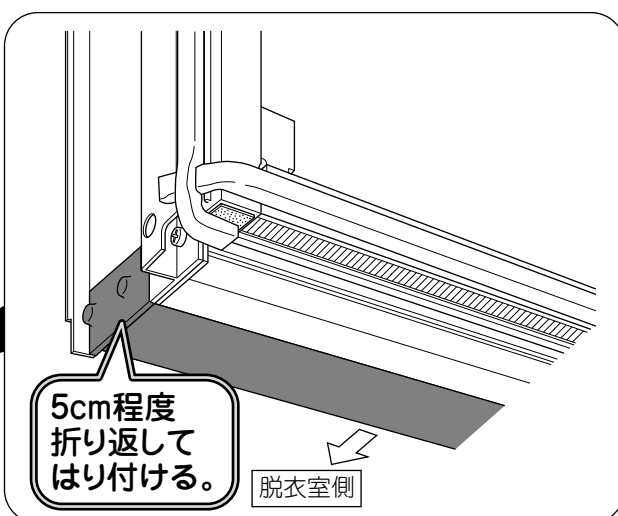
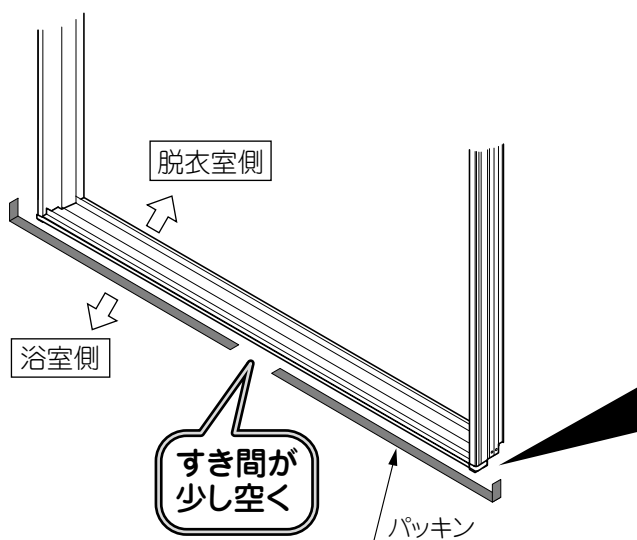
3 ドア下枠のパッキンはり付けとドア枠の取り付け (本体編：200ページ)

本体編190～191ページを参照ください。

〈専用架台 脱衣室FL～土台天端36mm以下の場合〉

ドア枠を床に載せる前に、パッキン (専用架台小物セットに付属) 2本を、ドア下枠の底面にはり付ける。

・5cm程度を折り返し、縦枠にもはり付けてください。



⚠ 注意



必ず守る

- パッキンは確実にはり付ける
(確実にはり付けないと、ドア下枠が専用架台に干渉して音鳴りの原因となります。)

4 縦枠の固定

(本体編：201ページ)

本体編192ページを参照ください。

5 下枠レールの取り付け

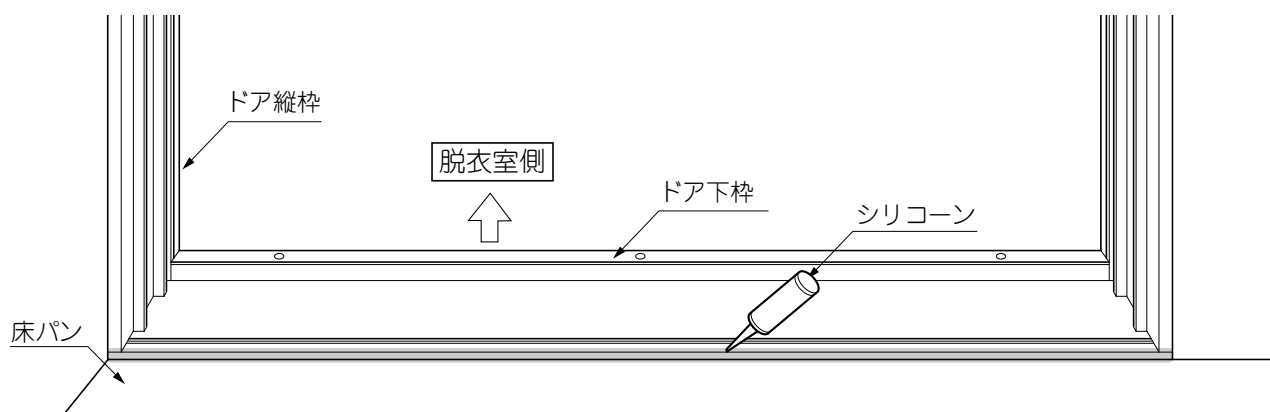
(本体編：201ページ)

- ① ドア枠と洗い場床パンの境い目にシリコンを塗布する。

⚠ 注意

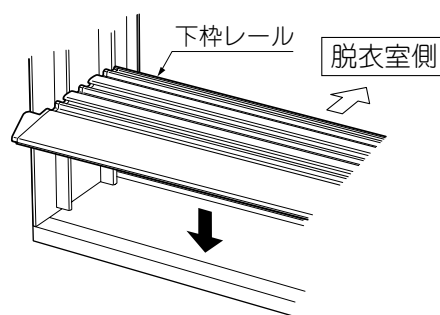
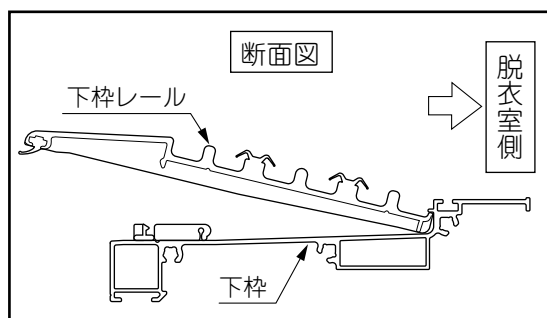


- シリコン充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れの原因となります。)



- ② 下枠レールを取り付ける。

- ・ 図のように、溝にレールの端部を差し込み、レール全体を置いてください。



10 ドア枠の取り付け（片引き戸・2枚引き込戸の場合）

1 ドア枠の組み立て

（本体編：203、204、206ページ）

①下枠に方立てを差し込む。

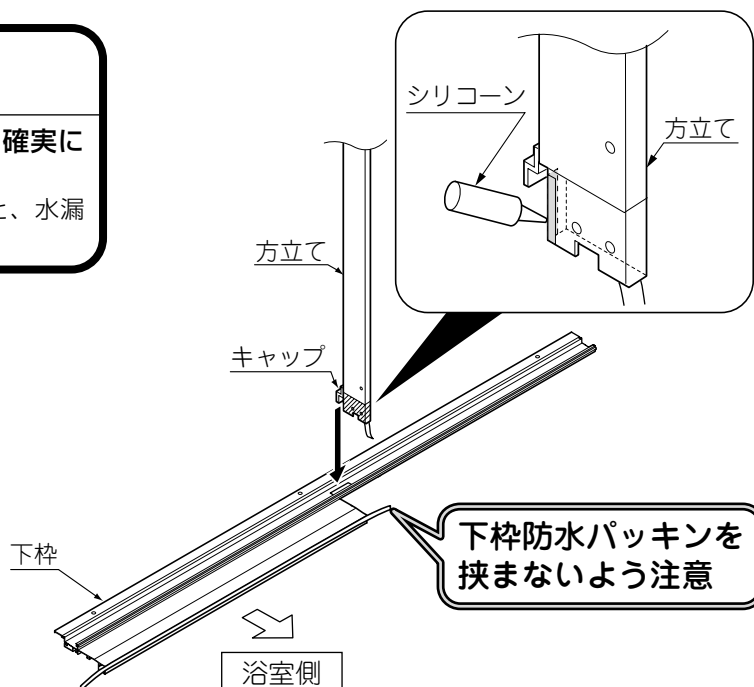
- ・方立て下のコーナー部にシリコンを塗布してください。

※下枠に方立てを取り付ける前に、
方立て側に下枠が接する部分
（2面）にシリコンを塗布して
ください。

⚠ 注意



- シリコン充てんは指定個所に確実に
行う
（確実にシリコン充てんしないと、水漏
れの原因となります。）



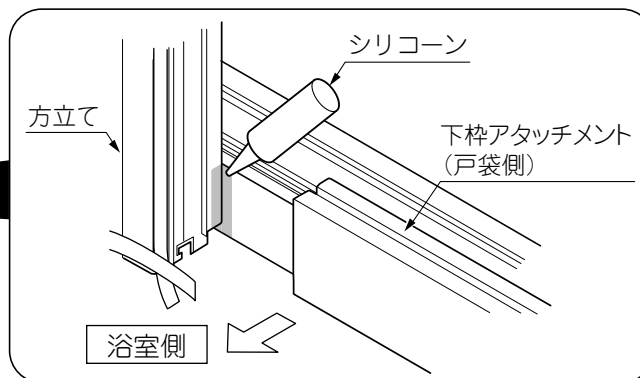
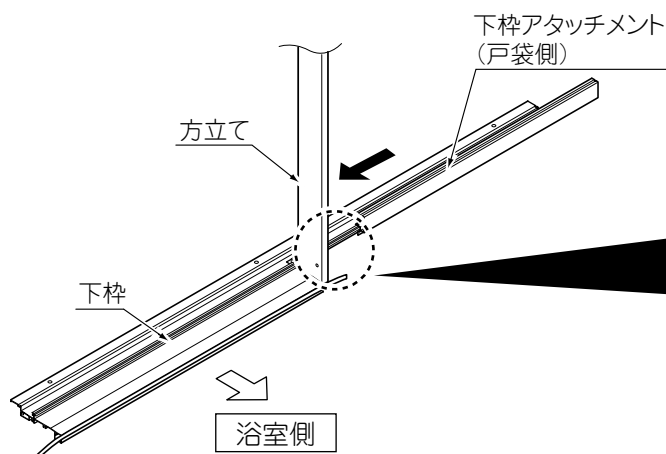
②下枠に下枠アタッチメント（戸袋側）をはめ込む。

- ・方立てのコーナー部にシリコンを塗布してください。

⚠ 注意



- シリコン充てんは指定個所に確実に
行う
（確実にシリコン充てんしないと、水漏
れの原因となります。）

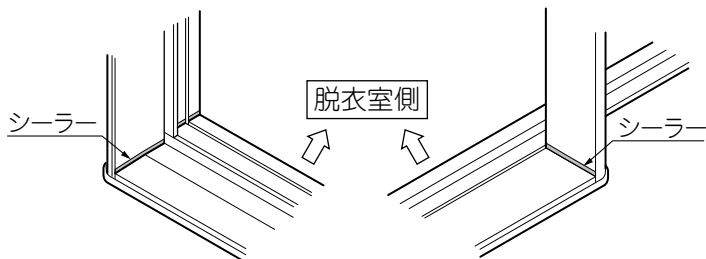


③下枠に縦枠（戸先側）を取り付ける。

- ・シーラーのはみ出し部は均一（目安寸法：1～2mm）になるようにしてください。

《縦枠側》

《方立て側》



④上枠に縦枠（戸先側）を取り付ける。

⑤下枠に縦枠（戸尻側）を取り付ける。

⑥上枠に縦枠（戸尻側）を取り付ける。

⑦下枠防水パッキンを折り返して、縦枠にはり付ける。

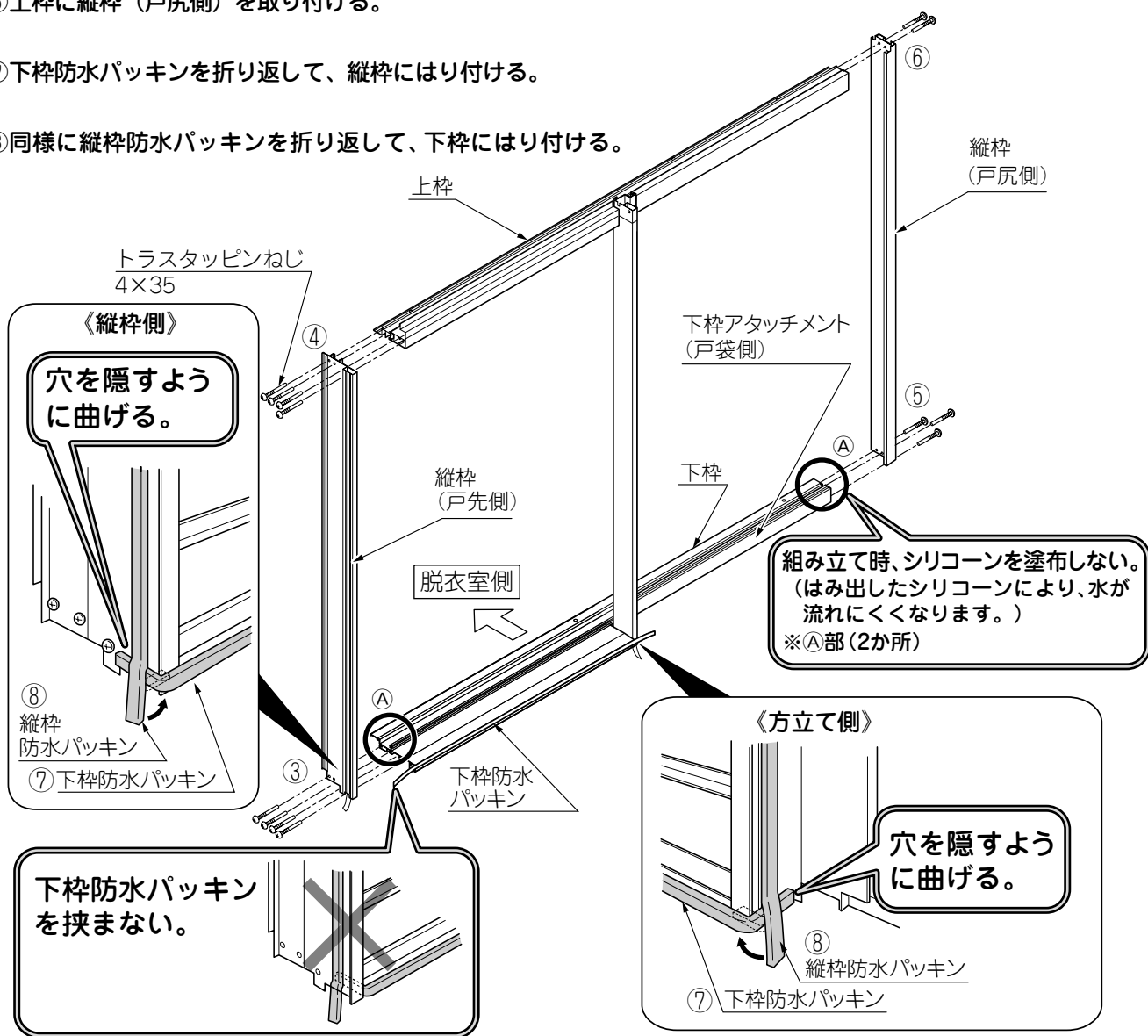
⑧同様に縦枠防水パッキンを折り返して、下枠にはり付ける。

⚠ 注意



必ず守る

- 引き戸の下枠防水パッキンに傷を付けたり、切らないようにする
また、パッキンの両端が縦枠に確実に接するようにする
（切れ目や縦枠に生じたすき間から、水漏れの原因となります。）
- 引き戸の縦枠防水パッキンは、下枠防水パッキンとの間にすき間ができないようにはり付ける
（すき間があると、ドア枠のシリコンが切れたときに、水漏れの原因となります。）



2 ドア下のシリコン充てん

(本体編：209ページ)

①床パンのドア載せ面 (■部) にシリコンを塗布する。

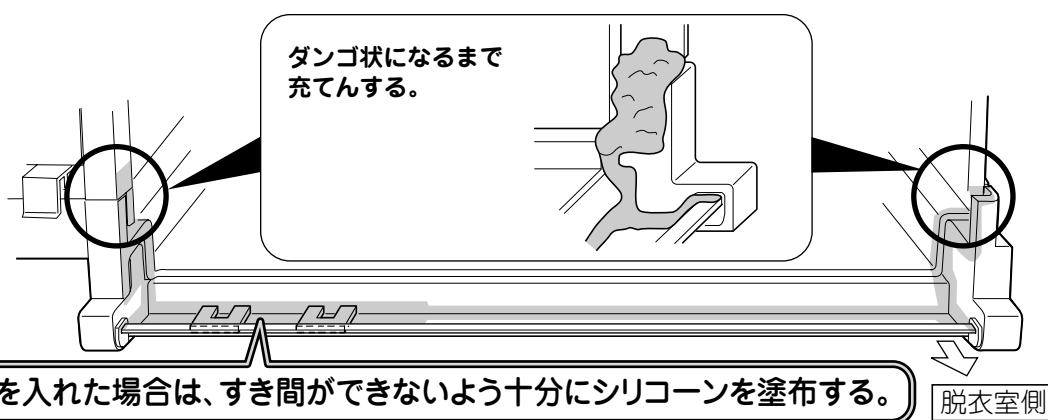
⚠ 注意



- シリコン充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れ
の原因となります。)

取付設置上のお願い

- φ6～10mm程度
の太さになるまで、
シリコンを塗布
してください。



脱衣室側

3 ドア下枠のパッキンはり付けとドア枠の取り付け (本体編：209ページ)

本体編190～191ページを参照ください。

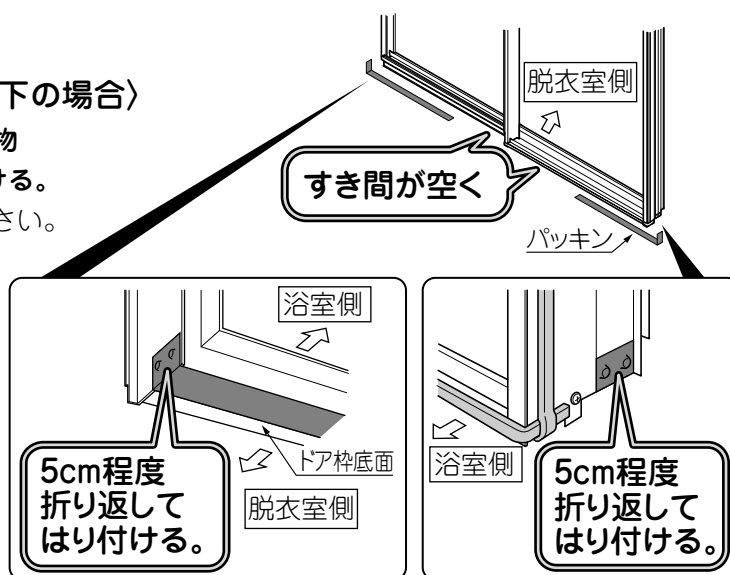
〈専用架台 脱衣室FL～土台天端36mm以下の場合〉

ドア枠を床に載せる前に、パッキン (専用架台小物
セットに付属) 2本を、ドア下枠の底面にはり付ける。
・5cm程度を縦枠に折り返して、はり付けてください。

⚠ 注意



- ドア下枠のパッキンは確実に
はり付ける
(確実にはり付けないと、ドア下枠
が専用架台に干渉して音鳴りの原
因となります。)



4 縦枠の固定

(本体編：209ページ)

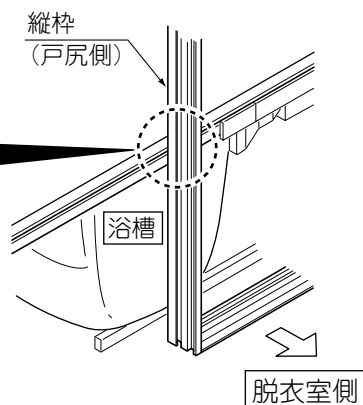
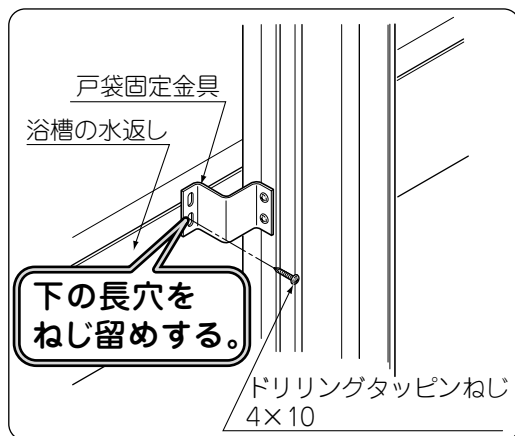
本体編192ページを参照ください。

5 戸尻側の固定

(本体編：210ページ)

〈A勝手の場合〉

- ①縦枠（戸尻側）に取り付けた戸袋固定金具を浴槽の側面に固定する。



〈B勝手の場合〉

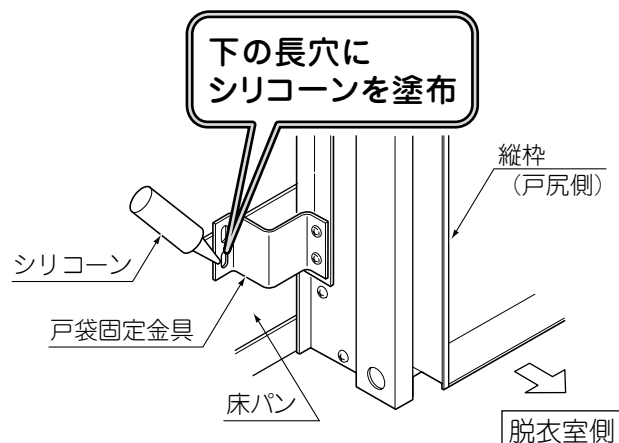
- ①縦枠（戸尻側）に取り付けた戸袋固定金具を水返しにあてて、長穴の上からシリコンを塗布する。

⚠ 注意

!

必ず守る

- シリコン充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシリコン充てんしないと、水
漏れの原因となります。)



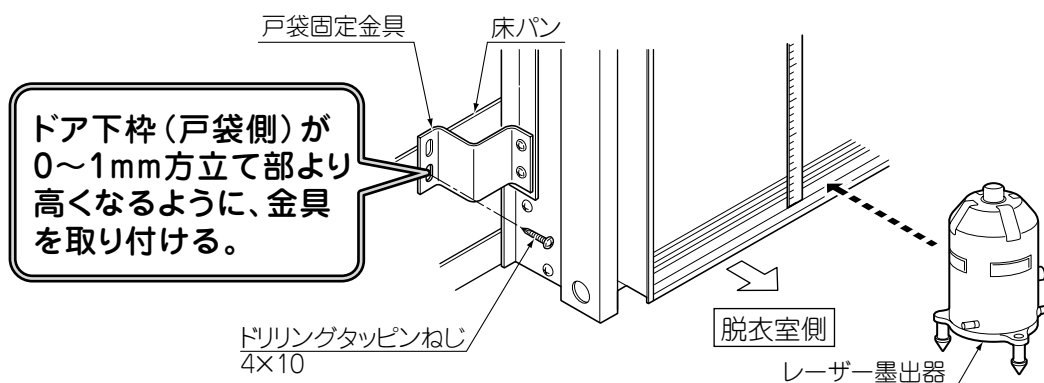
- ②レベル調整後、戸袋固定金具を床パンに固定する。

⚠ 注意

!

必ず守る

- 片引き戸のドアの下枠（戸袋側）は
必ず0～1mm方立て部より高くな
るよう取り付ける
(高くしないと、水がたまったり水漏れ
の原因となります。)



6 レールと下枠前カバーの取り付け

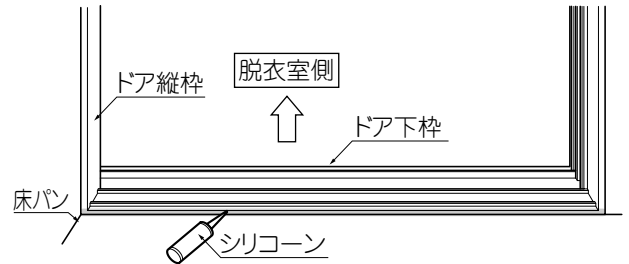
(本体編：211ページ)

①ドア枠と洗い場床パンの境い目にシリコンを塗布する。

⚠ 注意



- シリコン充てんは指定個所に確実に
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れの原因となります。)

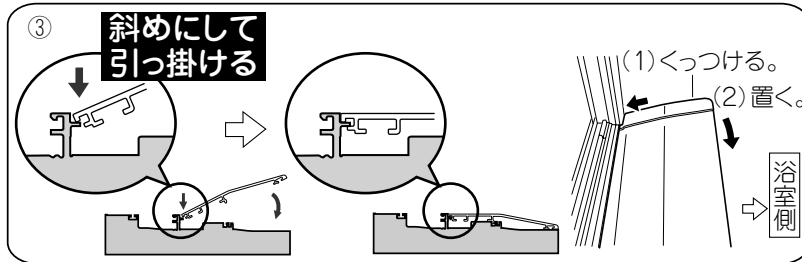


②下枠レールを取り付ける。

- ・取り付け向きにご注意ください。

③下枠前カバーを取り付ける。

- ・下枠前カバーを前傾させて、レールにくっつけるようにしながら、下枠前カバー全体を置いてください。



11 天井組み立て前の作業

12 ステップ天井の組み立て

※以下の器具の有無はプランにより異なります。

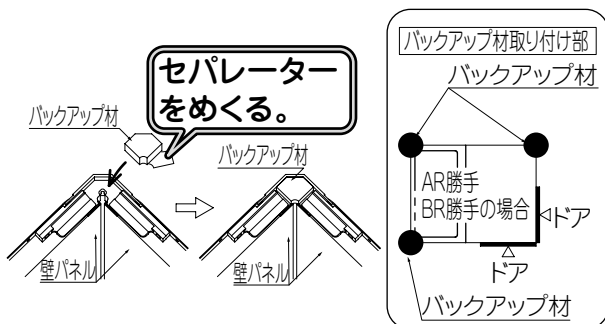
1 天井回し縁のバックアップの取り付け (本体編:215ページ)

①壁パネルのコーナー部上端にバックアップ材を取り付ける。(3か所)

⚠ 注意



- シリコンバックアップ材の取り付けを
確実に
(水漏れの原因となります。)



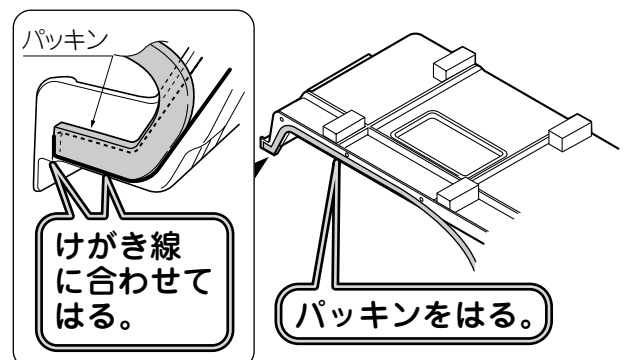
1 天井パネルの仮置き (本体編：217ページ)

①洗い場側天井パネル接合部にパッキンをはる。

⚠ 注意



- 天井パネルへのパッキンは取り付け後は、
パッキンを下にして置かない
(パッキンが破損して、水漏れの原因となります。)



13 壁と天井の仕上げ

1 壁パネルの目地打ち込み

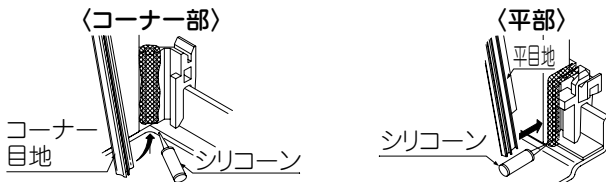
(本体編：225、226ページ)

- ①目地を打ち込む前に下端から2～3cm程度シリコンを塗布する。

⚠ 注意



- シリコン充てんは指定個所に確実に(確実にシリコン充てんしないと、水漏れの原因となります。)

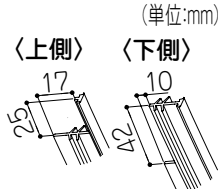


- ②仮打ちした仮固定目地を外し、平目地、コーナー目地を打ち込み治具を使って下から打ち込む。

⚠ 注意

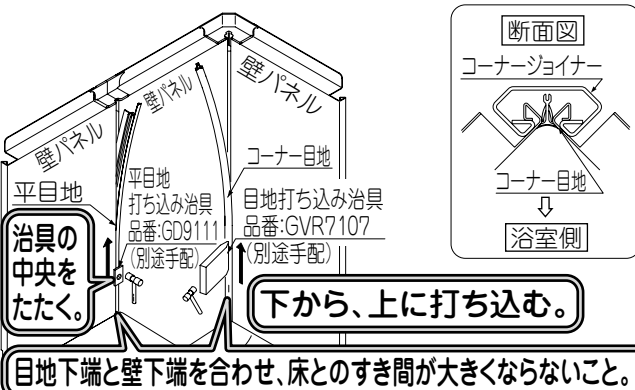


- 平目地の上下の形状を確認し、目地と壁パネルの下端を合わせ、必ず下から上へ打ち込む(すき間が大きくなり、水漏れの原因となります。)



取付設置上のお願い

- 目地は力まかせに一気に打ち込まず、少しずつまんべんなく、打ち込み治具を使用して打ち込んでください。(直接目地をたたいたり無理に打ち込むと、目地が割れたり壁が変形するおそれがあります。)
- 打ち込み治具の中央をたたいてください。(端部をたたくと、目地に打痕が付く場合があります。)

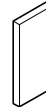


- ③平目地は奥目地になるように打ち込む。

- 専用の打ち込み治具を縦にして打ち込んでください。

治具の中央をたたく。

- 目地の打痕を防ぐため、平目地打ち込み治具(GD9111)は、角を削って使用してください。



角を削る



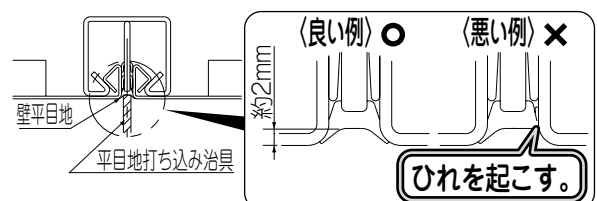
⚠ 注意



- 平目地の上下の形状を確認し、目地と壁パネルの下端を合わせ、必ず下から上へ打ち込む(すき間が大きくなり、水漏れの原因となります。)

取付設置上のお願い

- 壁平目地は一度に打ち込まないで徐々にたたき込んでください。(一度に打ち込むと、目地が破損するおそれがあります。)
- 打ち込み治具は平目地のセンターに当てて打ち込んでください。(センターに当てないと、ひれが入り込むおそれがあります。)
- 打ち込み治具の中央をたたいてください。(端部をたたくと、目地に打痕が付く場合があります。)



2 壁パネルの目地打ち込み

(本体編：227、228ページ)

- ①平目地を打ち込む前に下端から2～3cm程度シリコーンを塗布する。

⚠ 注意

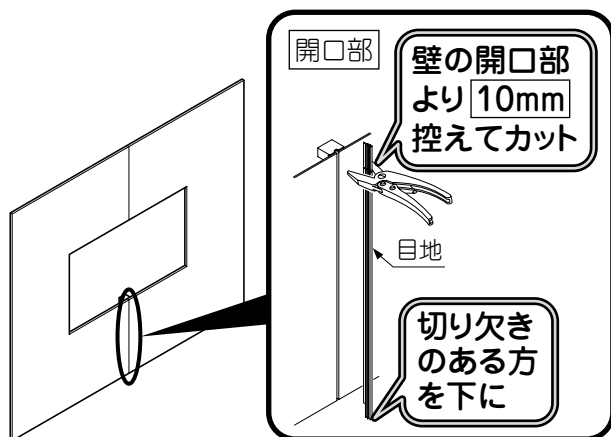


- シリコーン充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシリコーン充てんしないと、水
漏れの原因となります。)

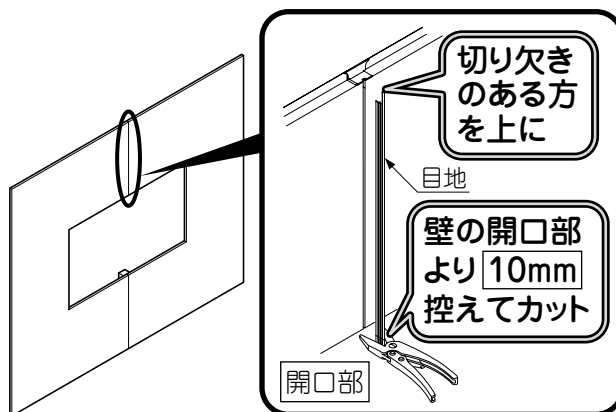
- ②平目地を下部の壁に合わせて、壁の開口部より
10mm控えてカットする。

- ③壁に平目地を打ち込む。

- ・目地は下(床側)から上へと打ち込んでください。



- ④上の②でカットした目地の残りを、上部の壁に合
わせて壁の開口部より10mm控えてカットする。

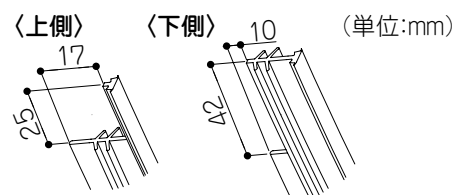


- ⑤目地の切り欠き部を壁の上端部に取り付け目地を
打ち込む。

⚠ 注意



- 平目地の上下の形状を確認し、目地
と壁パネルの下端を合わせ、必ず下
から上へ打ち込む
(すき間が大きくなり、水漏れの原因と
なります。)

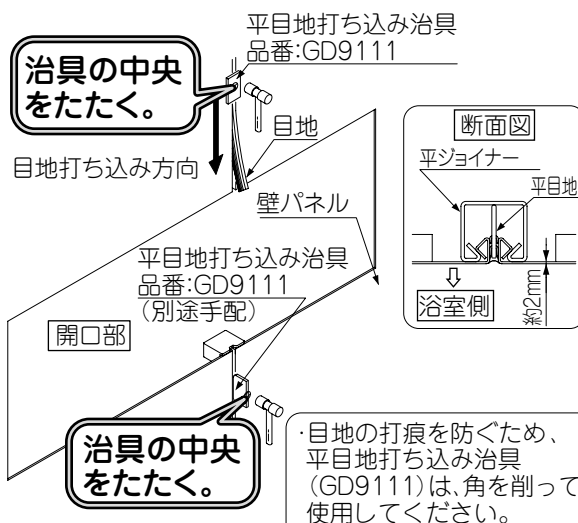


取付設置上のお願ひ

- 目地は力まかせに一気に打ち込まず、少しず
つまんべんなく、打ち込み治具を使用して打
ち込んでください。
(直接目地をたたいたり無理に打ち込むと、目地
が割れたり壁が変形するおそれがあります。)
- 打ち込み治具の中央をたたってください。
(端部をたたくと、目地に打痕が付く場合が
あります。)

- ⑥平目地は奥目地になるように打ち込む。

- ・専用の打ち込み治具を縦にして打ち込んでください。

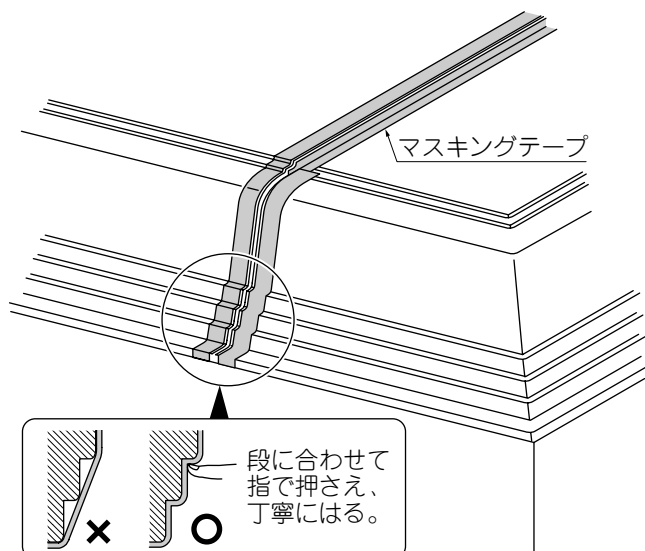


角を削る

3 天井回し縁の取り付けとシリコン充てん（本体編：229～231ページ）

- ①浴室内側の天井パネル連結部にマスキングテープをはる。

・連結部に沿って、両端に丁寧にはってください。



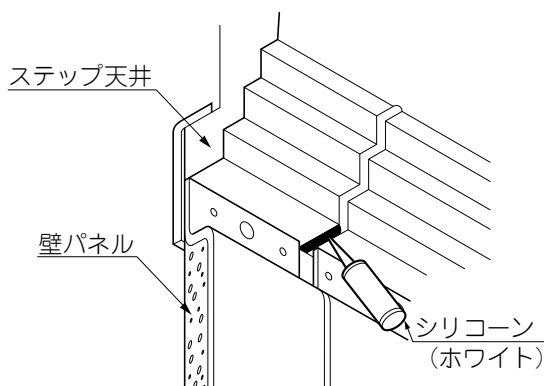
- ②天井回し縁を打ち込むと隠れてしまう天井パネル連結部にシリコン（ホワイト）を塗布する。

⚠ 注意



必ず守る

- シリコン充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れ
の原因となります。)



- ③天井回し縁をカットする。

・コーナー部分は、内寸から2～3mmあけ、シリコンバックアップに当たるようにカットしてください。
(天井回し縁カット長さの目安はユニット内寸-4～-6mmになりますが、現物を確認し最終カットしてください。)

- ④〈ステップ天井の場合〉コーナー受け具の上部（8か所）に、シリコンを塗布する。

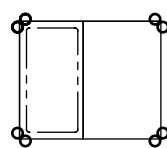
⚠ 注意



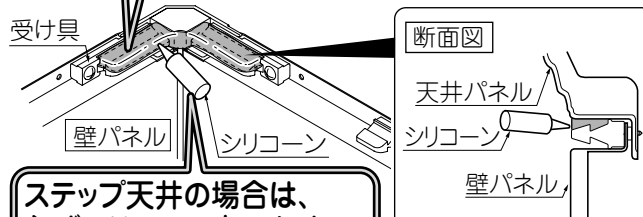
必ず守る

- シリコン充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れ
の原因となります。)

〈シリコン充てん位置図〉



受け具の上部にシリコンを塗布する。



ステップ天井の場合は、
必ずシリコン充てんする。

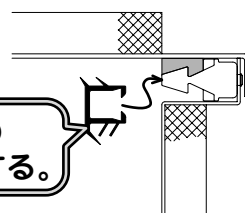
- ⑤天井回し縁を取り付ける。

・天井回し縁を取り付けるときは、受け具のある位置をプラスチックハンマーで軽く打ち込んでください。
・天井回し縁はドア・FIX窓を含む全周取り付けます。

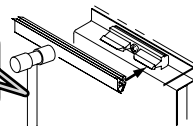
取付設置上のお願い

- 受け具のある位置をプラスチックハンマーで軽く打ち込んでください。
- 受け具のない部分は、たおれ・波打ちがないように軽く挿入してください。
- 天井回し縁が倒れた場合は、天井を軽く押し上げると戻ります。

天井回し縁の
上下に注意する。



プラスチックハンマー
で軽く打ち込む。

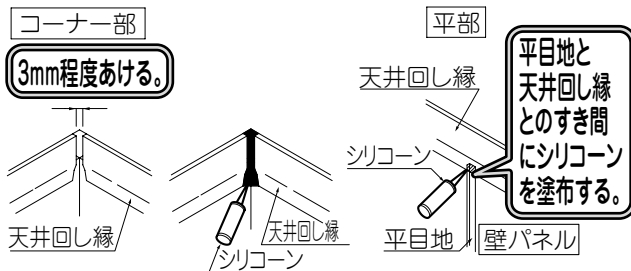


⑥天井回し縁の突き合わせ部にシリコンを塗布する。

⚠ 注意



- シリコン充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れ
の原因となります。)

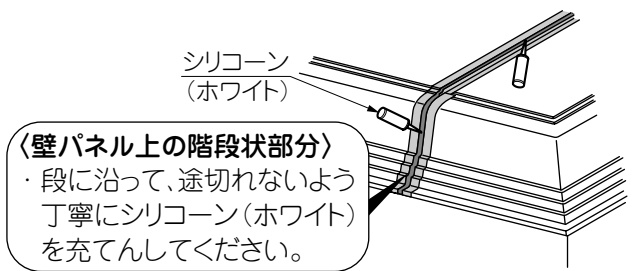


⑦天井パネルどうしの連結部に沿ってシリコン(ホワイト)を塗布する。

⚠ 注意



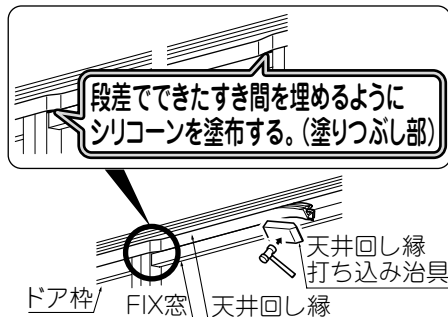
- シリコン充てんは天井パネル連結部
に合わせて確実に
行う
(確実に施されていないと、水漏れの原因
となります。)



4 天井回し縁の取り付けとシリコン充てん (本体編：232ページ)

ドア・FIX窓の場合

- ①ドアおよびFIX窓の天井回し縁取り付け部の
ドア枠付近にシリコンをたっぷり塗布する。
・天井回し縁はFIX窓を含む全周取り付けます。



⚠ 注意



- シリコン充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れ
の原因となります。)

取付設置上のお願い

- 天井回し縁取り付け部は、FIX窓の縦枠と上枠を境にして段
差があります。ドアおよびFIX窓と天井回し縁の間にすき間
(段差)が発生した場合は、シリコン充てんしてください。

14 混合水栓の取り付け

・ウェーブカウンター用水栓の場合は、本体編240ページ、㊶「ウェーブカウンターの取り付け」を参照ください。

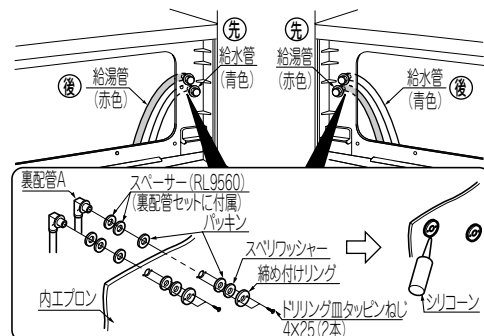
1 内エプロンへの裏配管Aの取り付け

(本体編：234ページ)

- ①内エプロンに裏配管Aを接続する。

取付設置上のお願い

- カウンター幕板は後で取り付けます。
- ・裏配管はカウンター側(奥)の配管を先に取
り付け、締め付けを完了させてください。そ
の後、手前の配管を取り付けてください。
(手前を先に固定すると、カウンター側の締め
付けリングを固定することができません。)



裏配管Aの場合

2 浴槽デッキ水栓と内エプロンへの裏配管Bの取り付け (本体編：235ページ)

取付設置上のお願い

- 裏配管はカウンター側（奥）の配管を先に取り付け、締め付けを完了させてください。
その後、手前の配管を取り付けてください。
（手前を先に固定すると、カウンター側の締め付けリングを固定することができません。）

①浴槽に混合水栓を取り付け、給水・給湯管と接続する。

- ・混合水栓の取り付け方法については、製品に付属の取付設置説明書を参照ください。

②内エプロンに裏配管Bを接続する。

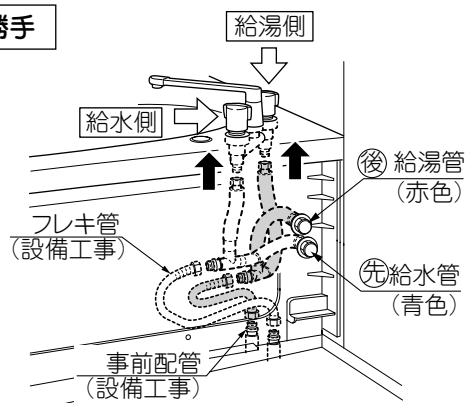
〈デッキ水栓と内エプロンを接続する場合〉

⚠ 注意

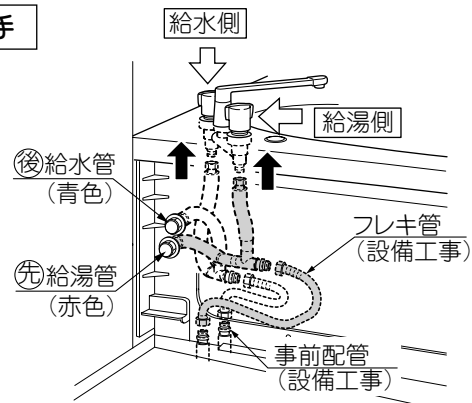


- シリコン充てんは指定個所に確実に
行う
（確実にシリコン充てんしないと、水漏れの原因となります。）

R勝手

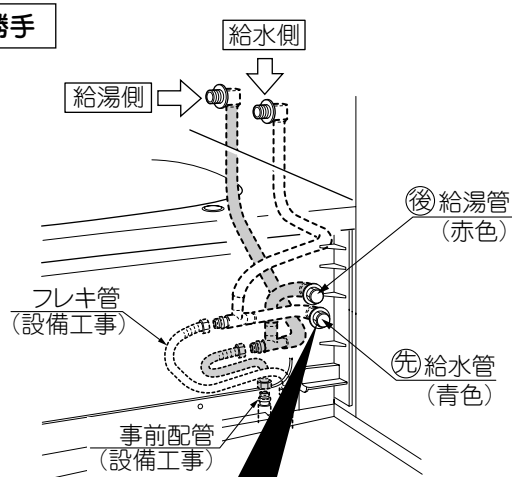


L勝手

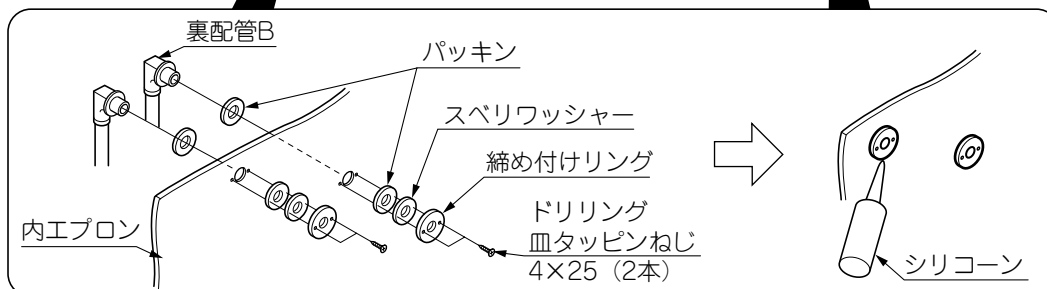
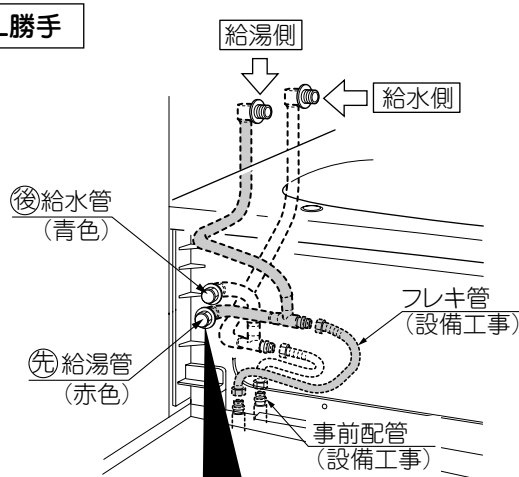


〈浴槽側壁付水栓と内エプロンを接続する場合〉

R勝手



L勝手

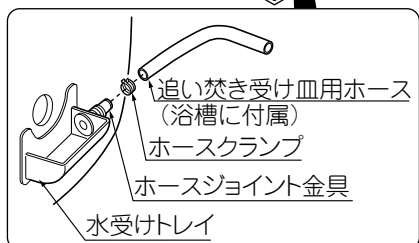
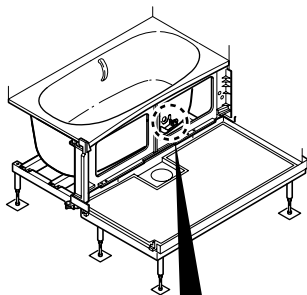


15 点検口ふたの取り付け

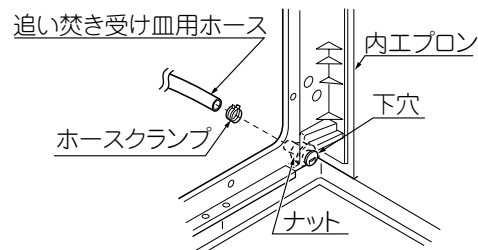
水受けトレイ仕様の場合

1 追い焚き受け皿用ホース(オプション)の接続 (本体編:236ページ)

① 追い焚き受け皿用ホースを水受けトレイに接続する。



② 追い焚き受け皿用ホースを内エプロンに取り付ける。



取付設置上のお願い

- 追い焚き受け皿用ホースが、水受けトレイより高くならないよう注意してください。

ホースが水受けトレイより高くならないよう注意する。



2 内エプロン点検口ふたの取り付け (本体編:237、238ページ)

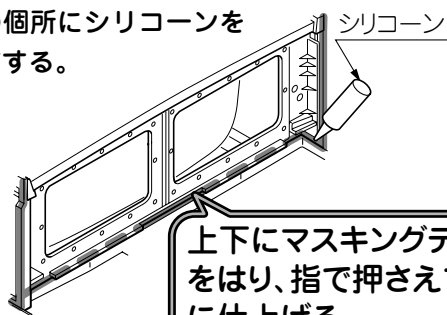
⚠ 注意



必ず守る

- 内エプロン点検口ふたのねじは、必ず手回しドライバーで固定する
(電動ドライバーでねじを固定するとねじが空回りして確実に取り付けができなくなり、水漏れの原因となります。)
- シリコン充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れの原因となります。)

① 図の個所にシリコンを塗布する。

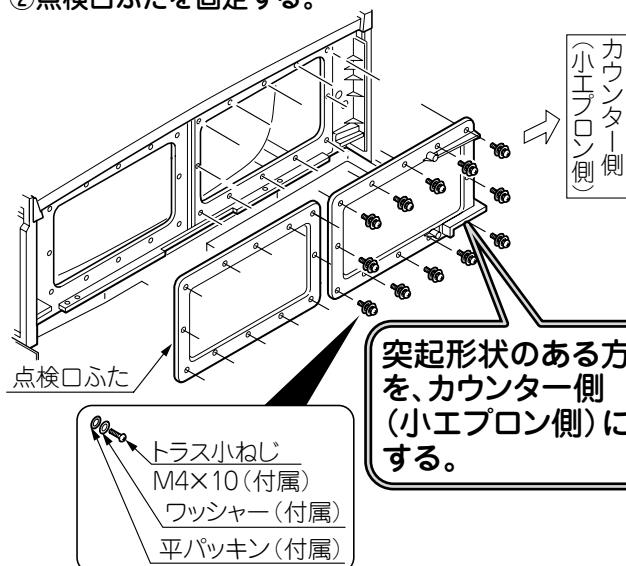


上下にマスキングテープをはり、指で押さえて確実に仕上げる。

取付設置上のお願い

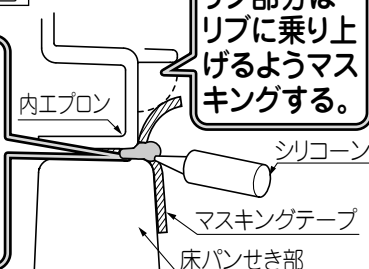
- 化粧エプロン取り付け前に、シリコンを塗布してください。
(化粧エプロンを取り付けた状態では、シリコンを塗布できません。)

② 点検口ふたを固定する。



断面図

シリコンは十分な量を塗布する。
(指で押さえて、シリコンがマスキングテープの上にはみ出す程度)

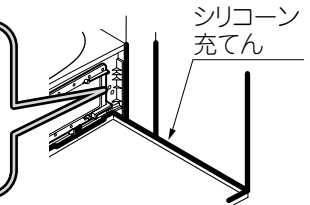


16 ウェーブカウンターの取り付け

取付設置上のお願い

- ウェーブカウンター取り付けにより隠れてしまう床～壁間は、取り付け前にシリコンを塗布してください。
- シリコンを塗布した個所は、取り付け時にごみや切り粉などが付着しないよう、養生してください。

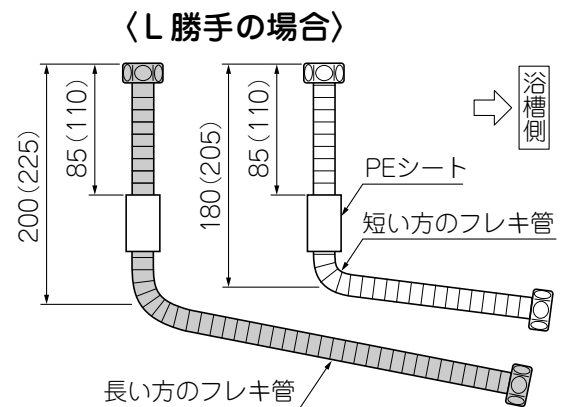
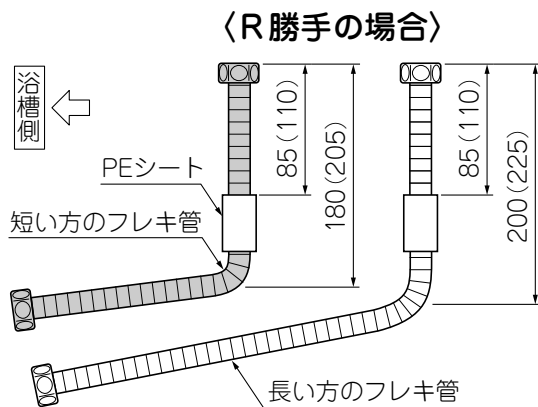
化粧エプロンの
取り付けは、
ウェーブカウンター
取り付け後に行う。



1 給水・給湯配管の準備

(本体編：240ページ)

- ①フレキ管にPEシート（カウンター小物セットに付属）をはり付け、フレキ管を曲げる。



※()内はライトタッチ水栓の場合を示す。

(単位:mm)

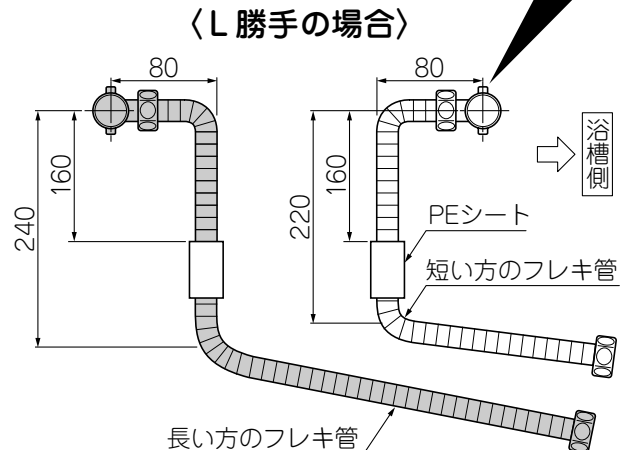
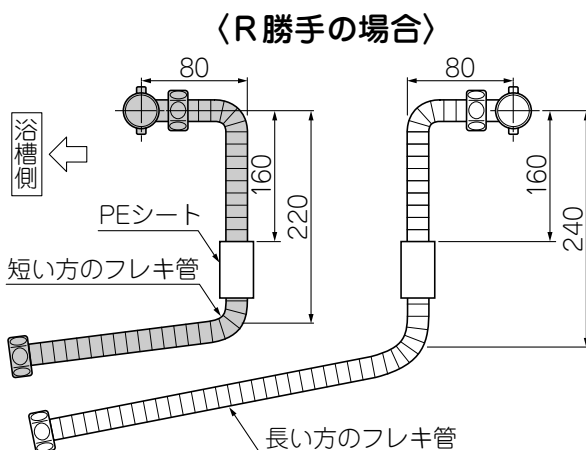
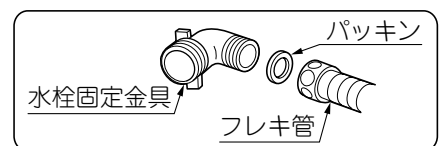
ソケットレス水栓・ライトタッチ水栓・ソケットカバー水栓の場合

2 給水・給湯配管の準備

(本体編：241ページ)

- ①水栓固定金具にフレキ管を接続し、フレキ管を曲げる。

- ②フレキ管にPEシートをはり付ける。



(単位:mm)

カバー水栓の場合

3 給水・給湯配管の仮固定

(本体編：242、243ページ)

①フレキ管を、フレキ管ステー（下表参照）で仮留めする。

- ・RL勝手にかかわらず、給湯配管が向かって左側になるように入れてください。
- ・後で位置調整を行いますので、ねじはまだ締め付けしないでください。

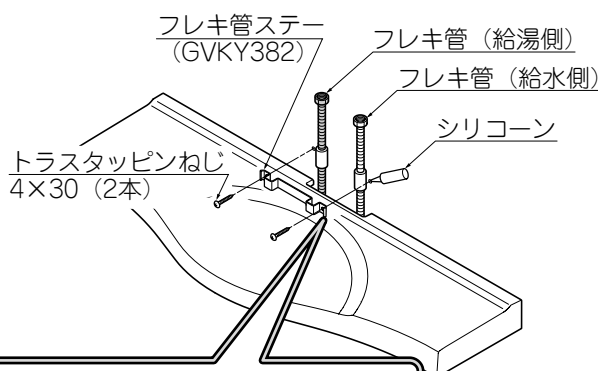
	フレキ管 ステー品番	付属場所
ソケットレス水栓 ライトタッチ水栓	GVKY382	カウンター小物 セット
ソケットカバー水栓	GVKY369	水栓カバー セット

⚠ 注意



必ず守る

- シリコン充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れの原因となります。)



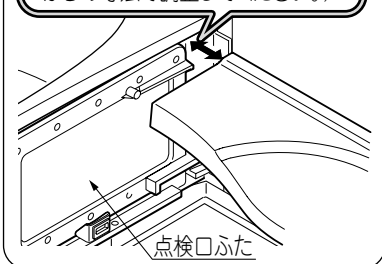
ソフトテープ部分を
フレキ管ステーで仮留めする。

4 カウンター天板の取り付け

(本体編：244ページ)

①キャリアを壁パネルに仮固定する。

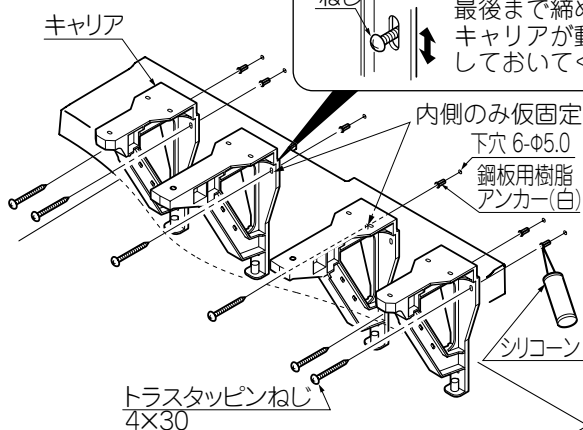
カウンター～内エプロンの
寸法が65～66mmに
なるように調整する。
(点検口ふたからではなく、内エプロン
からの寸法で調整してください。)



長穴の中心をねじ留めする。



最後まで締め付けず、
キャリアが動く状態に
しておいてください。

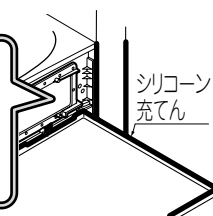


17 有機ガラス系人造大理石カウンターの取り付け

取付設置上のお願ひ

- 有機ガラス系人造大理石カウンター取り付けにより隠れてしまう床～壁間は、取り付け前にシリコンを塗布してください。
- シリコンを塗布した個所は、取り付け時にごみや切り粉などが付着しないよう、養生してください。

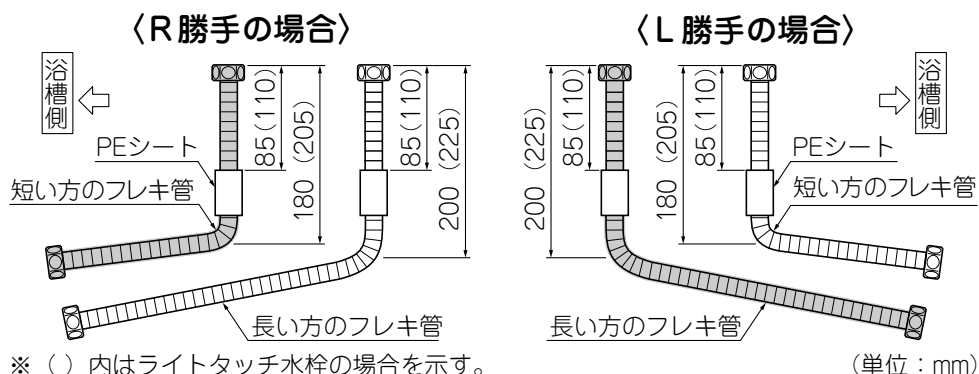
化粧エプロンの取り
付けは、有機ガラス系
人造大理石カウンター
取り付け後に行う。



1 給水・給湯配管の仮固定

(本体編：247ページ)

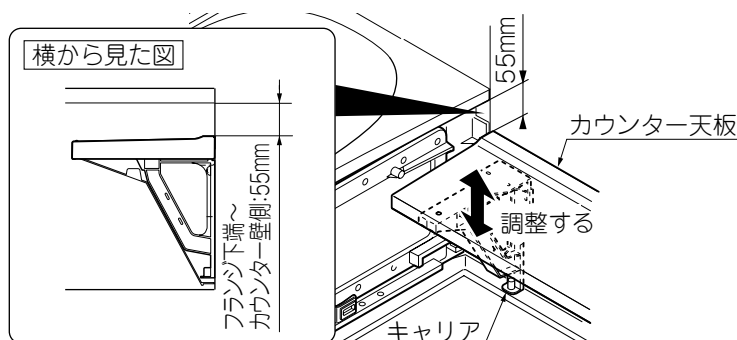
- ①フレキ管にPEシート
(カウンター小物セット
に付属)をはり付け、
フレキ管を曲げる。



2 キャリアの取り付け

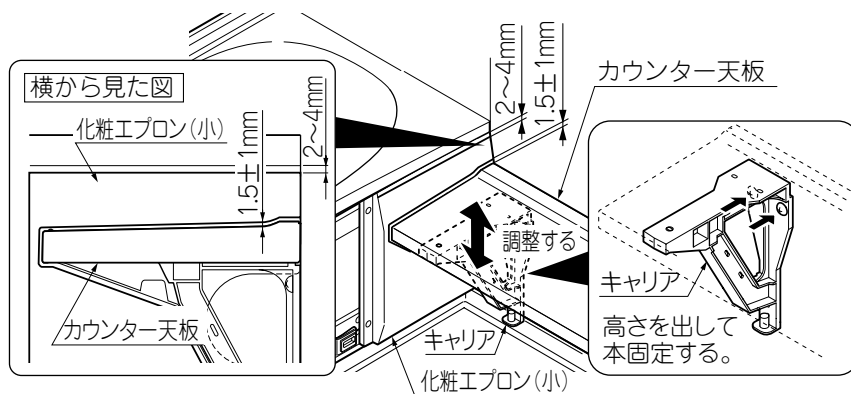
(本体編：248～251ページ)

- ①カウンター天板をキャリアの上に
置き、浴槽側のキャリアで高さ
出する。



- ②化粧エプロン (小) を仮組みし、
浴槽側のキャリアで高さ出し後、
本固定する。

・カウンターと化粧エプロン (小) の
すき間が広い場合はスペーサー
を挿入し、すき間が $1.5 \pm 1\text{mm}$ に
なるように調整してください。



3 カウンター天板の取り付け

(本体編：252ページ)

- ①カウンター天板をキャリア (4本) で仮固定し、位
置を調整する。

・1621アーチ浴槽・エスライン浴槽の場合は、キャ
リア5本で仮固定してください。



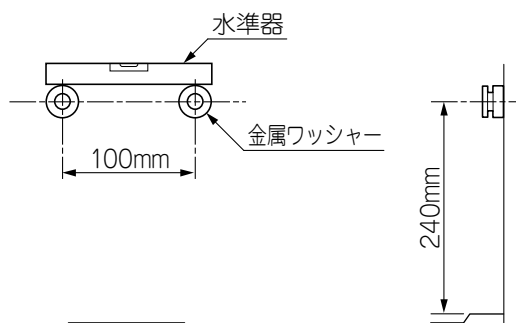
18 カウンター用水栓の取り付け

1 ソケットレス水栓・ソケットカバー水栓の取り付け(本体編:253、262ページ)

ソケットレス水栓・ソケットカバー水栓の場合

取付設置上のお願い

- 金属ワッシャーは、±1mmの幅で調整可能です。
金属ワッシャーの中心がカウンター天面から240mmの高さになるよう調整して取り付けてください。
- 金属ワッシャーのレベル出しをしてください。

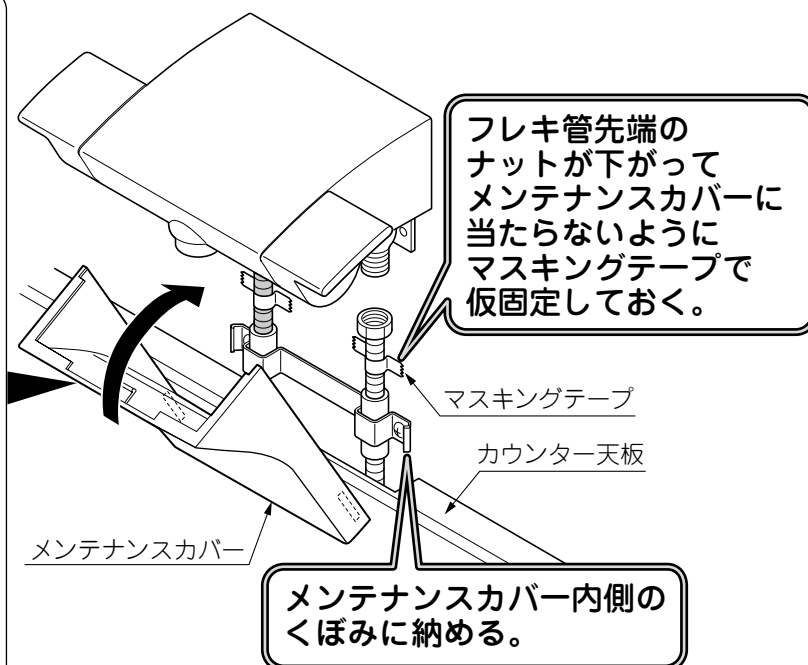
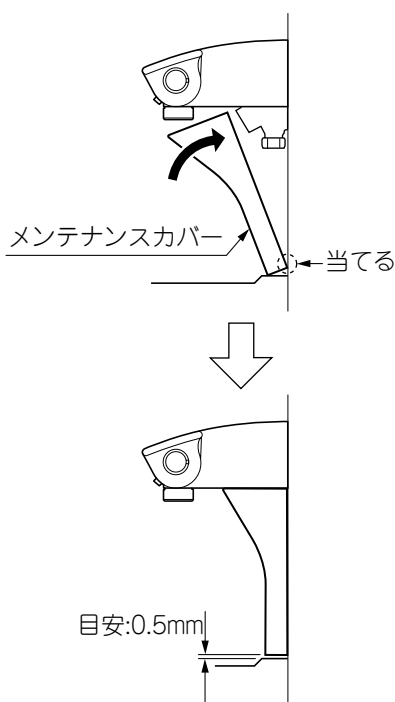


2 ソケットレス水栓の取り付け

(本体編:253~255ページ)

- ①メンテナンスカバーを仮合わせし、メンテナンスカバーとカウンター天板のすき間を確認する。

メンテナンスカバーの仮合わせ方法



取付設置上のお願い

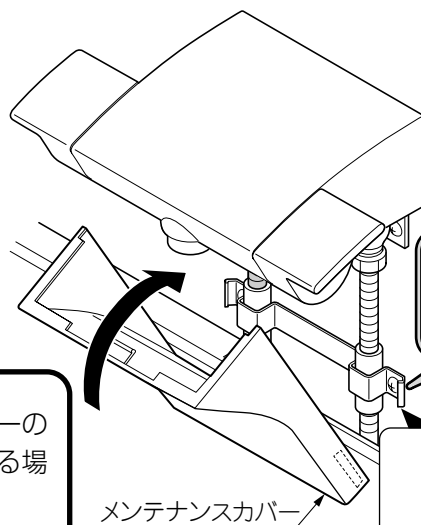
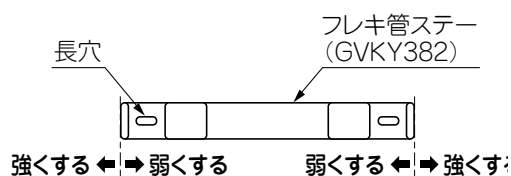
- すき間が合わない場合、壁パネルに取り付けた金属ワッシャーのねじを緩め、金属ワッシャーの位置をずらしてねじ留めし直してください。
なお、金属ワッシャーは±1mmの調整が可能です。

ソケットレス水栓の場合

- ②メンテナンスカバーを取り付ける。
・メンテナンスカバーとのかん合調整のため、必ずフレキ管ステーの位置を調整してください。

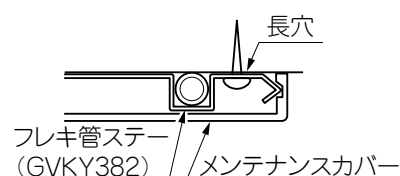
取付設置上のお願い

- メンテナンスカバーとフレキ管ステーのかん合が、強すぎたり弱すぎたりする場合は、長穴で調整してください。



メンテナンスカバー
内側のくぼみに
納める。

納まり断面図

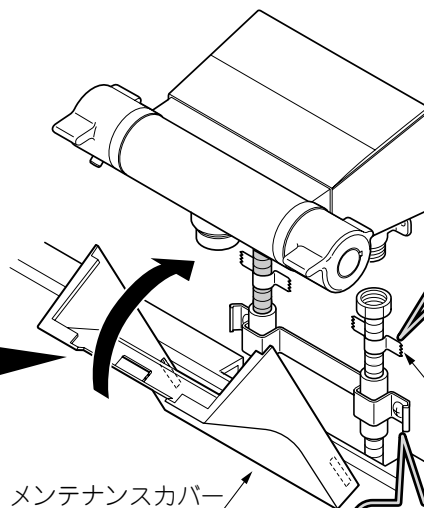
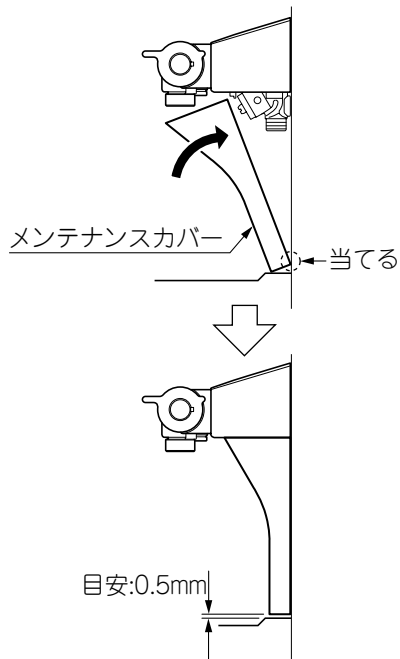


3 ソケットカバー水栓の取り付け

(本体編：260～265ページ)

- ①メンテナンスカバーを仮合わせし、メンテナンスカバーとカウンター天板のすき間を確認する。

メンテナンスカバーの仮合わせ方法



フレキ管先端の
ナットが下がり
メンテナンスカ
バーに当たらない
ようにマスキング
テープで仮固定し
ておく。

メンテナンスカバー内側の
くぼみに納める。

取付設置上のお願い

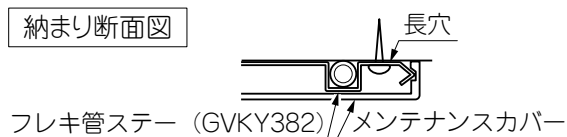
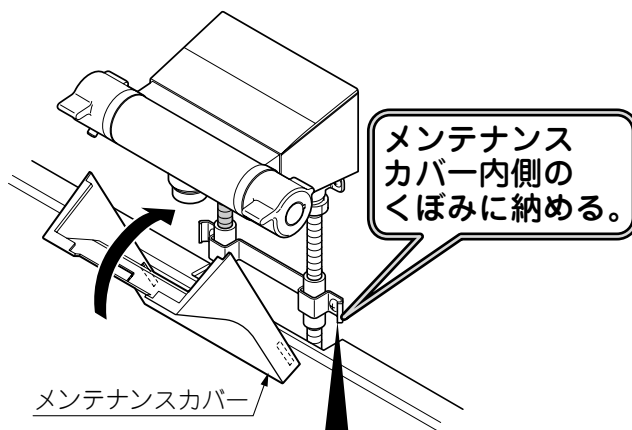
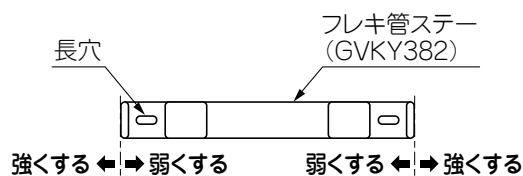
- すき間が合わない場合、壁パネルに取り付けた金属ワッシャーのねじを緩め、金属ワッシャーの位置をずらしてねじ留めし直してください。
なお、金属ワッシャーは±1mmの調整が可能です。

②メンテナンスカバーを取り付ける。

- ・メンテナンスカバーとのかん合調整のため、必ずフレキ管ステーの位置を調整してください。

取付設置上のお願い

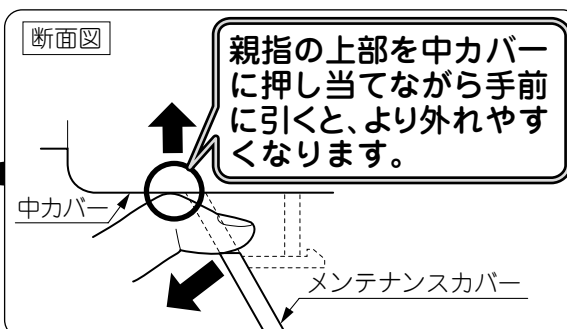
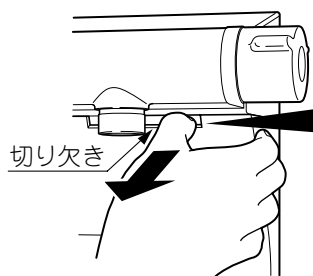
- ・メンテナンスカバーとフレキ管ステーのかん合が、強すぎたり弱すぎたりする場合は、長穴で調整してください。



取付設置上のお願い

〈メンテナンスカバーの外しかたのコツ〉

- ・メンテナンスカバーのかん合がたたくて外れにくいときは、メンテナンスカバーの切り欠きに親指を入れ、斜め手前に引いてください。

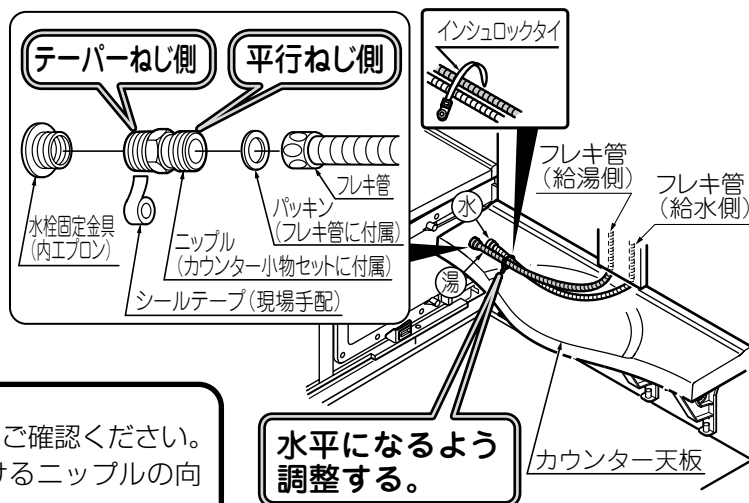


4 内エプロンとの接続

(本体編：266ページ)

①フレキ管を水栓固定金具と接続する。

②フレキ管を束ねてインシュロックタイ（カウンター小物セットに付属）で固定する。



取付設置上のお願い

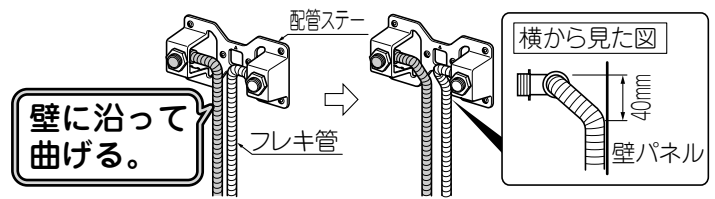
- ・給湯側と給水側を逆に接続しないよう、ご確認ください。
- ・水栓固定金具 (内エプロン) に取り付けるニップルの向きにご注意ください。

(図はウェーブカウンターの場合)

5 カバー水栓の取り付け

(本体編：267ページ)

①フレキ管を壁に沿わせるように曲げる。

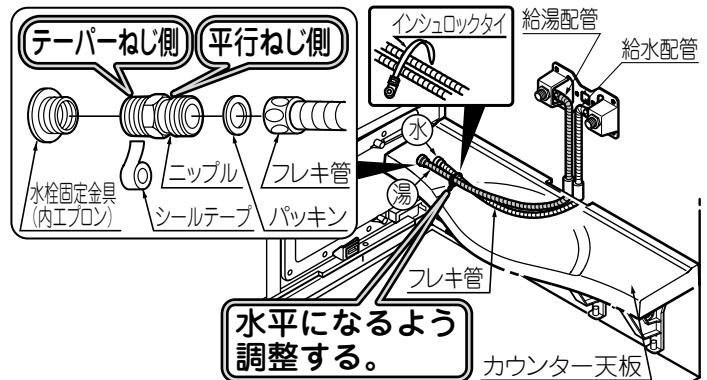


②フレキ管を水栓固定金具と接続する。

③フレキ管を束ねてインシュロックタイで固定する。

取付設置上のお願い

- 給湯側と給水側を逆に接続しないよう、ご確認ください。
- 水栓固定金具(内エプロン)に取り付けるニップルの向きにご確認ください。



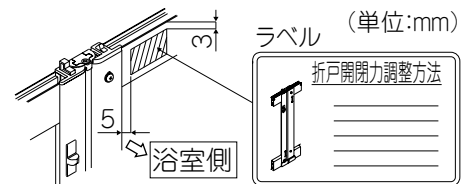
19 ドア本体の取り付け (2枚折りドアの場合)

1 ドア本体の取り付け

(本体編：271ページ)

①浴室側のドア上枠に、付属のラベルを指定位置にはり付ける。

・詳しいはり付け位置は、ラベル裏面を参照ください。



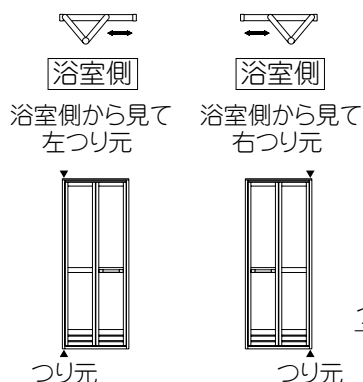
②つり元が逆の場合は、つり元の交換をする。

・商品出荷時、部品は浴室側から見て左つり元にセットされています。

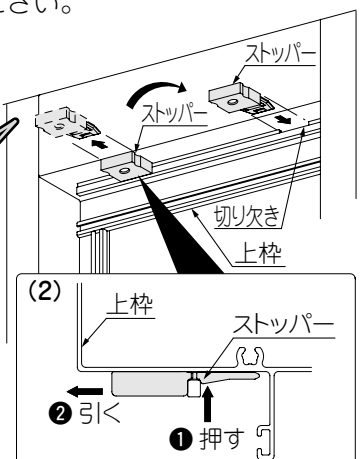
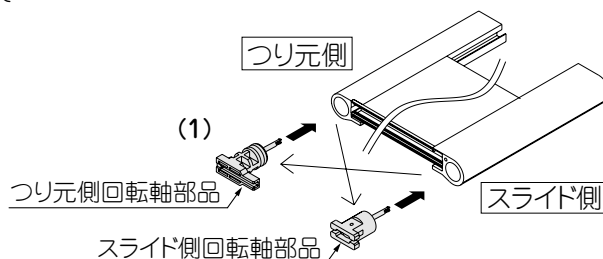
右つり元で使用される場合は、つり元交換作業を行ってください。

(1)下部の回転軸部品を引き抜き、つり元側とスライド側の差し替えを行ってください。

(2)ストッパーを押しながら引き抜き、反対側の切り欠きにはめ込んでください。



ストッパーは、安全対策のため必ず取り付ける。



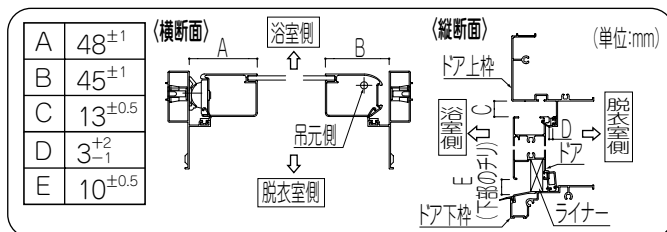
③ドア本体をつり込む。

20 ドア本体の取り付け (スイングドア・ライトインドアの場合)

1 枠の取り付け確認

(本体編：275ページ)

- ① ドア枠は、はらみ、つずみ状態、対角ずれのないように取り付ける。
- ② 〈スイングドアの場合〉図のように障子を基準に枠の取り付けをチェックする。
・ 障子錠側下部にはり付けてあるライナーを取り付けたままで枠につり込むと、下部のチリは確保されます。

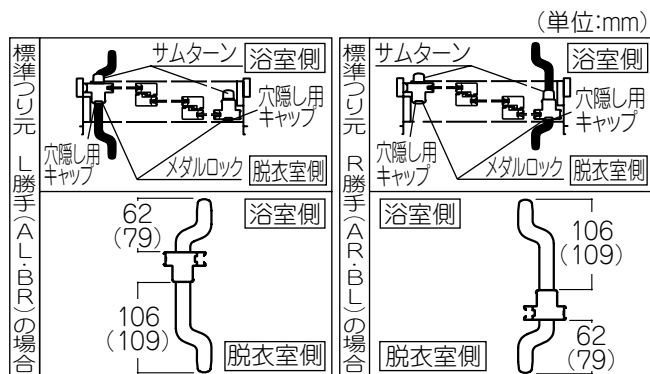


21 ドア本体の取り付け (3枚引き戸の場合)

1 取っ手の取り付け

(本体編：279ページ)

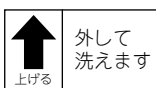
- ・ あらかじめ取っ手取り付け位置を確認してください。障子には表裏があります。ガラリが外れる側(ラベルはり付け側)が必ず浴室側になるように取り付けてください。



※ () 内寸法はステンカラータイプの場合

取っ手取り付け位置

ラベルはり付け位置



注意 このガラリを外したまま使用しない (水漏れの原因となります) 端部のキャップを外さない (手を切ったりけがをすることがあります)

浴室側

注意



必ず守る

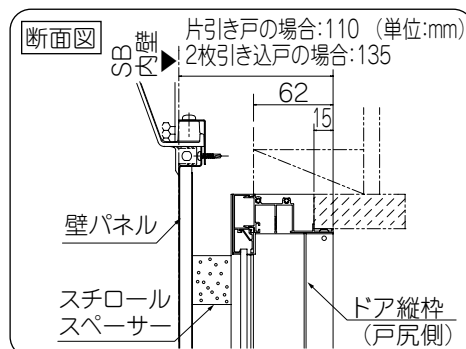
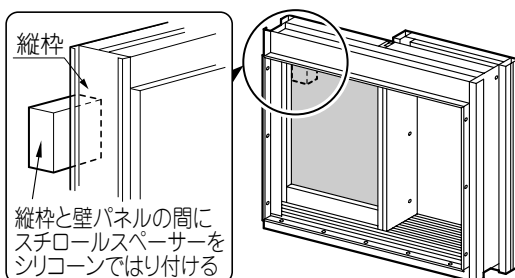
- 3枚引き戸はガラリが外れる側が、必ず浴室側になるよう取り付ける (通気口よりの、水漏れの原因となります。)

22 ドア本体の取り付け (片引き戸・2枚引き込戸の場合)

1 戸袋パネルの取り付け

(本体編：284ページ)

- ① 戸尻側の縦枠上部にスチロールスペーサーをはり付ける。
・ スチロールスペーサーのサイズは、厚さ30mm程度としてください。



23 ドア本体への取り付け

1 脱衣室側タオル掛けの取り付け

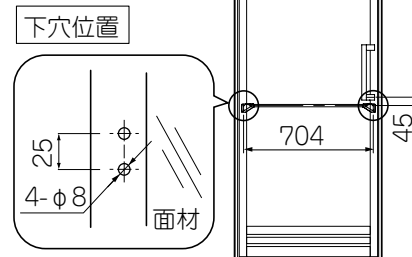
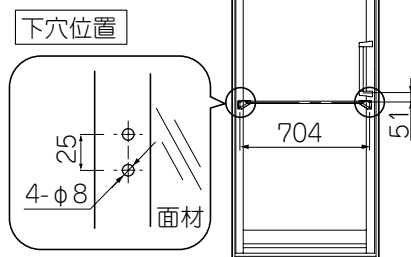
(本体編：285ページ)

・脱衣室側にタオル掛けを取り付ける場合は、以下の作業を行ってください。

〈スイングドア〉

〈ライトインドア〉

(単位：mm)

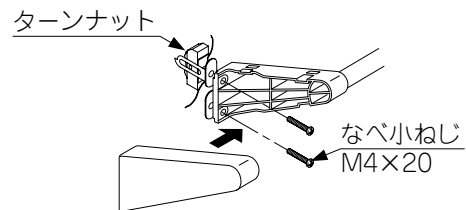


①ドア本体の脱衣室側にタオル掛けの取り付け穴を現物合わせでけがき、開口を行う。

⚠ 注意



- ターンナットは重量物を固定しない
(落下によるけがの原因になります。)

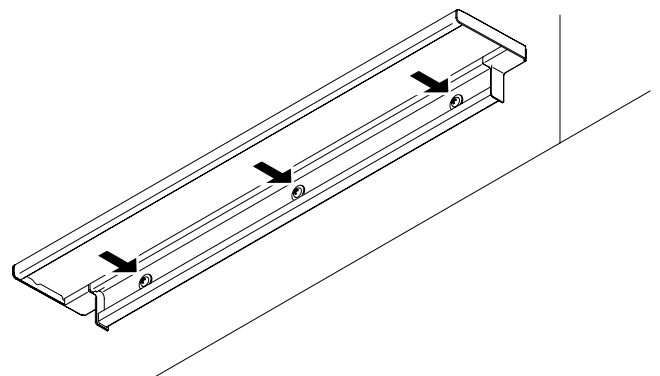
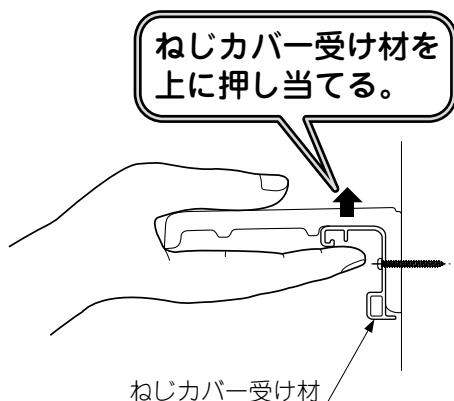


24 その他備品の取り付け

1 有機ガラス系人造大理石バイザーカウンター取り付け (本体編：301、302ページ)

①有機ガラス系人造大理石バイザーカウンターを固定する。

- ・レベル調整完了後、ねじカバー受け材を上押し当てながら、カウンターのタッピンねじを完全に締め付けて固定してください。



25 最終仕上げ

1 シリコン充てん

(本体編：311、312ページ)

①取り付け作業がひととおり終了したら、シリコンを塗布する。

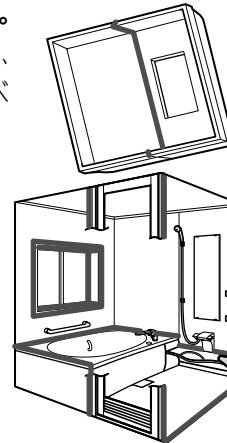
- ・床パン～壁パネル、浴槽～壁パネル、天井パネル～天井パネル、窓枠～壁パネル、ドア枠～壁パネルのジョイント部には、すべてシリコン充てんしてください。

※FIX窓がある場合は、下記も参照ください。

⚠ 注意



- シリコン充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシリコン充てんしないと、水漏れの原因となります。)



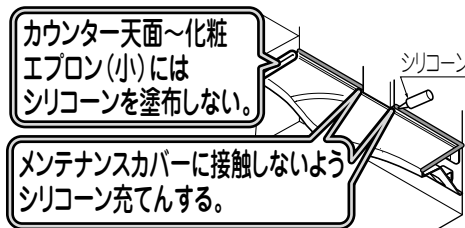
1818サイズ
トップカウンター
のシリコンに
ついては、専用
の取付設置
説明書を参照。

ウェーブカウンター
のシリコンに
ついては、下記を
参照。

〈ウェーブカウンター・有機ガラス系人造大理石カウンターの場合〉

②カウンターまわりにシリコンを塗布する。

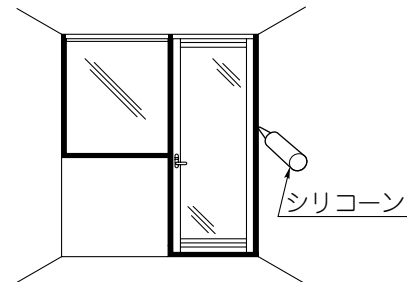
- ・混合水栓のタイプにより、シリコン充てん位置が異なります。



(図はウェーブカウンターの場合)

〈FIX窓がある場合〉

③ドア枠、FIX窓の周囲にシリコンを塗布する。



2 最終チェック

(本体編：313ページ)

①巻末に記載されている「取付設置後のチェック」の項目をチェックし、問題がなければチェック印を記入する。

3 清掃と後片付け

(本体編：313ページ)

①清掃と後片付けを行う。

清掃仕上げは通水、通電その他現場の仕上げ状況を確認、打ち合わせのうえ行ってください。

養生材や残材などは前もって搬出し、各部の清掃と併せて混合水栓の止水状態、床、壁、天井、建具、器具類の損傷の有無も点検してください。

- ・床～排水トラップ、浴槽などは工事中的ごみ、砂などがたまる場合があります。必ず点検してください。
- ・床パン、浴槽部は水洗いしてください。(各目地部のシリコン塗布完了まで水洗いは厳禁)水洗いで落ちない汚れは中性洗剤とやわらかいスポンジで軽くこすってください。(メラミンフォームや研磨剤入りクリーナー、中性洗剤以外の洗剤は使用しないでください。)
- ・壁、天井部は隅々まで布ふきしてください。
- ・水洗い時に器具類にかかった水滴は、乾いたきれいな布でふき取ってください。
- ・床排水口(トラップ)に床排水口カバーをセットしてください。

取付設置後のチェック

項 目	チェック
各部材およびオプション機器などに傷や欠け、クラックなどはないか？	
各付属品およびオプション機器は指定位置に正しく、確実に取り付けられているか？ (がたつき、傾きなどはないか？)	
各付属品の取り付け忘れはないか？	
床パンの音鳴りはないか？	
洗い場の排水トラップは緩みなく締め付けられ、完了シールが正しくはり付けられているか？	
浴槽・壁パネルの目地および天井回し縁に、浮き、すき間はないか？	
壁パネルに段差や横目地のずれはないか？	
天井点検口の落下防止チェーンは確実に固定されているか？（ステップ天井の場合）	
天井点検口は浮きがなく、確実に固定されているか？	
ドア・窓などは問題なく開閉するか？	
ドアの施錠・解錠は確実にできるか？	
ドア枠と障子のすき間は均一になっているか？	
ドアの緊急救出用のつめは確実に固定されているか？	
2枚折れ戸、スイングドア、ライトインドアの下枠パッキンに、破れ、裂け目はないか？	
ドア額縁固定用の皿木ねじを大工さんに渡したか？	
あるいはドアの外側にマスキングテープではったか？	
混合水栓、配管、シャワーホースなどの接続部からの水漏れはないか？（通水可能な場合）	
混合水栓から湯・水が出るか？また、温度調節、吐水・シャワー切り換えに問題はないか？（通水可能な場合）	
シリコーン切れや、シリコーンの打ち忘れはないか？	
電気機器および機能商品は操作どおりに動作するか？	
風呂ふたは風呂ふたフックに正しく収納できるか？また、問題なく取り出せるか？	
各種ラベルは忘れず、指定位置にはり付けられているか？（はがれ、浮き、傾きなどはないか？）	
件名管理ナンバー、施工士ナンバーラベルは指定位置にはり付けられているか？	
清掃と後片付けは行ったか？	
保証書に販売店名、または工事店名、お引き渡し日を記入したか？	
お施主様（または建築工事責任者）に渡す取扱説明書類、保証書などは揃っているか？	
電気、設備工事に関する取付設置説明書類を、電気、設備工事業者様へ渡したか？ (裏配管アダプター+ちらし)	

取付設置業者様へのお願い

- 取付設置後、設備業者様による配管の接続がある場合は、このページを切り取って化粧エプロン（大）にはっておいてください。



設備業者様へのお願い

- 化粧エプロンおよび点検口ふたを取り外した後は、以下のようにして取り付けてください。

① 点検口ふたを固定する。

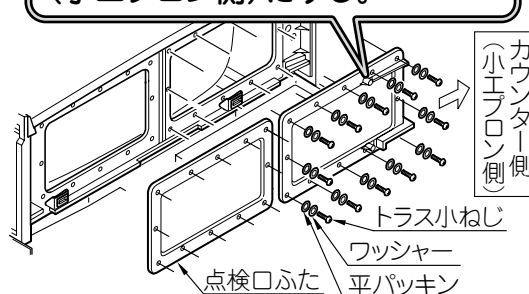
⚠ 注意



必ず守る

- 内エプロンの点検口ふたのねじは、必ず手回しドライバーで固定する（電動ドライバーでねじを固定するとねじが空回りして確実に取り付けができなくなり、水漏れの原因となります。）

突起形状のある方をカウンター側（小エプロン側）にする。



- ② 混合水栓側の壁から30cm程度離れた位置から、化粧エプロン（小）上端を浴槽フランジ裏側に差し込む。

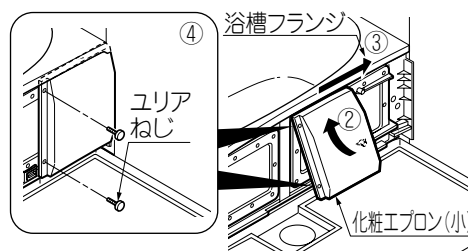
- ③ 化粧エプロン（小）を壁側へスライドさせる。

- ④ 化粧エプロン（小）をユリアねじで固定する。

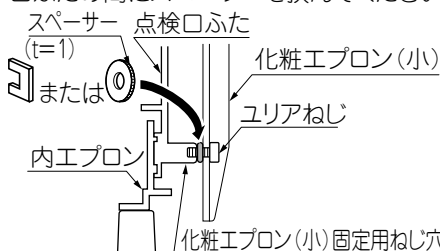
・スペーサーが入っていた場合は、スペーサーも入れてください。

- ⑤ 化粧エプロン（大）上端を浴槽フランジ裏側に差し込む。

- ⑥ 下半分を押してはめ込む。

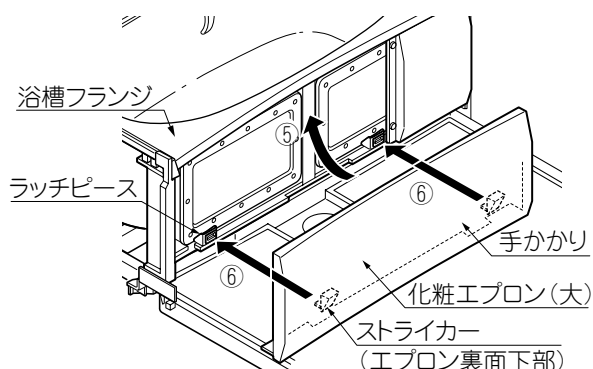
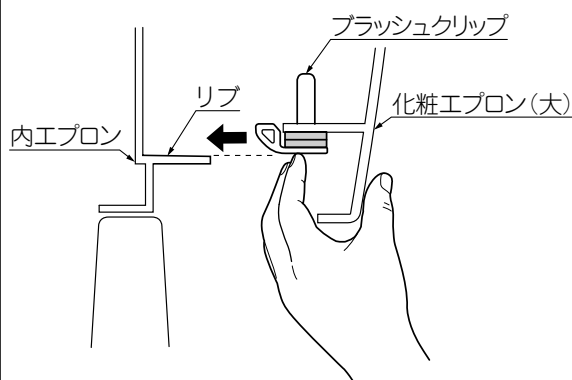


化粧エプロン（大）を取り付けた際に面段差が生じた場合、化粧エプロン（小）と点検口ふたの間にスペーサーを挟んでください。



取付設置上へのお願い

- ブラッシュクリップの頭がリブに乗り上げるよう、指で確認しながら取り付けてください。



取付設置業者様へのお願い

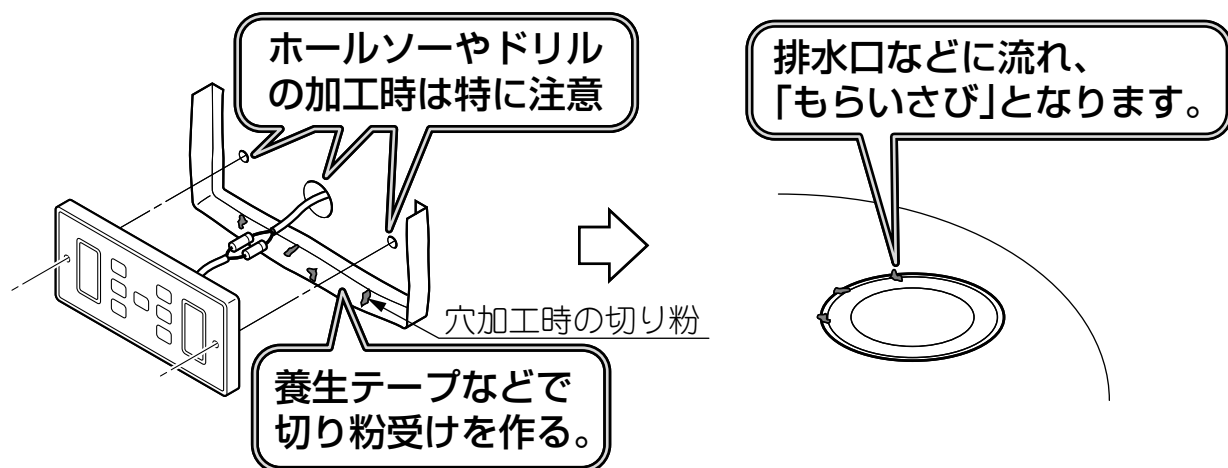
- 取付設置後、設備業者様によるリモコンの取り付けがある場合は、このページを切り取ってリモコン取り付け予定位置にはっておいてください。

設備業者様へのお願い

もらいさび・傷注意！

バスルーム内の清掃は完了しています。

壁パネルなどへリモコンを取り付ける際に出る切り粉は、「もらいさび」の**原因**となります。浴槽内（床面）へ落下させないよう養生テープなどで切り粉を受けてください。万が一落下した場合は、必ず清掃をお願いいたします。



塩素剤に注意！

塩素系の成分は殺菌などに効果がありますが、金属をさびさせたり、ゴムを劣化させたりします。

合併浄化槽に取り付ける場合などで、塩素剤を使用する場合は、必ず水を通水し、トラップに水をためてください。長期間放置する場合は、ウエスなどで排水口にふたをしてください。

